

西東京市文化芸術に関する 調査報告書

令和5年3月

西東京市

目次

第1章 アンケート調査	1
1 調査概要	2
(1) 調査目的	2
(2) 調査対象・抽出条件	2
(3) 調査方法・期間	2
(4) 回収結果	2
(5) 調査内容	3
(6) 標本誤差	3
(7) 報告書の見方	4
2 集計結果	5
(1) 市民を対象としたアンケート調査	5
(2) 子どもを対象としたアンケート調査	34
3 調査結果	52
(1) 市民を対象としたアンケート調査	52
(2) 子どもを対象としたアンケート調査	66
第2章 ヒアリング調査	73
1 調査概要	74
(1) 調査目的	74
(2) 調査対象	74
(3) 調査方法・期間	74
2 調査結果	75
(1) 鑑賞・体験について	75
(2) 子どもの文化芸術活動について	76
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について	78
(4) 情報発信や事業への参加を促す工夫等について	79
(5) 文化施設について	81
(6) 人材確保や育成について	82
(7) 文化資源の活用について	84
(8) 共生社会について	85
(9) 他分野連携について	86
(10) 文化芸術に親しむことによる効果について	87
第3章 ワークショップの実施	89
1 実施概要	90
(1) 目的	90
(2) 対象	90
(3) 方法	90
(4) 時期	90
2 実施結果	91
ワークショップで出た意見のポイント	91
第4章 アンケート調査票	93
1 市民を対象としたアンケート調査票	94
2 子どもを対象としたアンケート調査票	103

第1章 アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査目的

西東京市では、現在、西東京市第2期文化芸術振興計画（令和5年度まで）に基づき、「市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる 文化の香りあふれるまち」を目指し、文化芸術に関する取組を推進している。

さらなる文化芸術の振興を図るため、次期計画（令和6年度～令和10年度）を策定するにあたり、市民の文化芸術に関わる活動の実態や西東京市に対する考えを把握することを目的とする。

(2) 調査対象・抽出条件

調査の種類	調査対象者	抽出条件
市民	令和4年10月1日時点の西東京市在住の18歳以上の市民1,500人	男女の比率が同数となるように無作為抽出
子ども	市内小学校（5年生）、中学校（2年生）及び高等学校（2年生）の児童・生徒1,000人程度	各学校1クラスずつ実施、各学校にて該当クラスを選定

(3) 調査方法・期間

- 調査方法
市民：郵送により配付、郵送又はWEBによる回答・回収
子ども：各学校経由で配布、交換便等による回収
- 調査期間
市民：令和4年10月14日（金）～11月4日（金）
※11月30日（水）まで期間延長
子ども：令和4年10月14日（金）～11月4日（金）

(4) 回収結果

調査の種類	配付数	有効回答数	有効回答率
市民	1,500件	583件	38.9%
子ども	1,013件	1,013件	100.0%

(5) 調査内容

調査名称	調査内容
市民	1 回答者自身について 2 文化芸術の鑑賞・体験について 3 文化的な活動について 4 回答者の子どもの文化芸術体験について 5 西東京市の文化的な環境について 6 西東京市のまちのイメージについて
子ども	1 回答者自身と文化芸術に対する考えについて 2 文化芸術の鑑賞・体験について 3 文化芸術の活動について 4 西東京市の文化芸術について

(6) 標本誤差

母集団から一部の標本を抽出して行う標本調査では、母集団値を推定する際に誤差（以下「標本誤差」）が生じる。標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数、回答の比率によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプル数（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される本調査の標本誤差は以下のとおりである。

調査名称	母集団	有効回答数	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
市民	175,744	583	±2.4%	±3.2%	±3.7%	±4.0%	±4.1%

注1) 上記母集団は令和4年10月1日現在の数値。

注2) 地域団体の対象には一部全数の対象が含まれているため標本誤差は算出していない。

(7) 報告書の見方

- 1 図表内のnとは、回答者総数（または該当設問での該当者数）のことである。
- 2 集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 3 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- 4 クロス集計表は、特徴的な結果に網掛けしている。
- 5 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- 6 本文中で示すクロス集計表は、上段が実数で、下段が%を指している。

2 集計結果

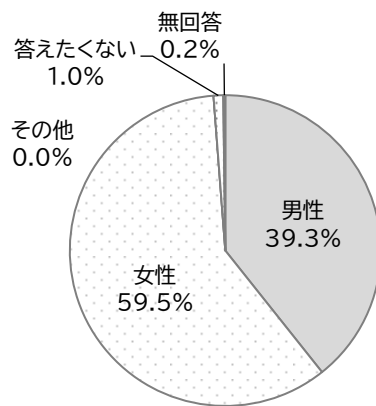
(1) 市民を対象としたアンケート調査

1 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「女性」が59.5%、「男性」が39.3%、「答えたくない」が1.0%となっている。

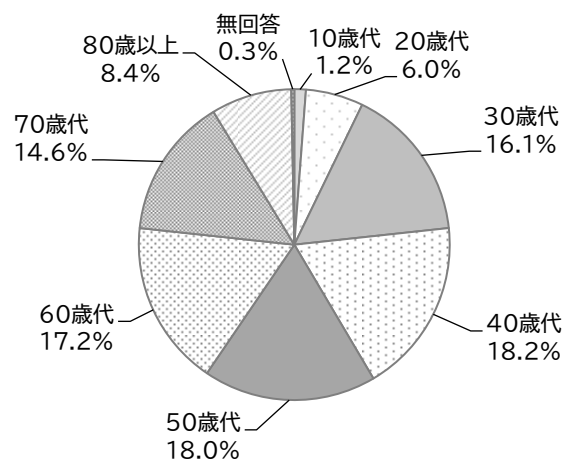
(n=583)



問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

「40歳代」が18.2%と最も多く、次いで「50歳代」が18.0%、「60歳代」が17.2%となっている。

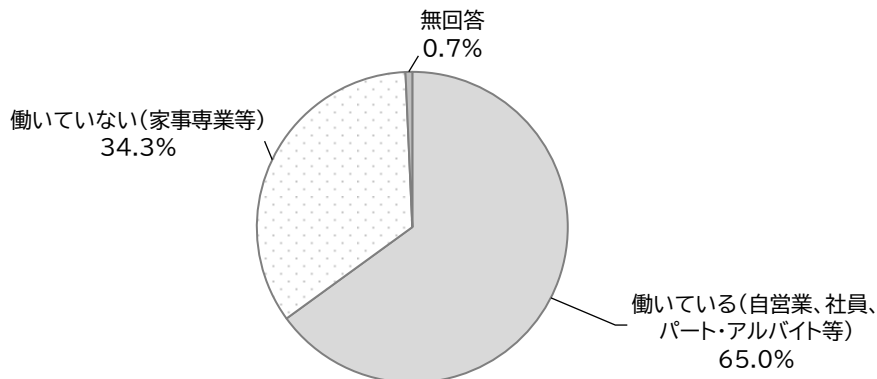
(n=583)



問3 あなたは働いていますか。(○は1つ)

「働いている(自営業、社員、パート・アルバイト等)」が65.0%、「働いていない(家事専業等)」が34.3%となっている。

(n=583)



問4 あなたのお住まいの地区をお答えください。町名だけでなく、丁目までご記入ください。

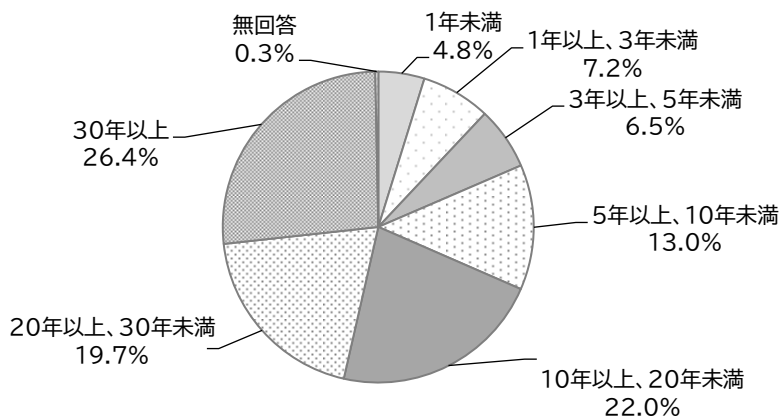
町名別では「谷戸町」が57件で最も多く、次いで「芝久保町」が50件、「柳沢」が44件となっている。

	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目	六丁目	七丁目	不明	計
田無町	5	4	6	9	3	2	8	0	37
南町	3	8	2	9	2	2		0	26
西原町	3	1	4	7	5			0	20
緑町	5	5	4					0	14
谷戸町	15	27	13					2	57
北原町	4	0	2					0	6
向台町	4	6	9	10	4	7		0	40
芝久保町	13	11	9	8	8			1	50
新町	7	2	3	6	3	8		0	29
柳沢	4	16	9	3	7	5		0	44
東伏見		2	1	2	1	1		0	7
保谷町	4	5	7	3	11	10		0	40
富士町	9	9	1	7	1	4		0	31
中町	2	1	5	5	7	9		0	29
東町	3	5	8	4	3	2		0	25
泉町	6	7	2	1	8	3		0	27
住吉町	5	3	4	3		5		0	20
ひばりが丘	6	9	14	0				0	29
ひばりが丘北	0	0	4	2				0	6
栄町	3	3	6					0	12
北町	0	2	2	3	1	0		0	8
下保谷	2	2	4	4	6			0	18
無回答								8	8

問5 あなたは何年間、西東京市に住んでいますか。(○は1つ)

「30年以上」が26.4%と最も多く、次いで「10年以上、20年未満」が22.0%、「20年以上、30年未満」が19.7%となっており、10年以上が約7割を占める。

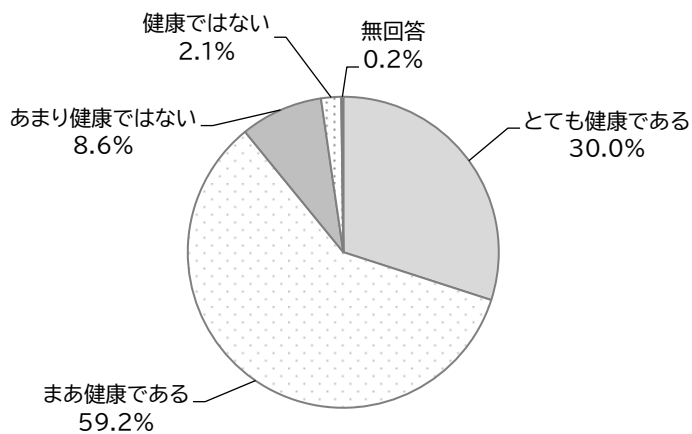
(n=583)



問6 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「まあ健康である」「とても健康である」を合わせた肯定的評価が89.2%、「あまり健康ではない」「健康ではない」を合わせた否定的評価が10.7%となっている。

(n=583)

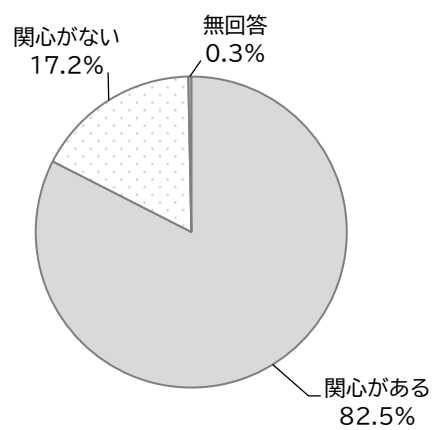


2 文化芸術の鑑賞・体験について

問7 あなたは、文化芸術の鑑賞・体験や活動に関心を持っていますか。(○は1つ)

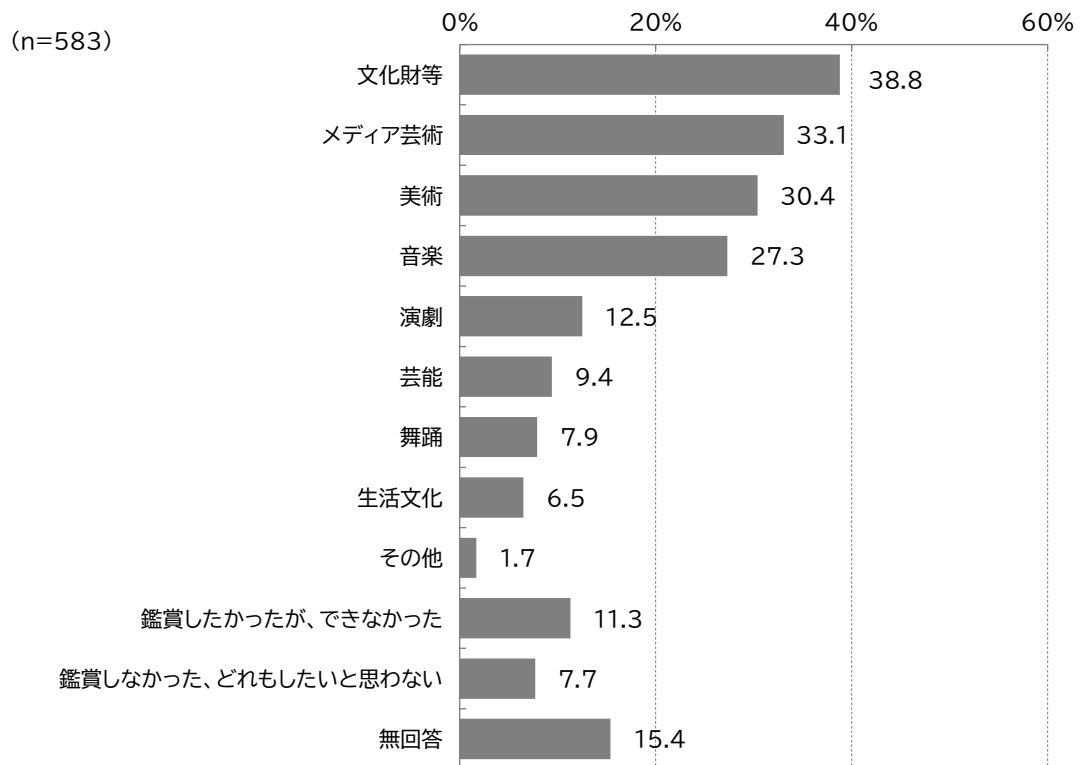
「関心がある」が82.5%、「関心がない」が17.2%となっている。

(n=583)



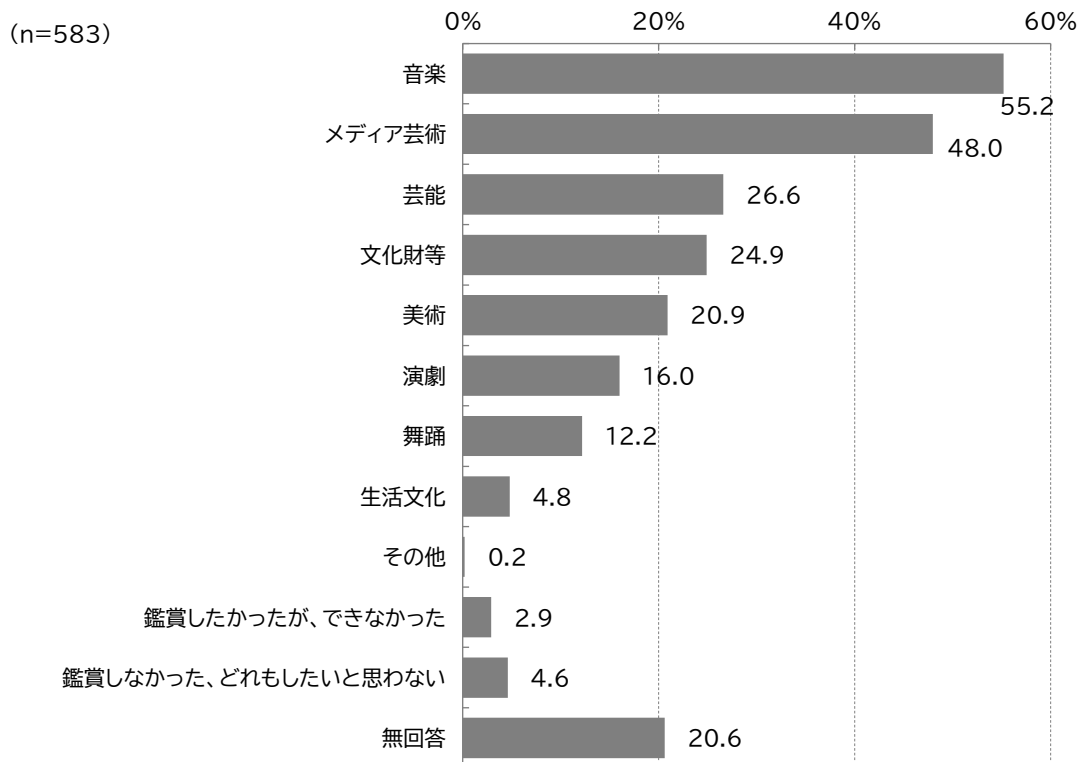
問8 (1) -1 あなたは、過去1年間で文化芸術を鑑賞・体験しましたか。
直接、文化施設等で (〇はいくつでも)

「文化財等」が38.8%と最も多く、次いで「メディア芸術」が33.1%、「美術」が30.4%、「音楽」が27.3%となっている。



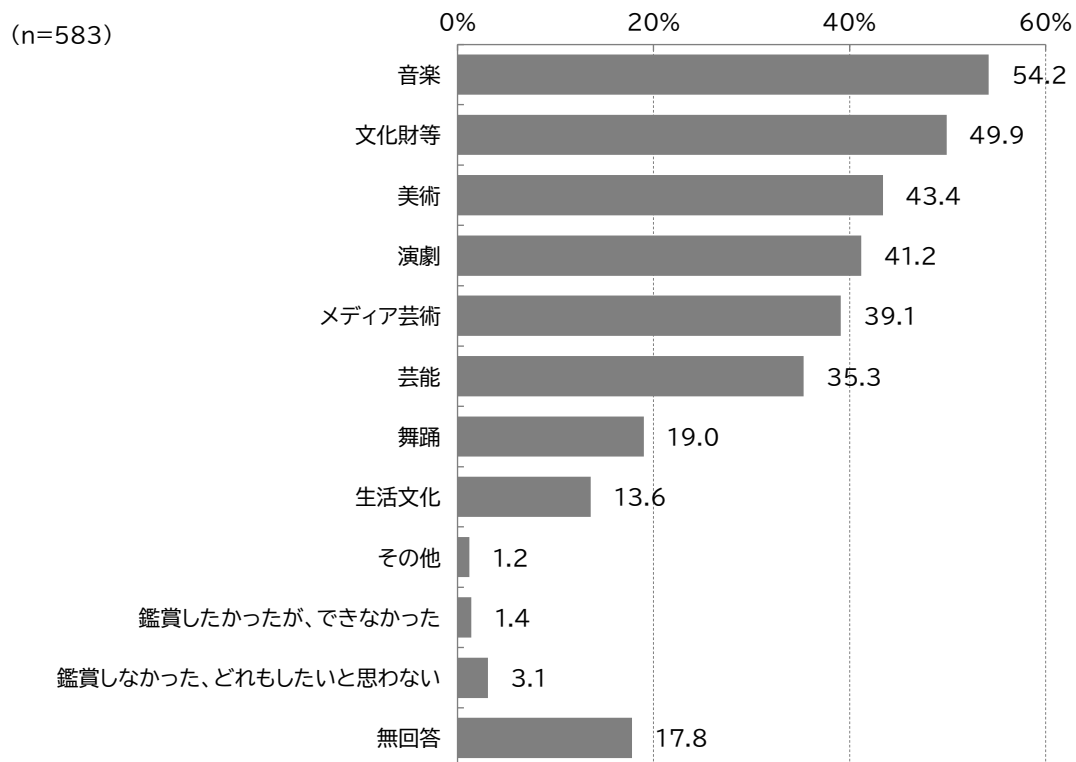
問8 (1) -2 あなたは、過去1年間で文化芸術を鑑賞・体験しましたか。
テレビやDVD、インターネット等で (〇はいくつでも)

「音楽」が55.2%と最も多く、次いで「メディア芸術」が48.0%となっている。



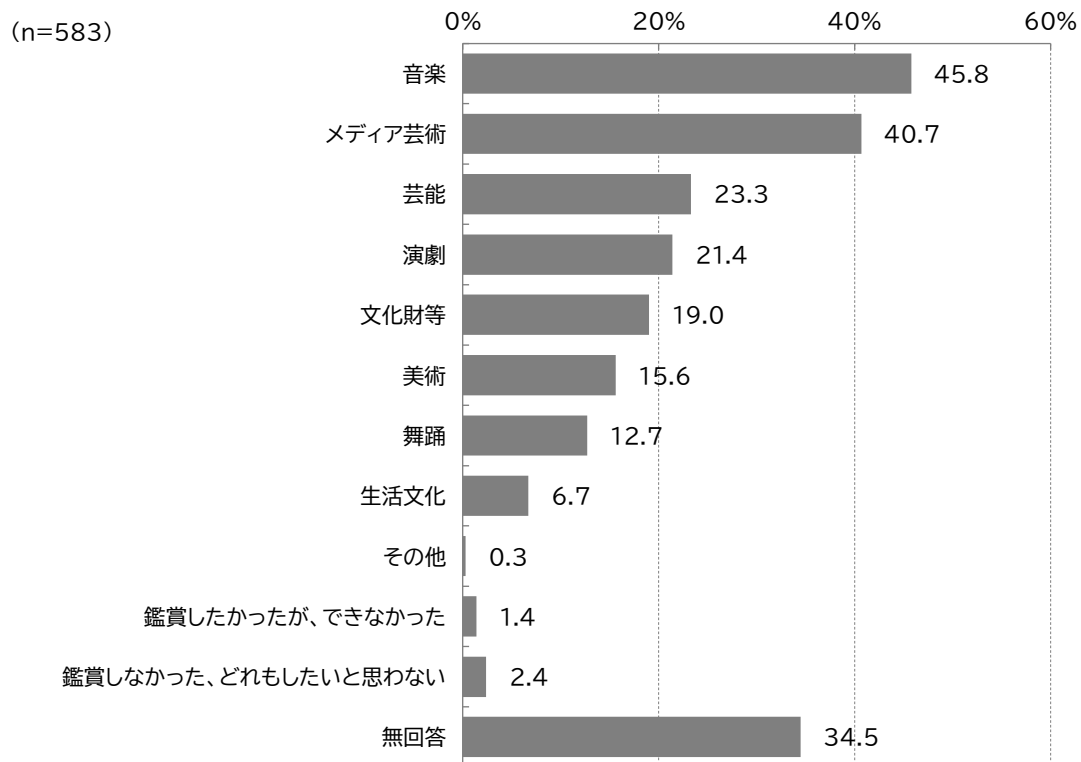
問8 (2) -1 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は何ですか。
 直接、文化施設等で (〇はいくつでも)

「音楽」が 54.2%と最も多く、次いで「文化財等」が 49.9%、「美術」が 43.4%、「演劇」が 41.2%となっている。



問8 (2) -2 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は何ですか。
テレビやDVD、インターネット等で (〇はいくつでも)

「音楽」が45.8%と最も多く、次いで「メディア芸術」が40.7%となっている。

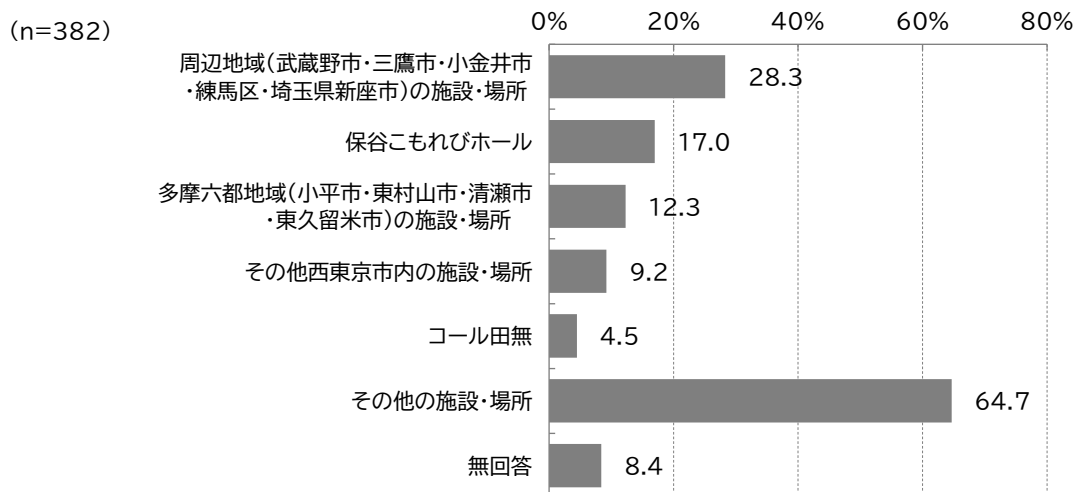


問8-1は、問8(1)で直接、文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験した方(「1」～「9」を選択した方)のみ回答

問8-1 過去1年間において、あなたが鑑賞・体験した場所はどちらですか。利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。(〇はいくつでも)

「周辺地域の施設・場所」が28.3%と最も多く、次いで「保谷こもれびホール」が17.0%、「多摩六都地域の施設・場所」が12.3%となっている。

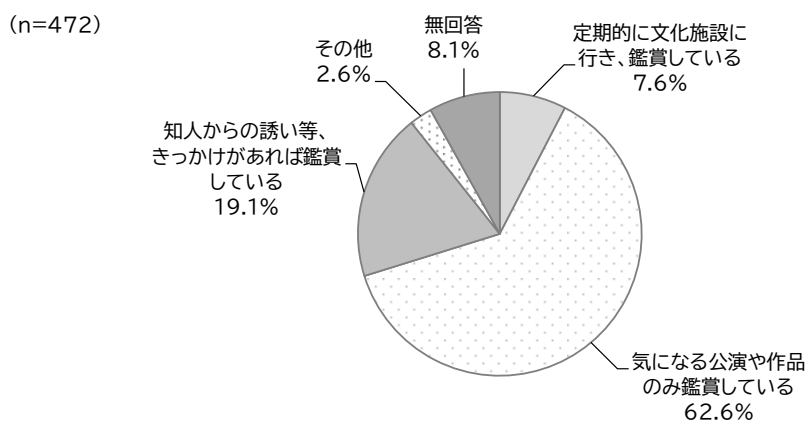
また、「その他西東京市内の施設・場所」としては、田無神社やアスタ市民ホール、公民館等、「その他の施設・場所」としては、都内の劇場や美術館等が挙げられている。



問8-2は、問8(1)で直接、文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験した方(「1」～「9」を選択した方)のみ回答

問8-2 あなたは文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)での鑑賞・体験について、日常的にどのように活動していますか。(〇は1つ)

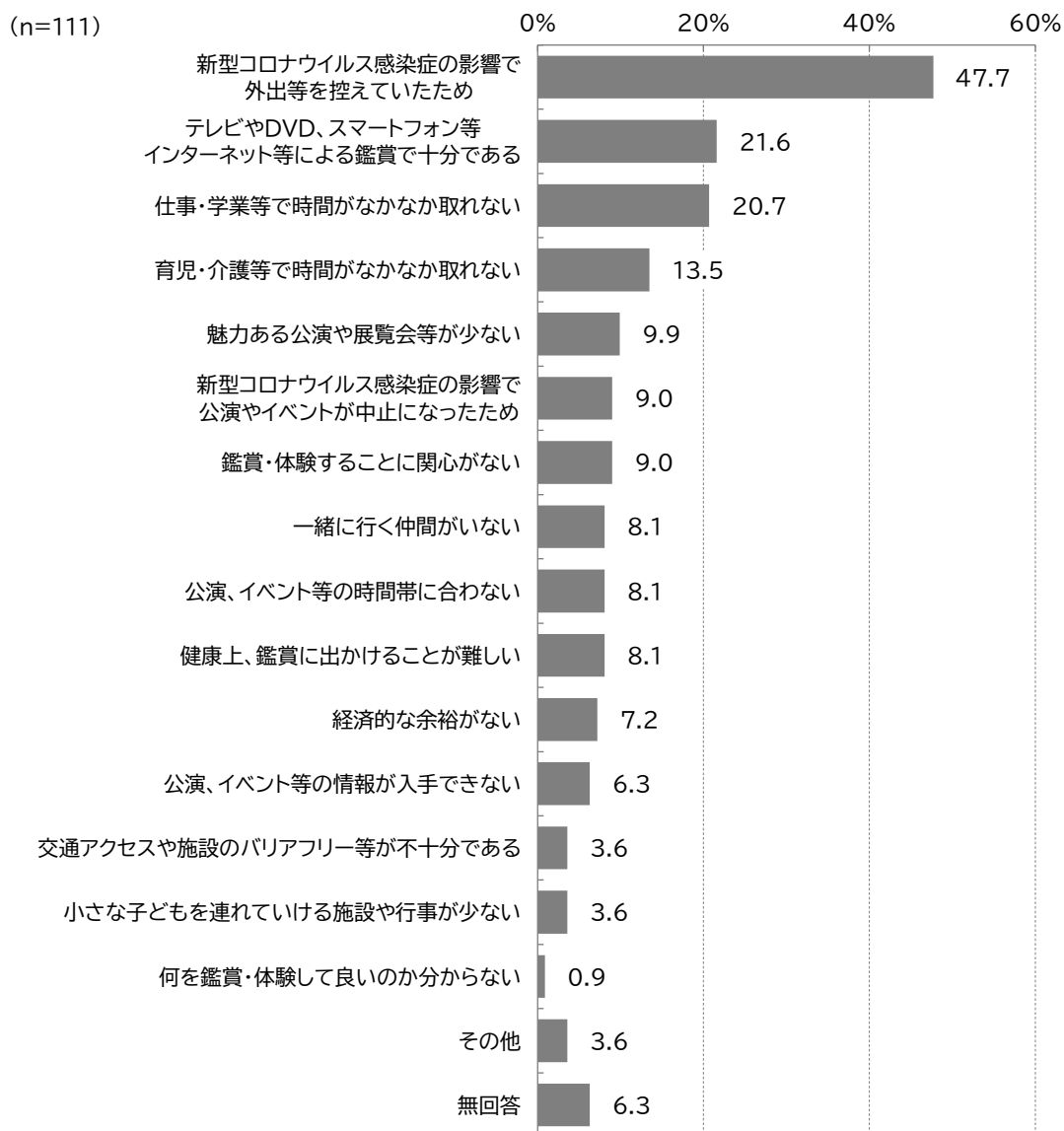
「気になる公演や作品のみ鑑賞している」が62.6%と最も多く、次いで「知人からの誘い等、きっかけがあれば鑑賞している」が19.1%となっている。



問8-3は、問8（1）で直接、文化施設（ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等）で鑑賞・体験しなかった方（「10」「11」を選んだ方）のみ回答

問8-3 過去1年間において、鑑賞・体験しなかったのは、どのような理由からですか。（〇はいくつでも）

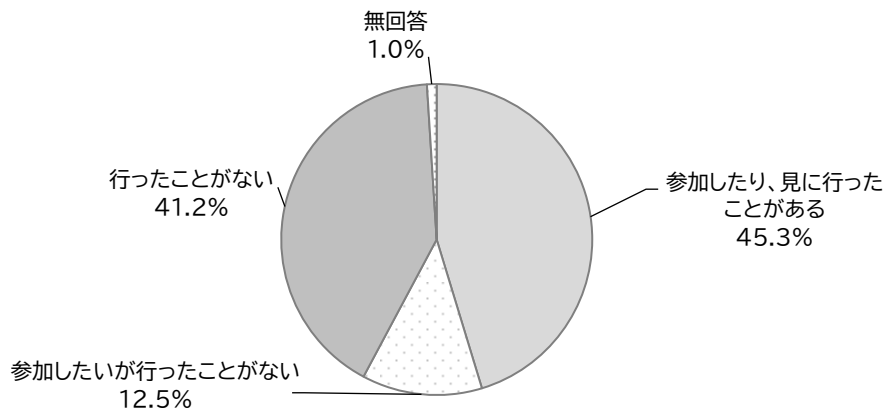
「新型コロナウイルス感染症の影響で外出等を控えていたため」が47.7%と最も多く、次いで「テレビやDVD、スマートフォン等インターネット等による鑑賞で十分である」が21.6%、「仕事・学業等で時間がなかなか取れない」が20.7%となっている。



問9 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等西東京市内で行われる文化的なイベントに行ったり、参加したことがありますか。(○は1つ)

「参加したり、見に行ったことがある」が45.3%、「参加したいが行ったことがない」が12.5%、「行ったことがない」が41.2%となっている。

(n=583)



問9-1は、問9で「1」(行ったことがある方)を選んだ方のみ回答

問9-1 行ったり、参加したことがあるイベントについて、具体的にお書きください。

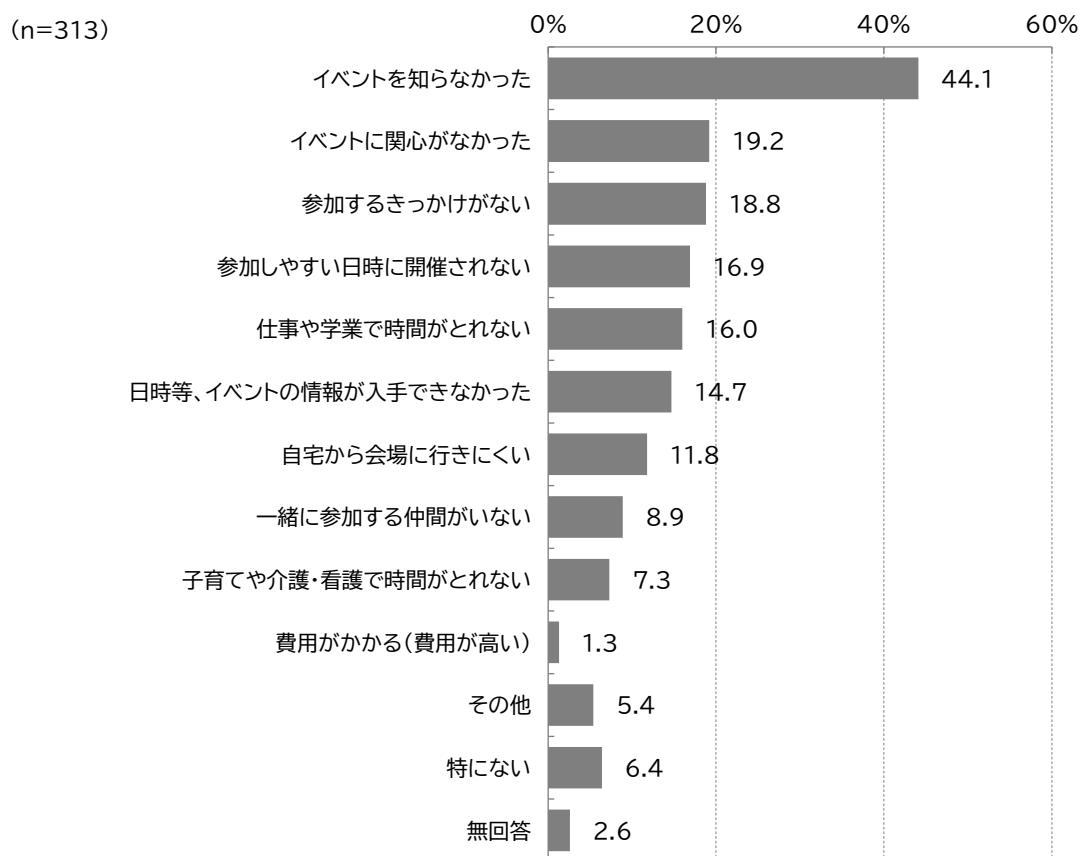
参加したことがあるイベントについては、「西東京市民まつり」が147件、「西東京市民文化祭」が27件となっている。また、「その他」については、具体的なイベント名は不明だが、見る側や演じる側でイベントに参加した経験があること等が記載されている。

	件数
西東京市民まつり	147
西東京市民文化祭	27
保谷こもれびホール	7
公民館	6
その他	56
覚えていない	8

問9-2は、問9で「2」「3」(行ったことがない方)を選んだ方のみ回答

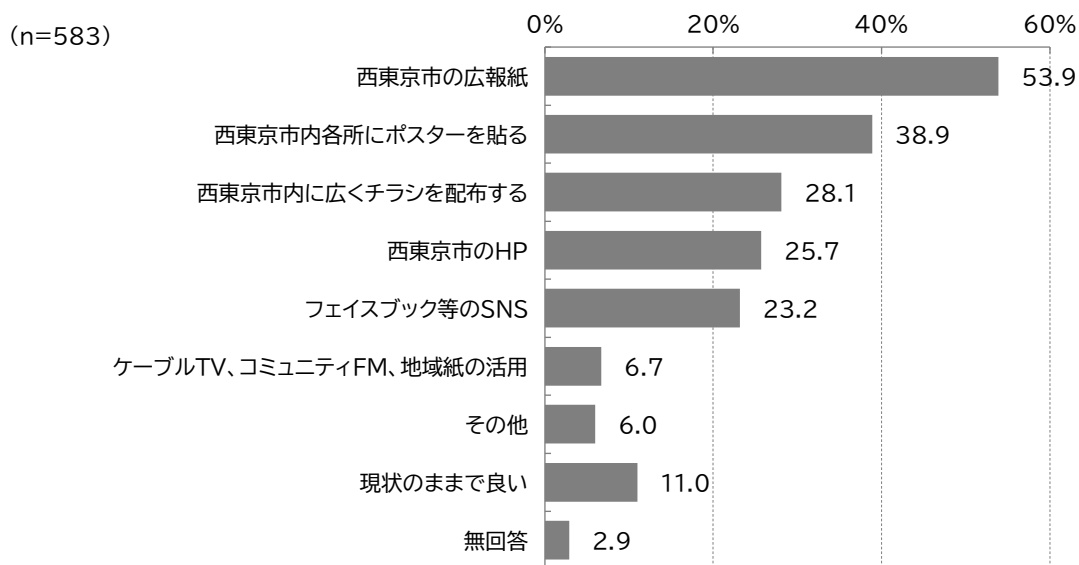
問9-2 あなたが、これまで西東京市内のイベントに参加しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「イベントを知らなかった」が44.1%と最も多く、次いで「イベントに関心がなかった」が19.2%、「参加するきっかけがない」が18.8%、「参加しやすい日時に開催されない」が16.9%、「仕事や学業で時間がとれない」が16.0%となっている。



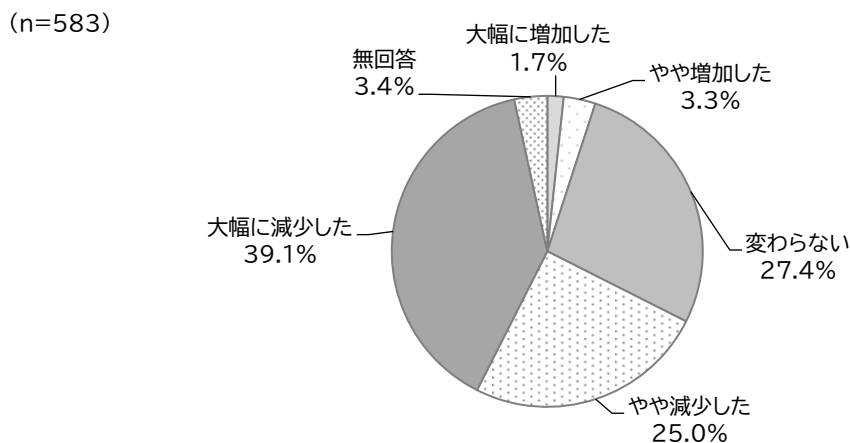
問10 あなたが、西東京市内で文化的なイベントや作品等を、今以上に鑑賞・体験するようになるためには、西東京市がどのような情報発信をすると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

「西東京市の広報紙」が53.9%と最も多く、次いで「西東京市内各所にポスターを貼る」が38.9%、「西東京市内に広くチラシを配布する」が28.1%、「西東京市のHP」が25.7%、「フェイスブック等のSNS」が23.2%となっている。



問11 新型コロナウイルス感染症の影響前と比べて、あなたが過去1年間でホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で文化芸術を直接鑑賞したり、活動したりする頻度は増加しましたか、減少しましたか。(〇は1つ)

「やや減少した」「大幅に減少した」を合わせた減少層が64.1%、「変わらない」が27.4%、「大幅に増加した」「やや増加した」を合わせた増加層が5.0%となっている。



問 11-1 新型コロナウイルス感染症の影響前後について、あなたの文化芸術の実施状況の変化を具体的にお書きください。

【問 11 「大幅に増加した」「やや増加した」と回答した方の主な意見】

- ・ オンラインでの体験機会が増えた。
- ・ 以前からデザインやイラストを描くのが好きだったが、さらに絵を描く時間が増えた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染予防に気をつけて、子どもに見せてあげたい建築物や芸術品を見せに行っている。
- ・ 遠出の代わりに、近くの都内の文化芸術(美術館等)に行く機会が増えた。敷居の高そうなメディアも、オンライン鑑賞という手段によって身近になった。
- ・ 在宅時間が増えたため、趣味を増やそうと音楽に興味を持ちはじめた。
- ・ 人と会う機会が減った分、個人での鑑賞機会が増えた。

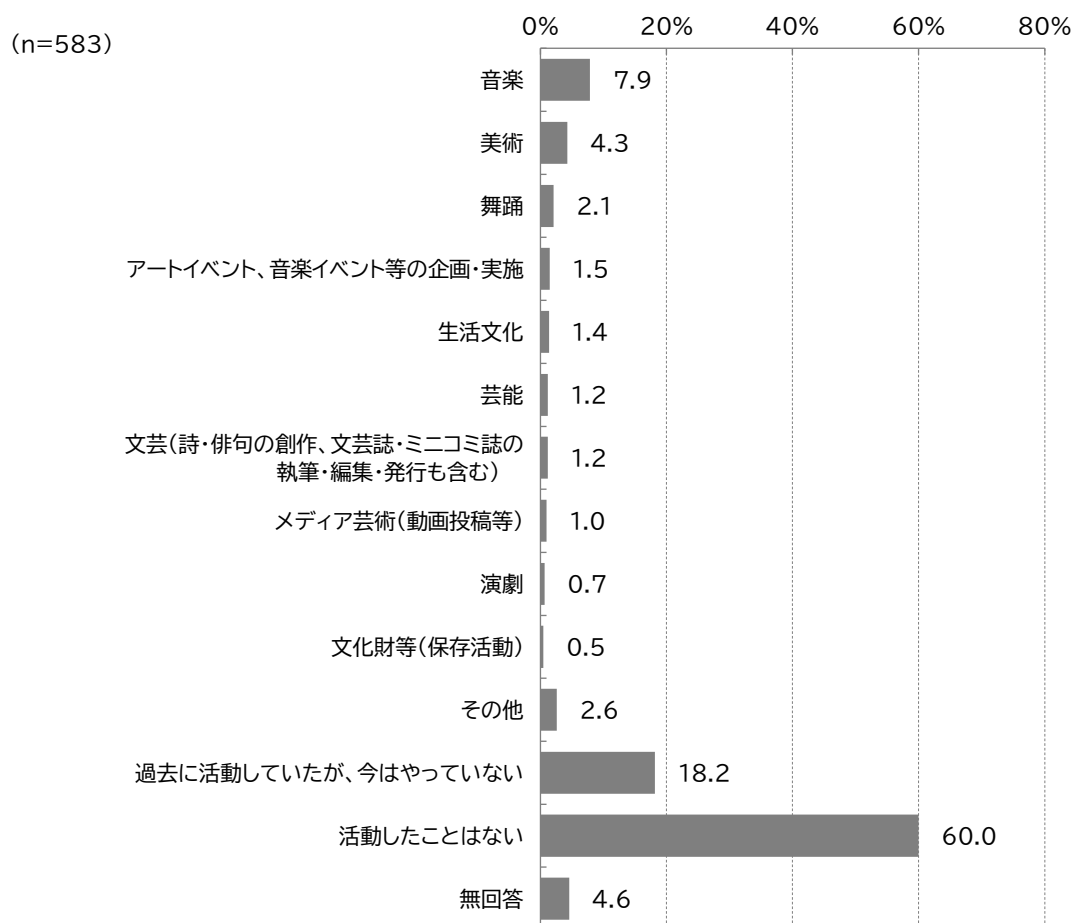
【問 11 「やや減少した」「大幅に減少した」と回答した方の主な意見】

- ・ イベントの中止で、参加が減った。
- ・ 密の中での鑑賞が不安で、新型コロナウイルス感染症が気になり、外出することが減った。
- ・ 予約制の展覧会等は行きにくいと感じている。

3 文化的な活動について

問 12 あなたは、現在、創作や公演等に関係する文化的な活動を継続的に行っていますか。行っているものをすべて選択してください。(〇はいくつでも)
※活動分野に関する分類の1～6は問8と同様。

「活動したことはない」が60.0%、「過去に活動していたが、今はやっていない」が18.2%であり、継続的に行っている中では「音楽」が7.9%で最も高くなっている。

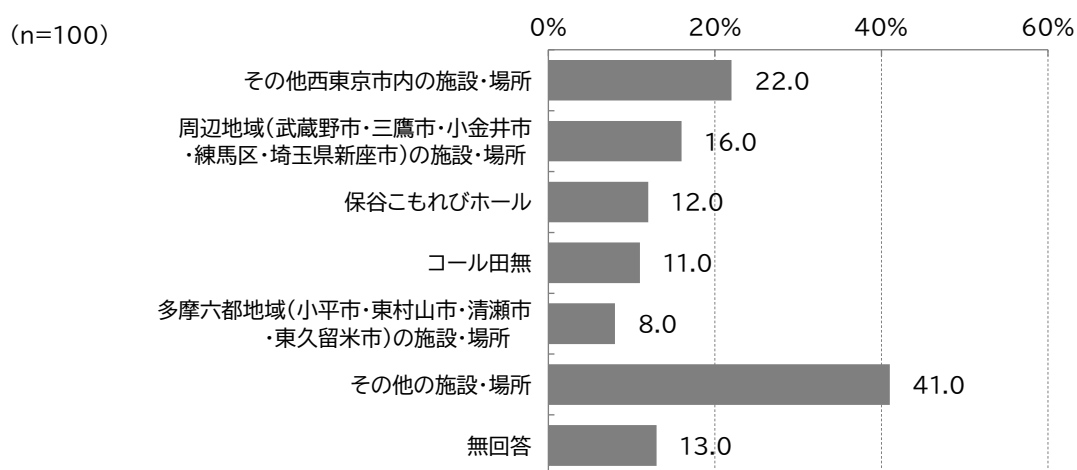


問12-1は、問12で「1」～「11」（何らかの活動をしている方）を選んだ方のみ回答

問12-1 あなたは、どのような場所で、問12で選択した文化的な活動を行うことが多いですか。よく利用する場所をすべて選択してください。（〇はいくつでも）

「その他西東京市内の施設・場所」が22.0%と最も多く、次いで「周辺地域の施設・場所」が16.0%となっている。

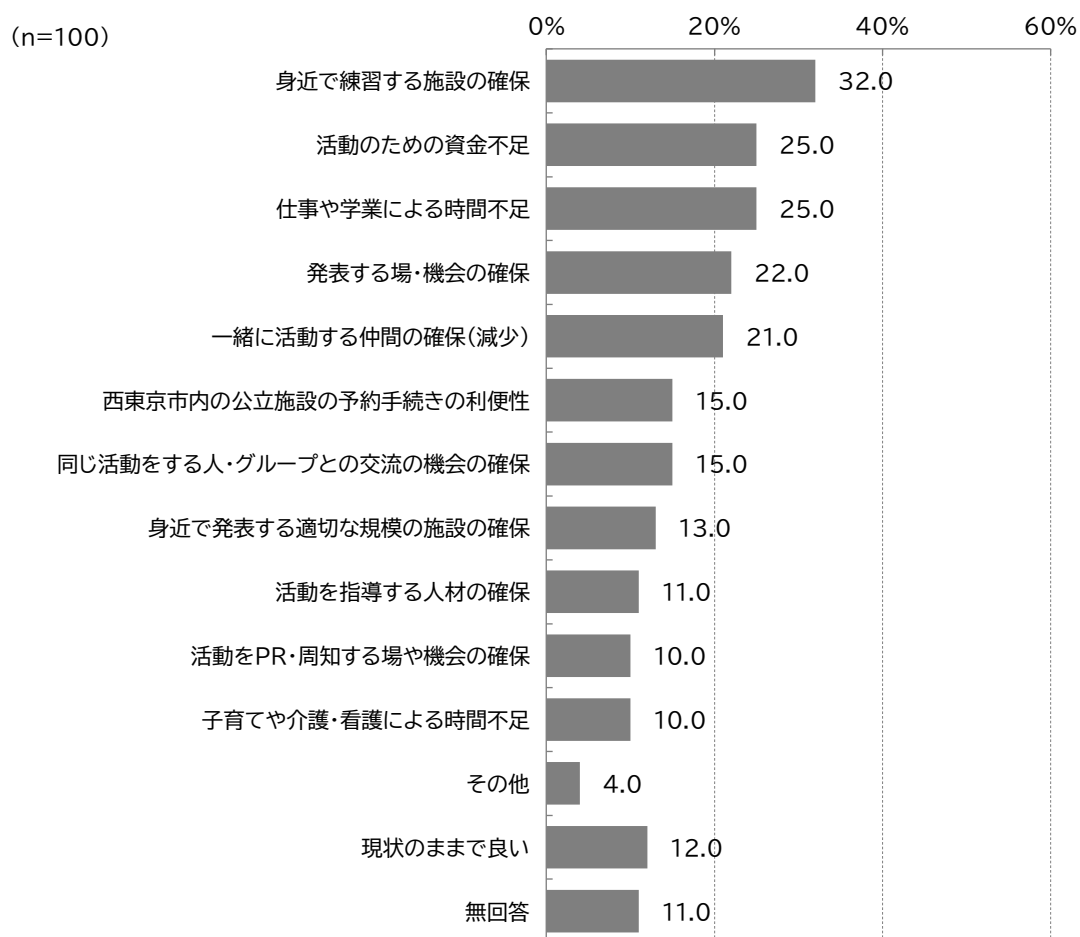
また、「その他西東京市内の施設・場所」としては公民館、カルチャーセンター、自宅等、「その他の施設・場所」としては、都内や埼玉県、勤務先等が挙げられている。



問12-2は、問12で「1」～「11」（何らかの活動をしている方）を選んだ方のみ回答

問12-2 あなたがより充実した文化活動を実施するために、課題だと感じていることは何ですか。（〇はいくつでも）

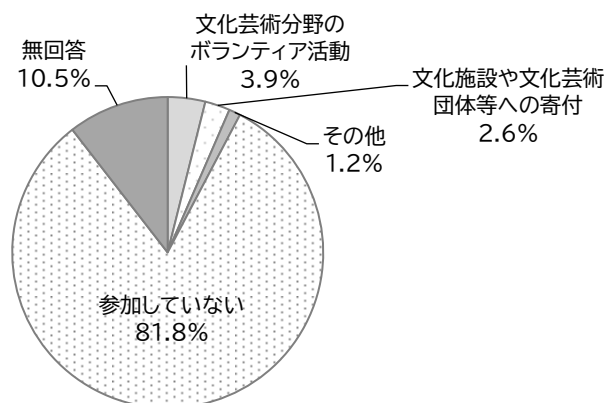
「身近で練習する施設の確保」が32.0%と最も多く、次いで「活動のための資金不足」「仕事や学業による時間不足」が25.0%、「発表する場・機会の確保」が22.0%、「一緒に活動する仲間の確保（減少）」が21.0%となっている。



問 13 (1) あなたは、次の文化芸術の支援に関する活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

「参加していない」が 81.8%であり、「文化芸術分野のボランティア活動」が 3.9%、「文化施設や文化芸術団体等への寄付」が 2.6%となっている。

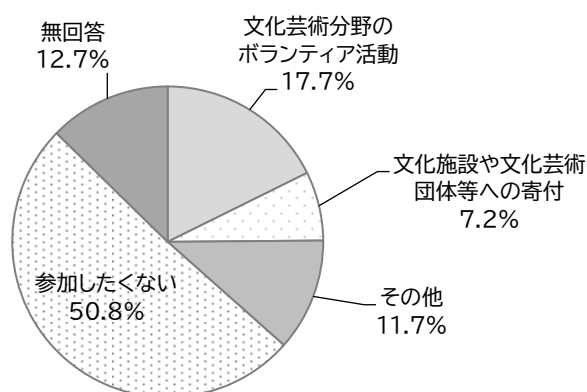
(n=583)



問 13 (2) あなたは、次の文化芸術の支援に関する活動に今後参加したいと思いますか。(○は1つ)

「参加したくない」が 50.8%であり、「文化芸術分野のボランティア活動」が 17.7%、「文化施設や文化芸術団体等への寄付」が 7.2%となっている。

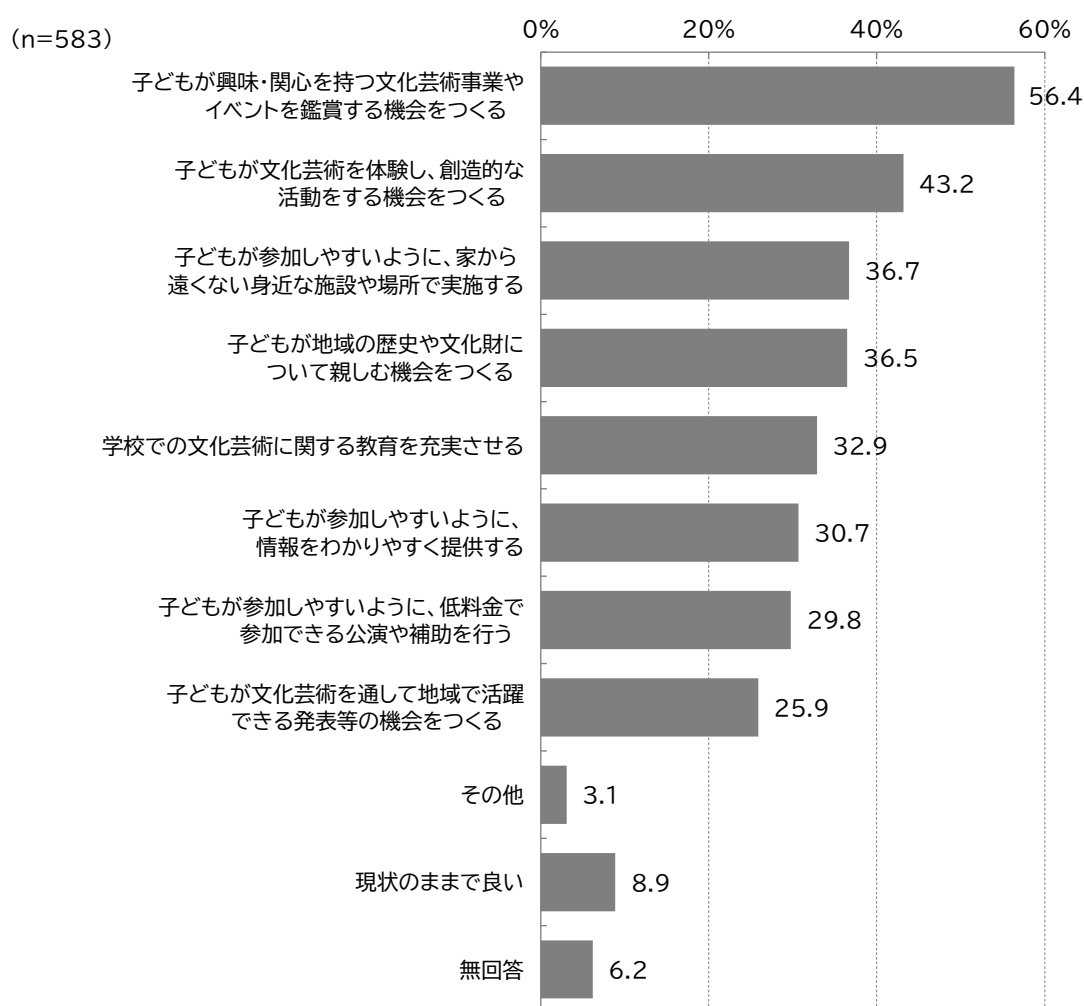
(n=583)



4 回答者の子どもの文化芸術体験について

問 14 あなたは子どもの文化芸術体験をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

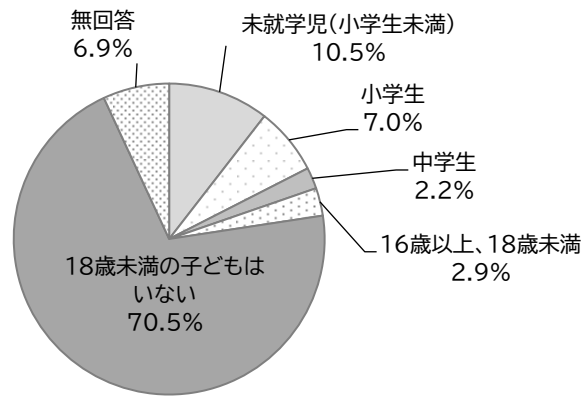
「子どもが興味・関心を持つ文化芸術事業やイベントを鑑賞する機会をつくる」が56.4%と最も多く、次いで「子どもが文化芸術を体験し、創造的な活動をする機会をつくる」が43.2%、「子どもが参加しやすいように、家から遠くない身近な施設や場所で実施する」が36.7%、「子どもが地域の歴史や文化財について親しむ機会をつくる」が36.5%となっている。



問 15 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。あなたの一番下のお子さんは次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「18歳未満の子どもはいない」が70.5%、「未就学児(小学生未満)」が10.5%、「小学生」が7.0%、「中学生」が2.2%、「16歳以上、18歳未満」が2.9%となっている。

(n=583)



問 15-1 は、問 15 で「1」～「4」（18 歳未満のお子さんがいる方）を選んだ方のみ回答

問 15-1 あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去 1 年間で文化的なイベントや作品等の鑑賞や体験、または文化的な活動をしましたか。（〇はいくつでも）

「映画館で映画・アニメ鑑賞」が 37.9% と最も多く、次いで「音楽の習い事」「舞踊、ダンス、演劇等の習い事」が 18.9% となっている。また、「鑑賞・体験・活動はしていない」が 21.2% となっている。

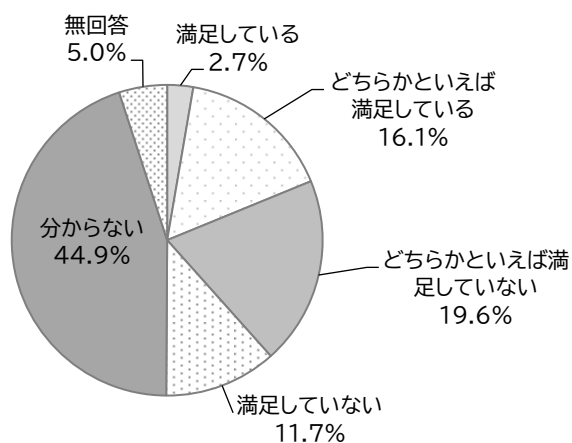


5 西東京市の文化的な環境について

問 16 あなたは、西東京市の文化的な環境に満足していますか。(○は1つ)

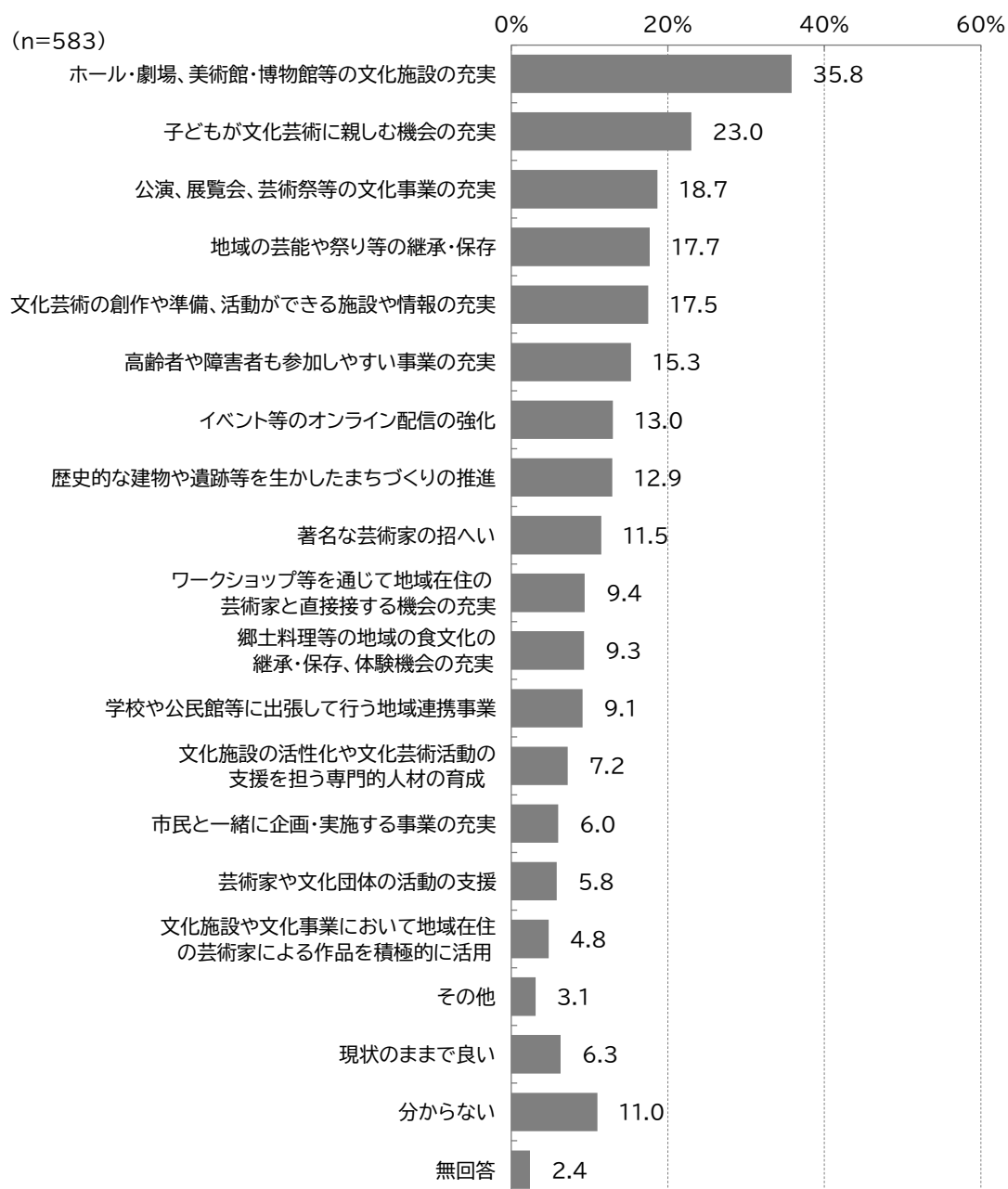
「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた肯定的評価が 18.8%、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせた否定的評価が 31.3%、「分からない」が 44.9%となっている。

(n=583)



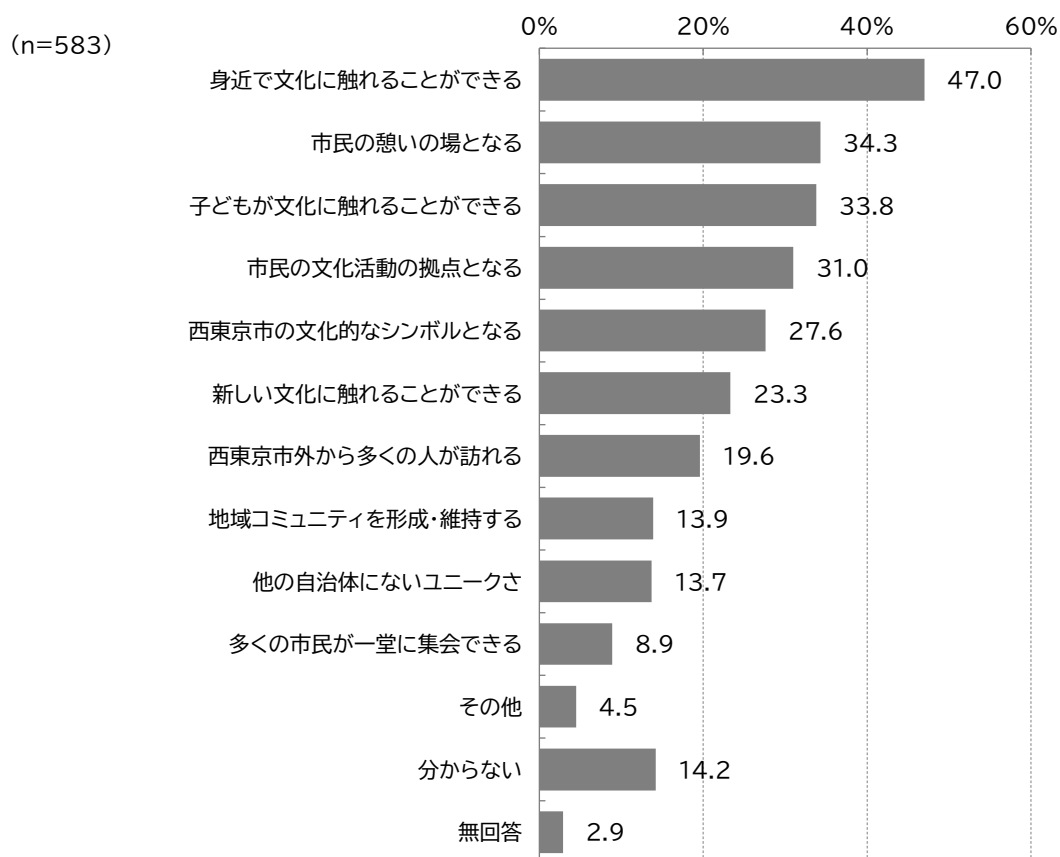
問 17 あなたは、西東京市の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「ホール・劇場、美術館・博物館等の文化施設の充実」が35.8%と最も多く、次いで「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が23.0%、「公演、展覧会、芸術祭等の文化事業の充実」が18.7%、「地域の芸能や祭り等の継承・保存」が17.7%、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実」が17.5%となっている。



問 18 現在、西東京市内には保谷こもれびホール等の施設がありますが、将来的には保谷こもれびホールの耐用年数を見据えながら、西東京市における文化施設のあり方を検討していく必要があります。市内の施設に求めるものについてあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

「身近で文化に触れることができる」が 47.0%と最も多く、次いで「市民の憩いの場となる」が 34.3%、「子どもが文化に触れることができる」が 33.8%、「市民の文化活動の拠点となる」が 31.0%となっている。

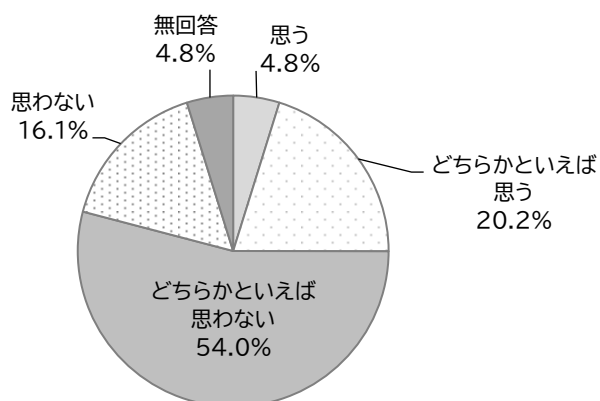


6 西東京市のまちのイメージについて

問 19 あなたは西東京市が文化芸術に親しみやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた肯定的評価が25.0%、「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせた否定的評価が70.1%となっている。

(n=583)

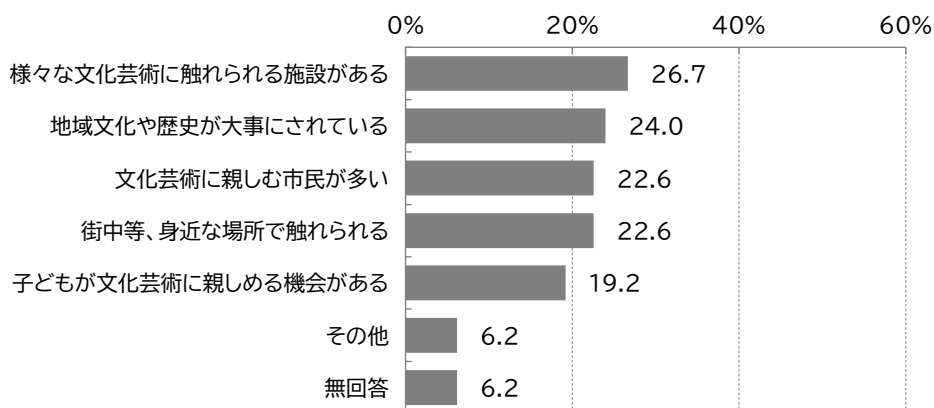


問 19-1 は、問 19 で「1」「2」(文化芸術に親しみやすいまちだと思う)を選んだ方のみ回答

問 19-1 あなたが問 19 でそのように思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

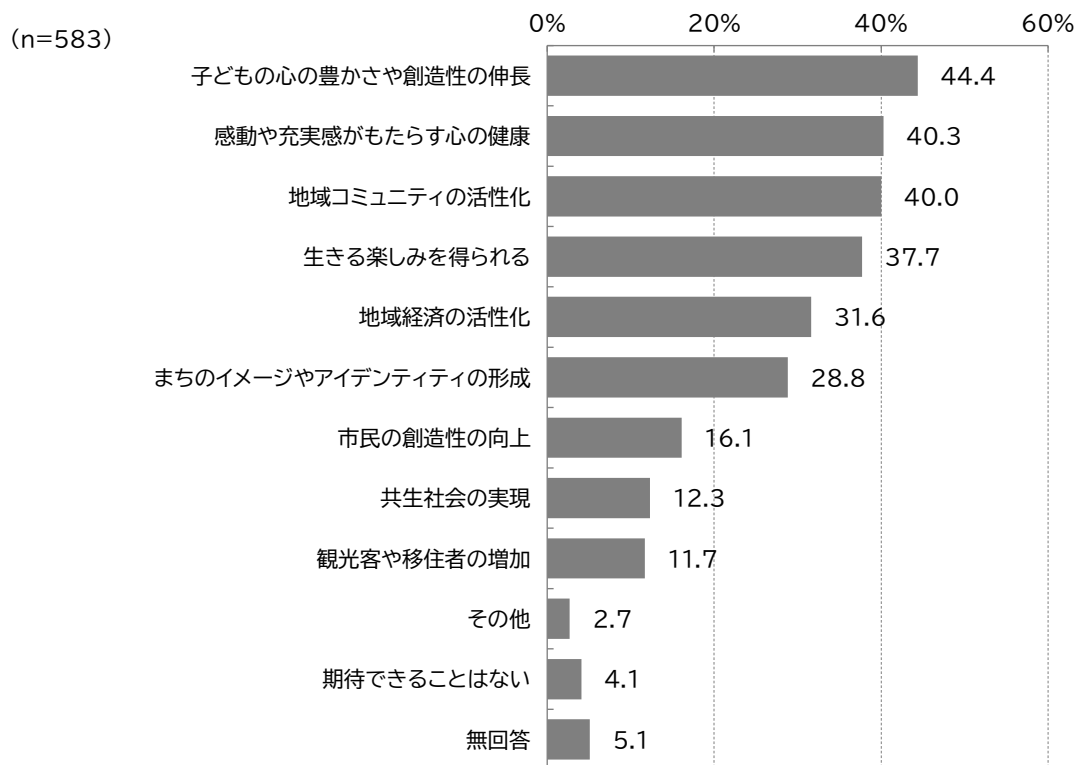
「様々な文化芸術に触れられる施設がある」が26.7%と最も多く、次いで「地域文化や歴史が大事にされている」が24.0%、「文化芸術に親しむ市民が多い」「街中等身近な場所で触れられる」が22.6%となっている。

(n=146)



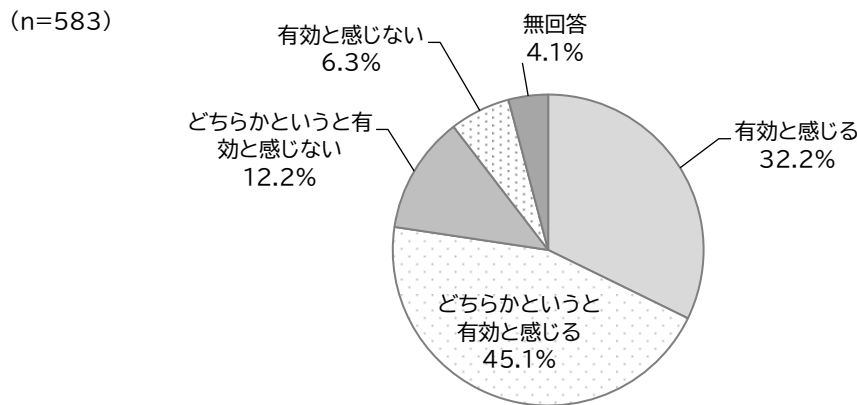
問 20 あなたは、西東京市において文化芸術を活発にすることにより、地域や市民にもたらされる効果として期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもの心の豊かさや創造性の伸長」が44.4%と最も多く、次いで「感動や充実感をもたらす心の健康」が40.3%、「地域コミュニティの活性化」が40.0%、「生きる楽しみを得られる」が37.7%となっている。



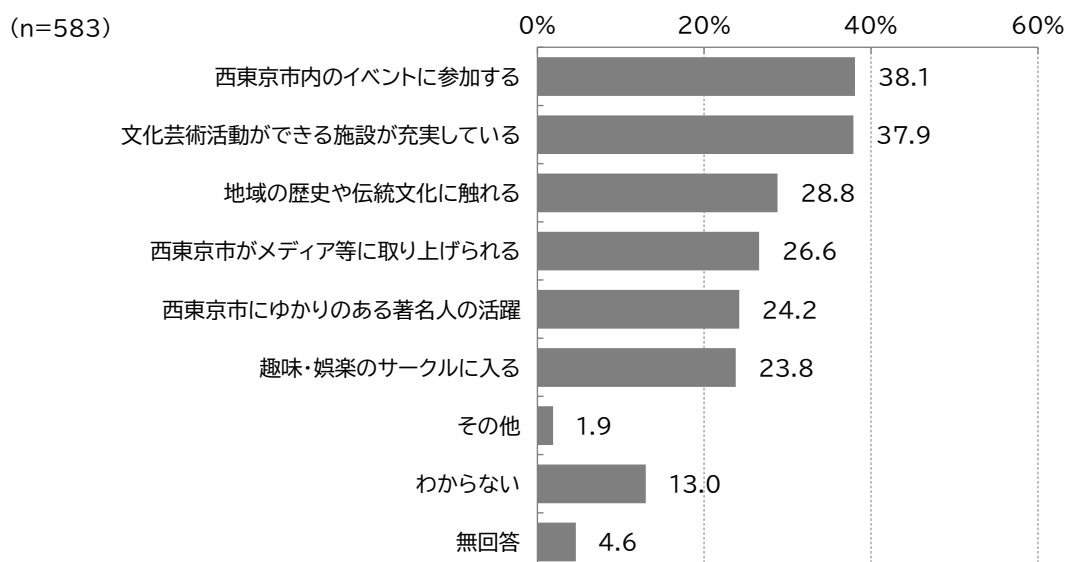
問 21 あなたは、文化芸術に親しむことが西東京市に対して愛着を高めることに有効だと感じますか。(○は1つ)

「有効と感じる」「どちらかというと有効と感じる」を合わせた肯定的評価が77.3%、「どちらかというと有効と感じない」「有効と感じない」を合わせた否定的評価が18.5%となっている。



問 21-1 あなたは、文化芸術活動を通して西東京市への愛着を高めるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「西東京市内のイベントに参加する」が38.1%と最も多く、次いで「文化芸術活動ができる施設が充実している」が37.9%、「地域の歴史や伝統文化に触れる」が28.8%となっている。



問 22 「地域に根ざした文化芸術活動」や「伝統文化の継承」あるいは「西東京市独自の文化の育成」のためには、どのような取組が必要だと思いますか。ご意見があれば自由に記入してください。

「鑑賞・体験、イベント・事業について」が 34 件、「情報発信について」が 28 件、「文化施設について」が 21 件となっている。

	件数
鑑賞・体験、イベント・事業について	34
情報発信について	28
文化施設について	21
子どもの文化芸術活動について	7
市民との交流について	4
文化資源の活用について	4
他分野連携について	3
新型コロナウイルス感染症拡大の影響について	2
人材確保や育成について	2
その他	34

【「鑑賞・体験、イベント・事業について」の主な意見】

- ・まずは「行ってみようかな」「見てみようかな」と思ってもらえるイベントを立ち寄りやすい場所（図書館、市内小学校等）で行ってみる。（30 歳代）
- ・例えば、様々な地域で行われるジャズフェスティバルのような、誰でも参加できるイベントを催す等、人が足を運んでくれる機会を増やすことが必要かも知れない。文化芸術に積極的活動をする市なのだと認知されることで、市民の意識が変わり伝統文化への見方も変わり、それらの活動の変化につながるのでは。（40 歳代）

【「情報発信について」の主な意見】

- ・SNS 等をもっと活用すべきではと思う。（40 歳代）
- ・市民の文化芸術の関心を高めるために、Twitter や Instagram 等を有効的に活用し、市民に「関心を持って知ってもらうルートをつくる」ということが重要だと思う。（40 歳代）

【「文化施設について」の主な意見】

- ・図書館と公民館の間のような文化的な施設を望む。また、子どもが遊べる場所が減っている。公園等も制限が多く、声を出すだけでも通報される時代である。子ども達が自由にのびのびと発想して遊べる、また、文化芸術活動に取り組める施設を作ってほしい。近隣自治体の良い施設を参考にしてほしい。（40 歳代）
- ・「コール田無」や「きらっと」での絵画展も良いが、市立の美術館ができれば人々にも芸術文化の市として愛着を高められるのではと感じる。（80 歳以上）

【「子どもの文化芸術活動について」の主な意見】

- ・地域に根ざすという意味では子どもへの注力が良いと思うが、働く親も多く、時間の確保や、金銭面が難しい場合がある。イベント的ではなく、平日の放課後、残っていれば何かに参加できるような支援があれば、子どもは安全に、親も安心して仕事等ができる。（20 歳代）

- ・幼稚園、保育園、小学校（特に低学年）の年齢時に多く機会を与えることで、子ども時代に得た感覚を大人になってからも持続、もしくは与える側の育成も兼ねているのではと感じる。とにかく一つずつでも多くの機会を与えてほしい。（30 歳代）

【「市民との交流について」の主な意見】

- ・多くの市民が活動に関われるよう、内容、場所、日時等を設定の上で定期的、継続的な取組。（50 歳代）
- ・文化、伝統文化活動に関わる個人、団体同士の友好関係を保持するための取組。一般的に名の知れた個人、団体のみの活動にならないことを望む。（50 歳代）

【「文化資源の活用について」の主な意見】

- ・お祭をまちでもっと盛り上げる。地域のお店等もお祭に合わせて様々なイベントを入れる等の大きなまちのイベントにする。（40 歳代）
- ・市の国指定史跡、東京都指定文化財、市指定文化財等の保存と共に農業も文化だと思う。自然を大切にしたい政策をお願いしたい。（70 歳代）

【「他分野連携について」の主な意見】

- ・市や地域の特産品や伝統文化等を小学校、中学校等の教育現場とつなげてくれるコーディネーターが必要。（40 歳代）
- ・市の魅力を高めるには文化施設と運動施設の連携、一体化が必要と思う。（70 歳代）

【「新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」の主な意見】

- ・コロナ禍でマスク着用等、我慢の日々である。無料で気軽にエンターテイメントを楽しむことができれば、非日常を味わうことで、心が穏やかになったり、人々がホッとすると思う。（50 歳代）
- ・いろいろなサークル（特に高齢者向き）が中止になった。再度結成するには市の大きな力が必要である。まず場所の確保が一番の悩みである。新型コロナウイルス感染症も少し収まったように感じるため、人数制限等早く戻してほしい。一定の場所でできることでサークルが長続きできる。（80 歳以上）

【「人材確保や育成について」の主な意見】

- ・育成人材の確保。（40 歳代）
- ・文芸委員的な人材の育成活動支援。（80 歳以上）

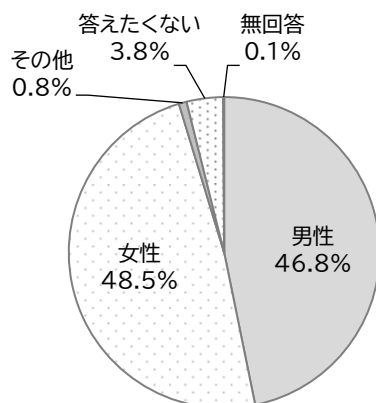
(2) 子どもを対象としたアンケート調査

1 回答者自身と文化芸術に対する考えについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「女性」が48.5%、「男性」が46.8%、「その他」が0.8%、「答えたくない」が3.8%となっている。

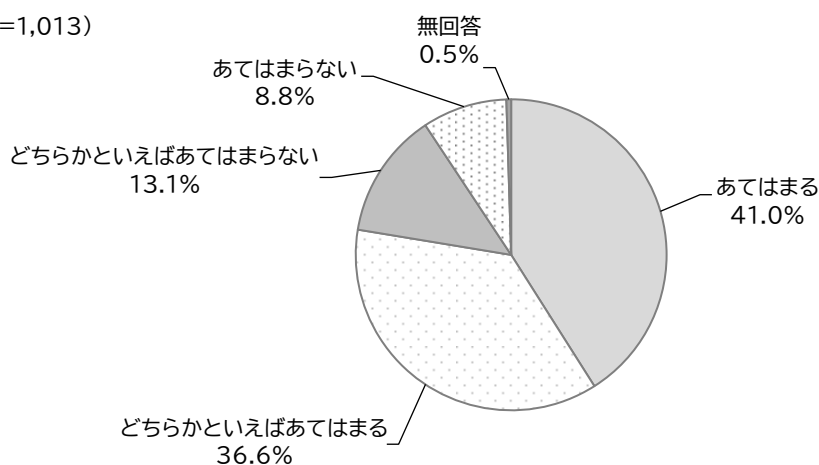
(n=1,013)



問2 あなたは、文化芸術を観たり、聴いたり、創作することは好きですか。(○は1つ)

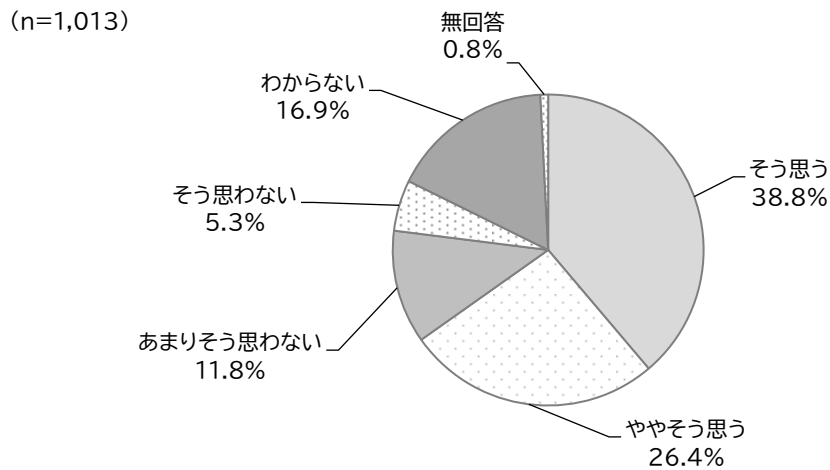
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた肯定層が77.6%、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた否定層が21.9%となっている。

(n=1,013)



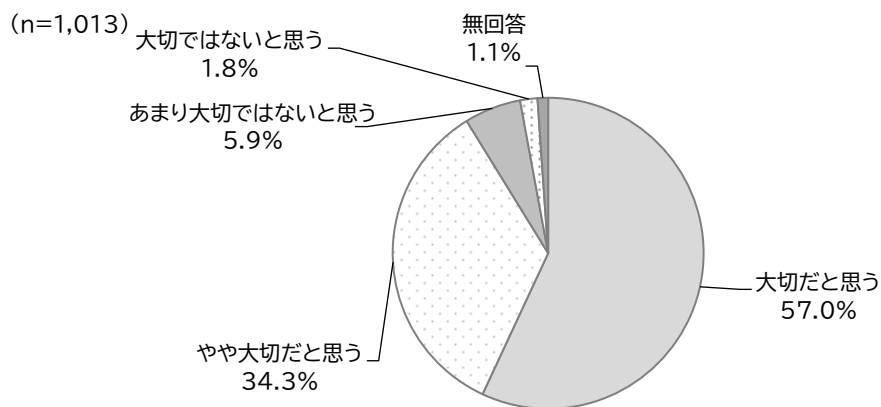
問3 あなたは、大人になってからも文化芸術を楽しみたいと思いますか。(○は1つ)

「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定層が65.2%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定層が17.1%となっている。



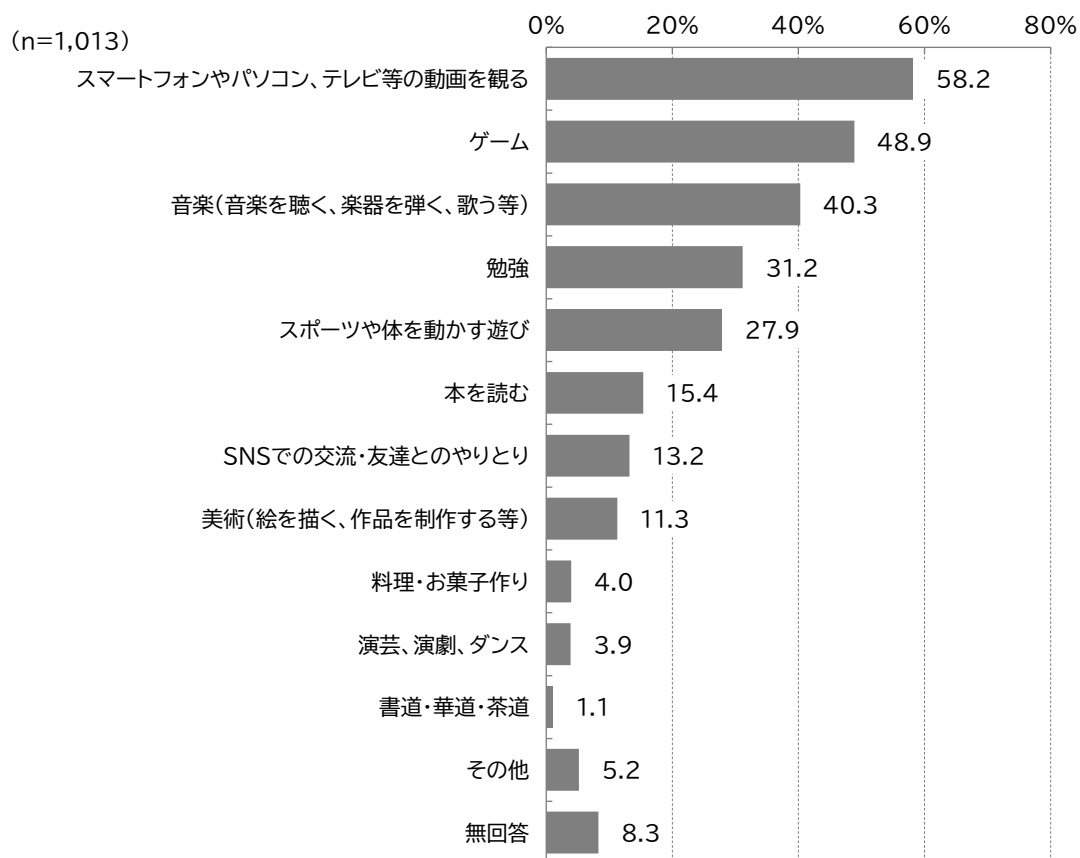
問4 あなたは、人々にとって文化芸術は大切なものだと思いますか。(○は1つ)

「大切だと思う」「やや大切だと思う」を合わせた肯定層が91.3%、「あまり大切ではないと思う」「大切ではないと思う」を合わせた否定層が7.7%となっている。



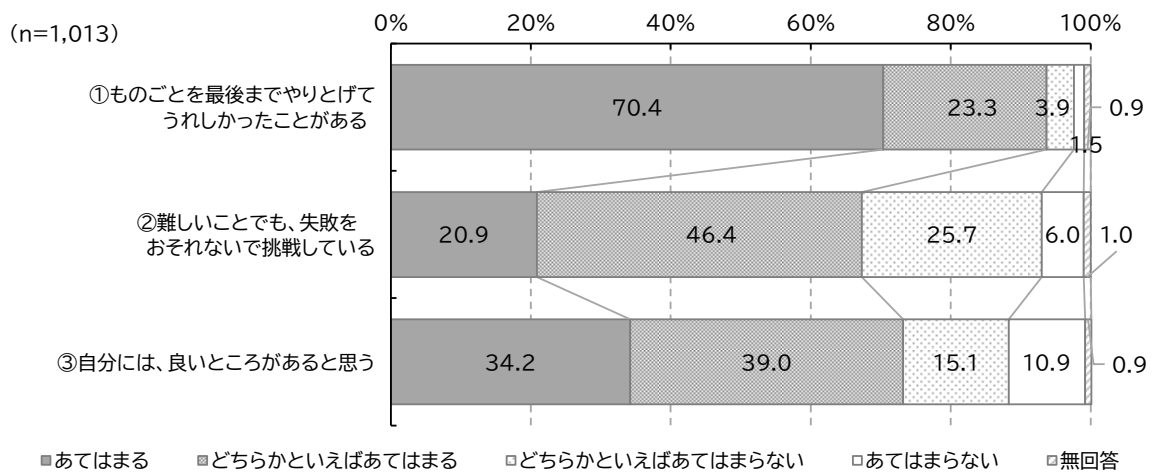
問5 あなたは、休日や放課後等の学校以外の時間を主にどんなことをして過ごしていますか。(〇は3つまで)

「スマートフォンやパソコン、テレビ等の動画を観る」が58.2%と最も多く、次いで「ゲーム」が48.9%、「音楽（音楽を聴く、楽器を弾く、歌う等）」が40.3%となっている。



問6 毎日の生活の中で、あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ1つに○)

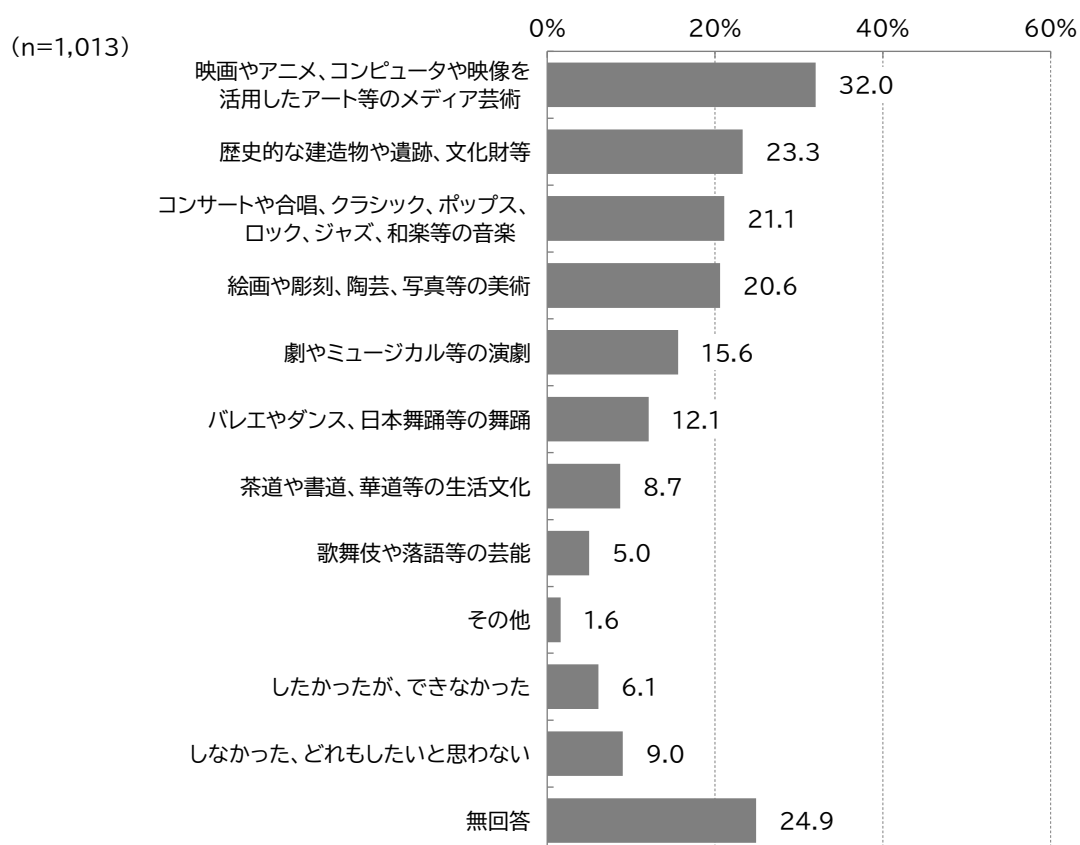
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた肯定層について、「①ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」が93.7%、「②難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」が67.3%、「③自分には、良いところがあると思う」が73.2%となっている。



2 文化芸術の鑑賞・体験について

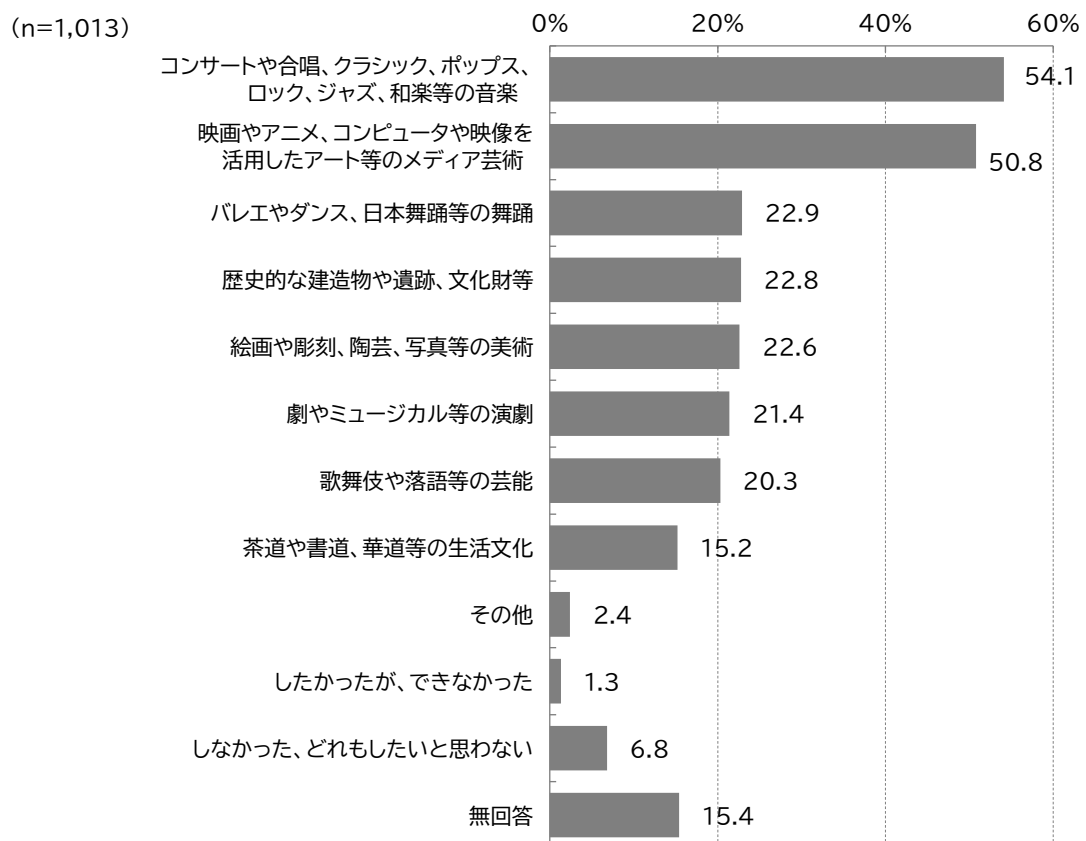
問7(1)-1 あなたは、過去1年間で文化芸術を鑑賞・体験しましたか。
直接、文化施設等で(○はいくつでも)

「映画やアニメ、コンピュータや映像を活用したアート等のメディア芸術」が32.0%と最も多く、次いで「歴史的な建造物や遺跡、文化財等」が23.3%、「コンサートや合唱、クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等の音楽」が21.1%、「絵画や彫刻、陶芸、写真等の美術」が20.6%となっている。



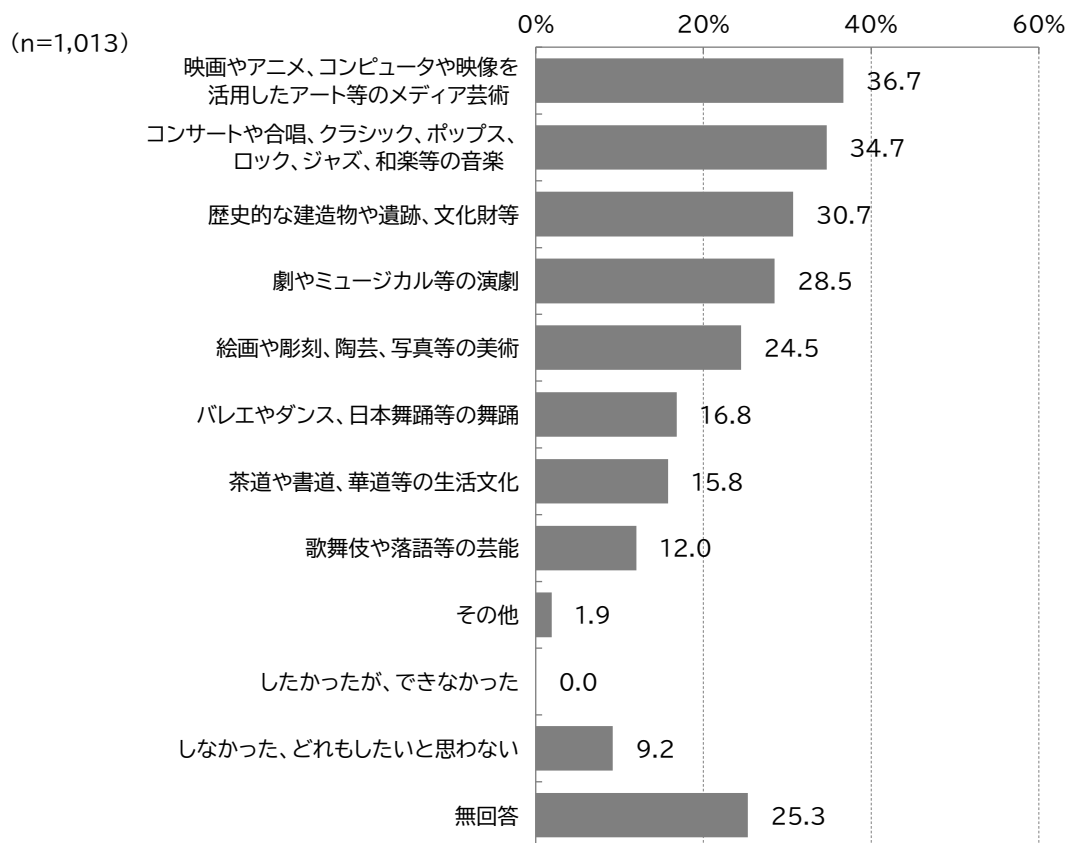
問7 (1) -2 あなたは、過去1年間で文化芸術を鑑賞・体験しましたか。
テレビやDVD、インターネット等で (〇はいくつでも)

「コンサートや合唱、クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等の音楽」が54.1%と最も多く、次いで「映画やアニメ、コンピュータや映像を活用したアート等のメディア芸術」が50.8%となっている。



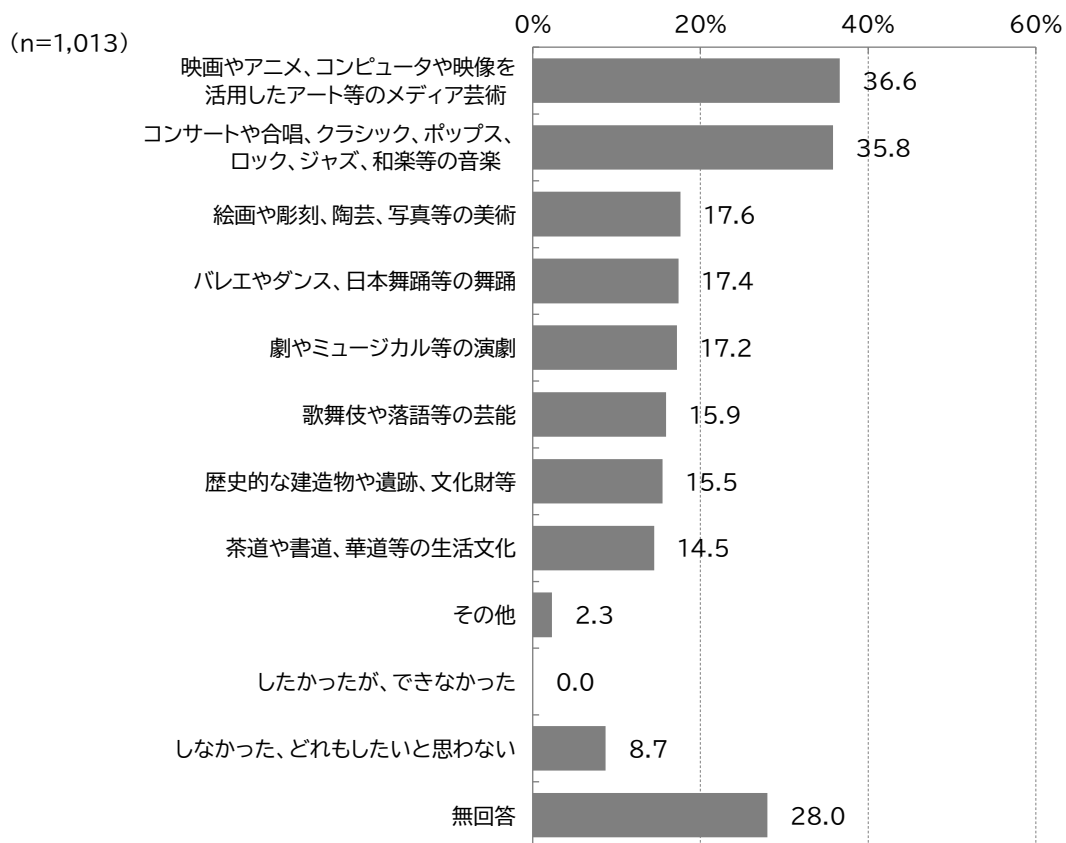
問7(2)-1 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は何ですか。
 直接、文化施設等で(〇はいくつでも)

「映画やアニメ、コンピュータや映像を活用したアート等のメディア芸術」が36.7%と最も多く、次いで「コンサートや合唱、クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等の音楽」が34.7%、「歴史的な建造物や遺跡、文化財等」が30.7%となっている。



問7(2)-2 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は何ですか。
テレビやDVD、インターネット等で(〇はいくつでも)

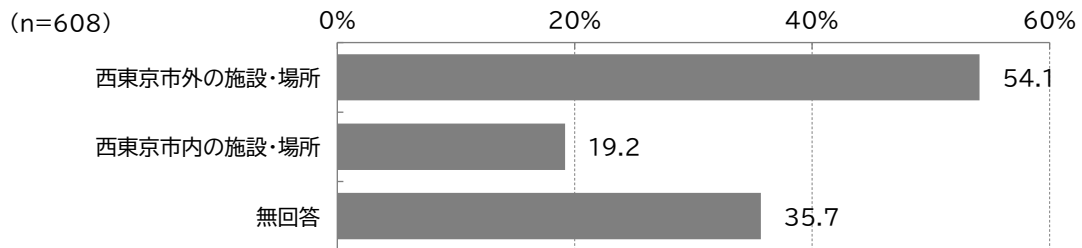
「映画やアニメ、コンピュータや映像を活用したアート等のメディア芸術」が36.6%と最も多く、次いで「コンサートや合唱、クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等の音楽」が35.8%となっている。



問7-1は、問7の(1)で過去1年間で文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験した方のみ回答

問7-1 過去1年間において、観たり、聴いたりした場所はどこですか。具体的な場所も分かれば、お書きください。(〇はいくつでも)

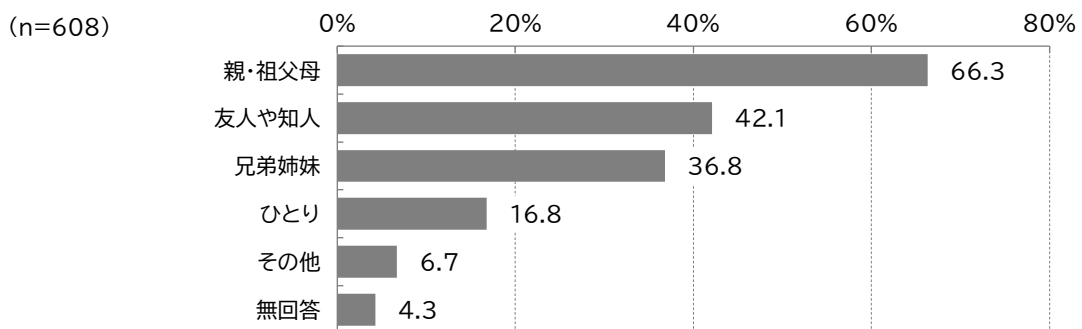
「西東京市外の施設・場所」が54.1%、「西東京市内の施設・場所」が19.2%となっている。
また、「西東京市内の施設・場所」としては、保谷こもれびホールや下野谷遺跡、「西東京市外の施設・場所」としては、映画館や美術館、博物館等が挙げられている。



問7-2は、問7の(1)で過去1年間で文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験した方のみ回答

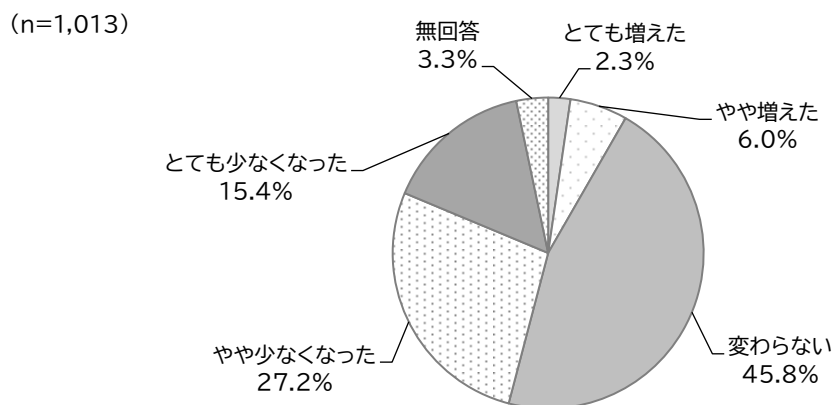
問7-2 誰と観たり、聴いたりをしましたか。(〇はいくつでも)

「親・祖父母」が66.3%と最も多く、次いで「友人や知人」が42.1%、「兄弟姉妹」が36.8%となっている。



問8 新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、過去1年間でホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で文化芸術を直接観たり、聴いたり、活動したりする回数は変わりましたか。(○は1つ)

「やや少なくなった」「とても少なくなった」を合わせた減少層が42.6%、「変わらない」が45.8%、「とても増えた」「やや増えた」を合わせた増加層が8.3%となっている。



問8-1 新型コロナウイルス感染症が流行する前と後で、どのように変わったのが教えてください。

【問8 「とても増えた」「やや増えた」と回答した方の主な意見】

- ・家にいる時間が増えたからよく映画を見に行くようになった。友達によく誘われるようになった。
- ・外出が少なくなり、家で本を読んだり勉強したりすることが多くなった。
- ・友達と遊ぶ時間が増えた。
- ・家にいる時間が増えたため、YouTubeの生配信でコンサート等を見るようになった。
- ・予定がなく時間に余裕ができたため映画に行くことが増えた。

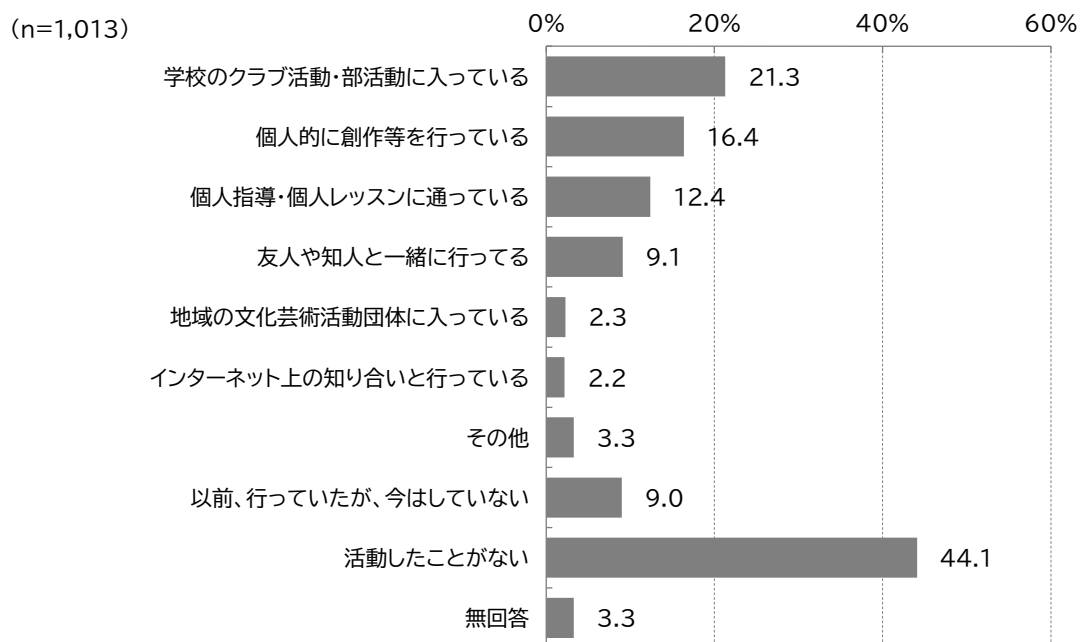
【問8 「やや少なくなった」「とても少なくなった」と回答した方の主な意見】

- ・イベントが少なくなり、行く機会も少なくなった。
- ・コロナ禍で人が多くいるところに行くと新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高くなるため、あまり出かけなくなった。

3 文化芸術の活動について

問9 あなたは、文化芸術に関する活動を行っていますか。また、何の活動をしていますか。(〇はいくつでも)

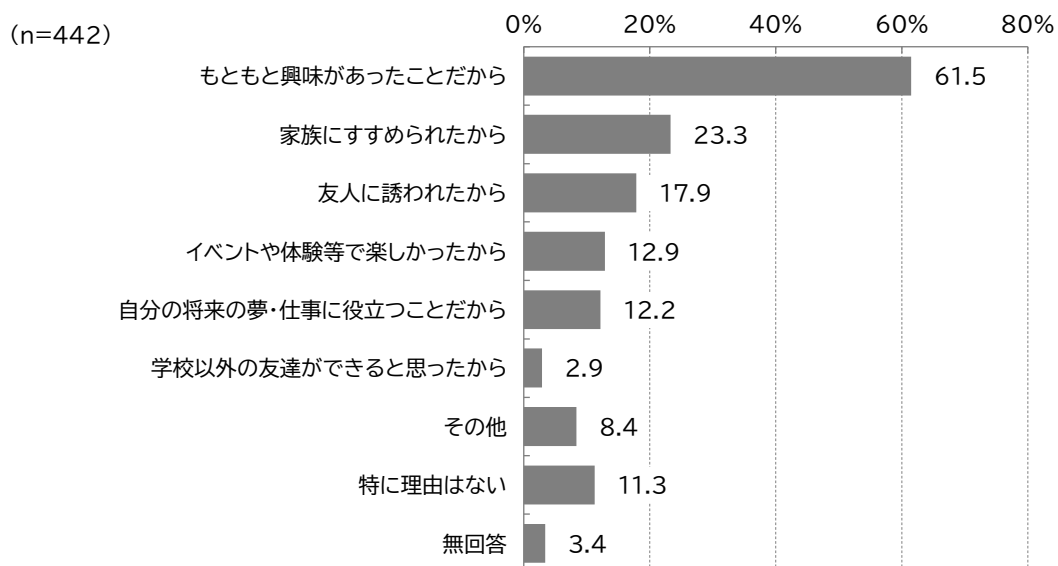
「活動したことがない」が44.1%であり、活動している中では「学校のクラブ活動・部活動に入っている」が21.3%と最も高く、次いで「個人的に創作等を行っている」が16.4%となっている。



問9-1は、問9で「1」～「7」（活動を行っている）を選んだ方のみ回答

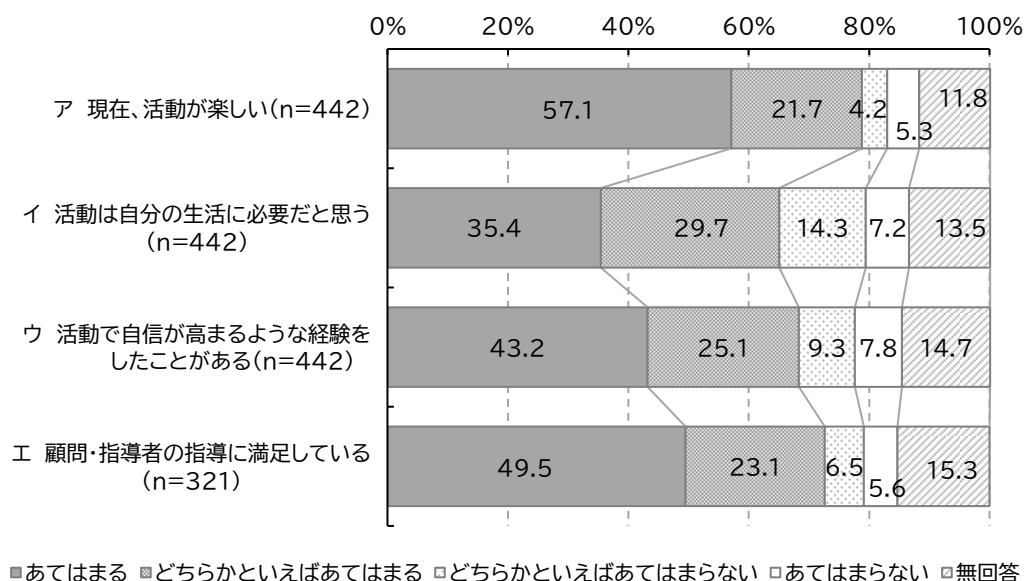
問9-1 それを始めるきっかけ、理由はなんですか。（〇はいくつでも）

「もともと興味があったことだから」が61.5%と最も多く、次いで「家族にすすめられたから」が23.3%、「友人に誘われたから」が17.9%となっている。



問9-2 学校の文化系部活動や地域の文化活動団体、文化芸術に関する習い事等を通じて、あてはまるものをお答えください。(○は1つ)

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた肯定層について、「ア 現在、活動が楽しい」が78.8%、「イ 活動は自分の生活に必要なと思う」が65.1%、「ウ 活動で自信が高まるような経験をしたことがある」が68.3%、「エ 顧問・指導者の指導に満足している」が72.6%となっている。

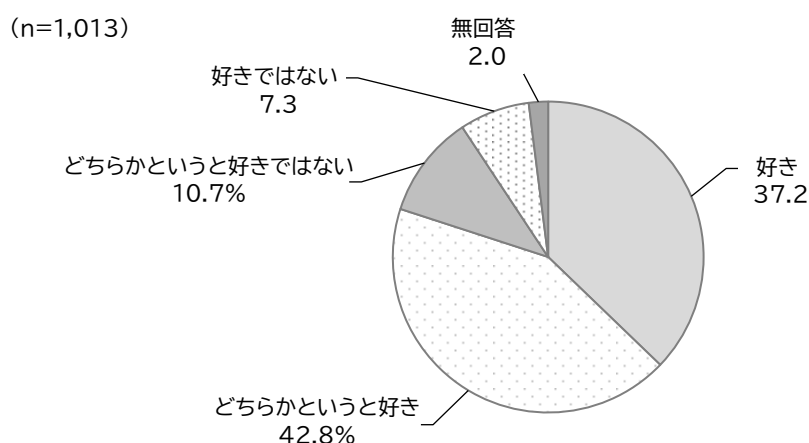


※「エ 顧問・指導者の指導に満足している」は、問9「文化芸術に関する活動」で「学校のクラブ活動・部活動」「地域の文化芸術活動団体」「個人指導・個人レッスン」を選んだ方のみ。

4 西東京市の文化芸術について

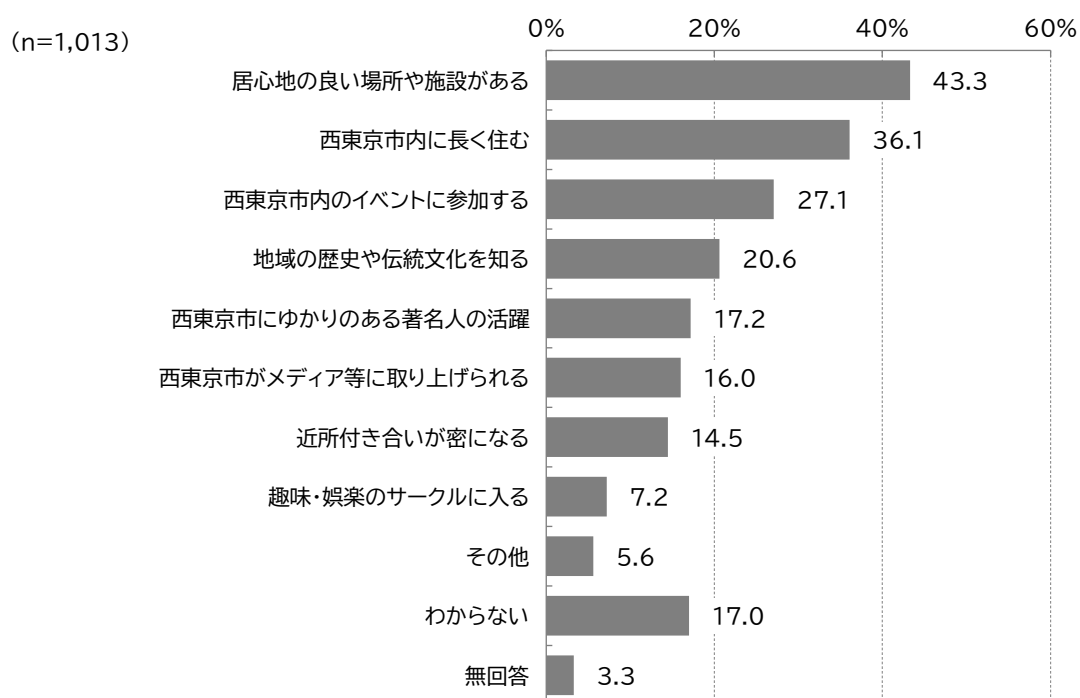
問 10 あなたは西東京市をどのように感じていますか。(○は1つ)

「好き」「どちらかというとき好き」を合わせた肯定層が80.0%、「どちらかというとき好きではない」「好きではない」を合わせた否定層が18.0%となっている。



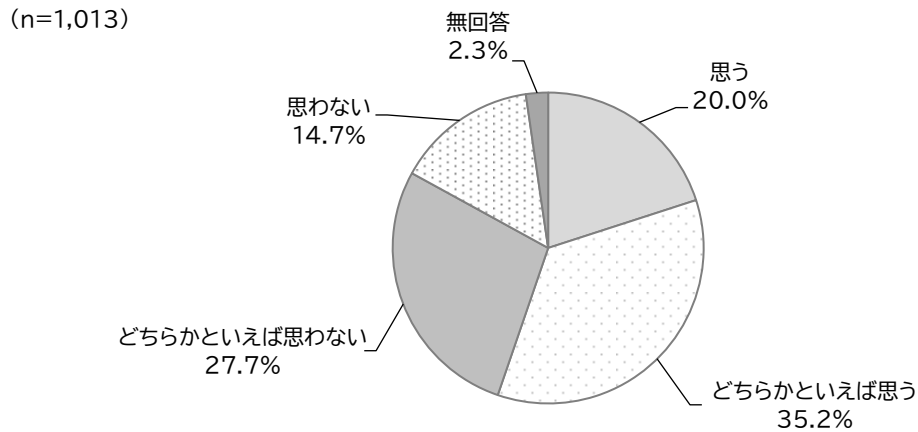
問 10-1 あなたが西東京市を好きになるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「居心地の良い場所や施設がある」が43.3%と最も多く、次いで「西東京市内に長く住む」が36.1%、「西東京市内のイベントに参加する」が27.1%となっている。



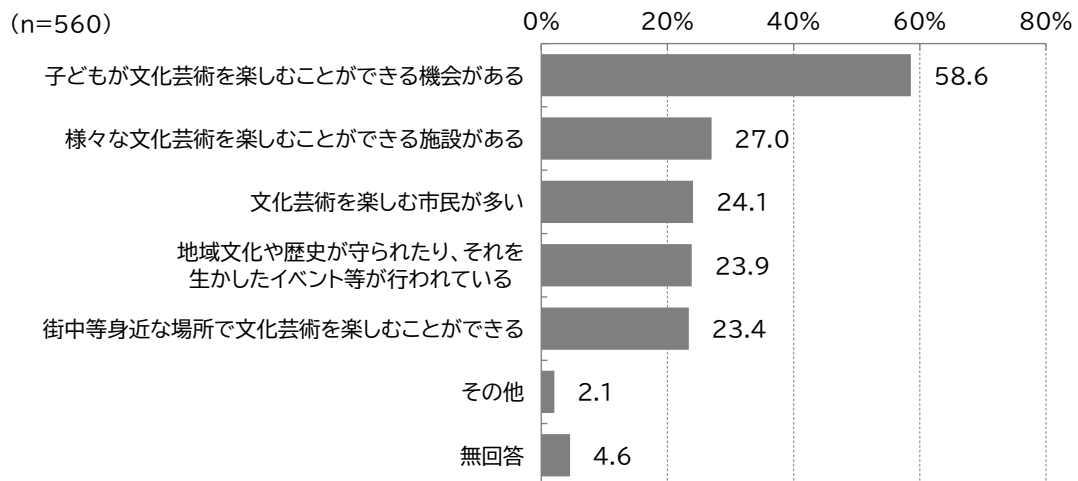
問 11 西東京市は文化芸術を楽しむことができるまちだと思いますか。(○は1つ)

「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた肯定層が 55.2%、「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせた否定層が 42.4%となっている。



問 11-1 は、問 11 で「1」「2」(文化芸術を楽しむことができるまちだと思う)を選んだ方のみ回答
問 11-1 あなたが問 11 でそのように思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

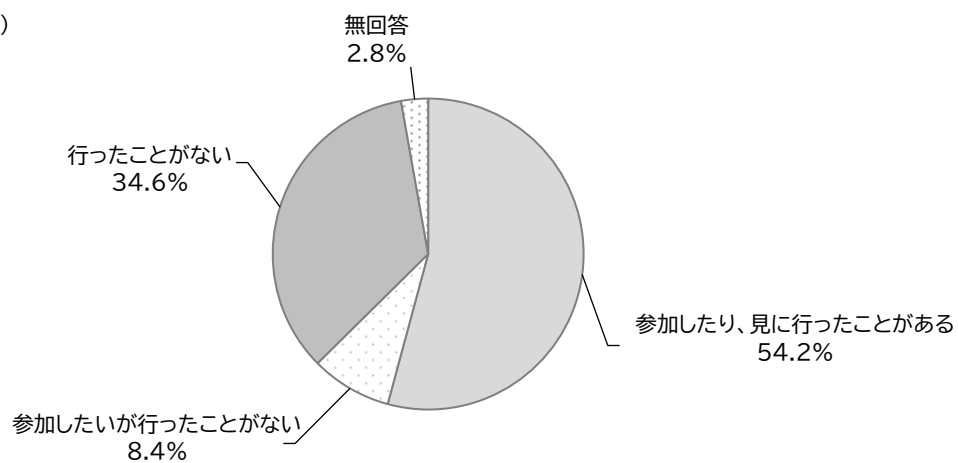
「子どもが文化芸術を楽しむことができる機会がある」が 58.6%と最も多く、次いで「様々な文化芸術を楽しむことができる施設がある」が 27.0%、「文化芸術を楽しむ市民が多い」が 24.1%となっている。



問 12 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等西東京市内で行われる文化的なイベントに行ったり、参加したことがありますか。(○は1つ)

「参加したり、見に行ったことがある」が54.2%、「参加したいが行ったことがない」が8.4%、「行ったことがない」が34.6%となっている。

(n=1,013)



問 13 西東京市で子ども達がより文化芸術を楽しめるように、どのような取組を
すると良いと思いますか。思いつくことがあれば自由に書いてください。

「鑑賞・体験、イベント・事業について」が 216 件、「子どもの文化芸術活動について」が 83
件、「文化施設について」が 47 件となっている。

	件数
鑑賞・体験、イベント・事業について	216
子どもの文化芸術活動について	83
文化施設について	47
情報発信について	27
市民との交流について	7
文化資源の活用について	6
新型コロナウイルス感染症拡大の影響について	3
人材確保や育成について	1
共生社会について	1
その他	26

【「鑑賞・体験、イベント・事業について」の主な意見】

- ・有名人に来てほしい。(小学生)
- ・いろいろ体験できることを増やしたほうが良いと思う。(中学生)
- ・変に昔からの伝統の歌舞伎とかにこだわらずに、時代の波に乗るのも大事だと思う。(高校生)

【「子どもの文化芸術活動について」の主な意見】

- ・学校で文化芸術を少し学べたり体験できたら良い。(小学生)
- ・子ども CG コンテストといったイベントを開催する。イラストコンテストとか楽器でも同じようなものがあると良い。(中学生)
- ・子ども達の意見を聞き入れ、希望にそった活動方針が、今後の学びや興味へとつながると思う。(高校生)

【「文化施設について」の主な意見】

- ・自由に楽器が弾ける施設があったら良いと思う。(小学生)
- ・文化芸術を楽しめる施設をつくる。(中学生)
- ・文化に触れられる場を増やす。(高校生)

【「情報発信について」の主な意見】

- ・インターネットに上げる。(小学生)
- ・カラフルな紙をみんなに配ったりする。動画を流したりする。(小学生)
- ・自由に入れて文化芸術の創作や鑑賞ができる専用のサイトを作る。(中学生)

【「市民との交流について」の主な意見】

- ・祭り等を増やし、市民同士の交流を増やす。(中学生)
- ・地域の交流を増やした方が良いと思う。(高校生)

【「文化資源の活用について」の主な意見】

- ・伝統的なお祭り。(小学生)
- ・歴史博物館を期間限定で良いから、開いてみる。(中学生)

【「新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」の主な意見】

- ・行き慣れている学校等で展覧会や展示会をやったら良いと思う。(小学生)
- ・その活動が中止になるため密にならないほうが良いと思う。(小学生)

【「人材確保や育成について」の主な意見】

- ・担い手を募集して文化を風化させないことが大切。(中学生)

【「共生社会について」の主な意見】

- ・障害者でも楽しめるようなイベントがあったら嬉しい。(小学生)

3 調査結果

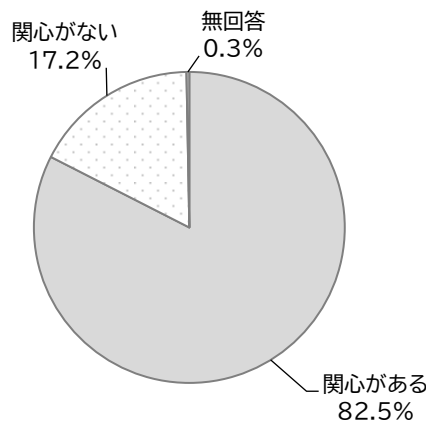
(1) 市民を対象としたアンケート調査

① 回答者自身について

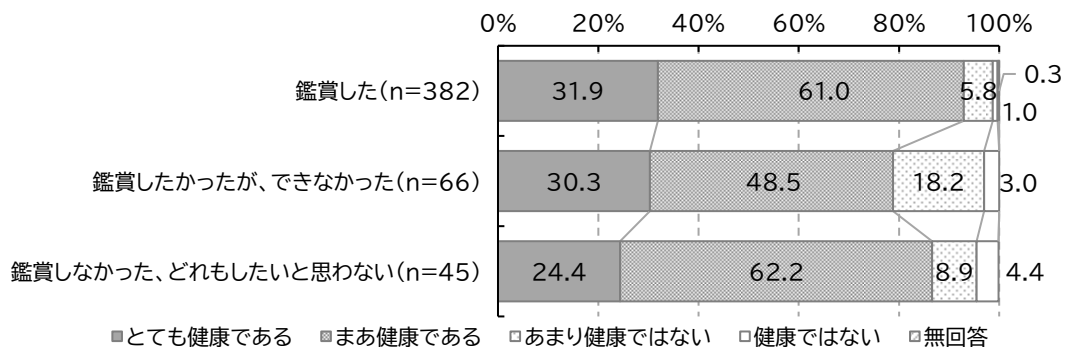
- 文化芸術の鑑賞・体験や活動に関心を持つ人は約8割である。
- 文化芸術を直接鑑賞している人と健康状態は比例している。

- 文化芸術に関心のある人は82.5%（前回80.3%）となっている。（問7）

(n=583)



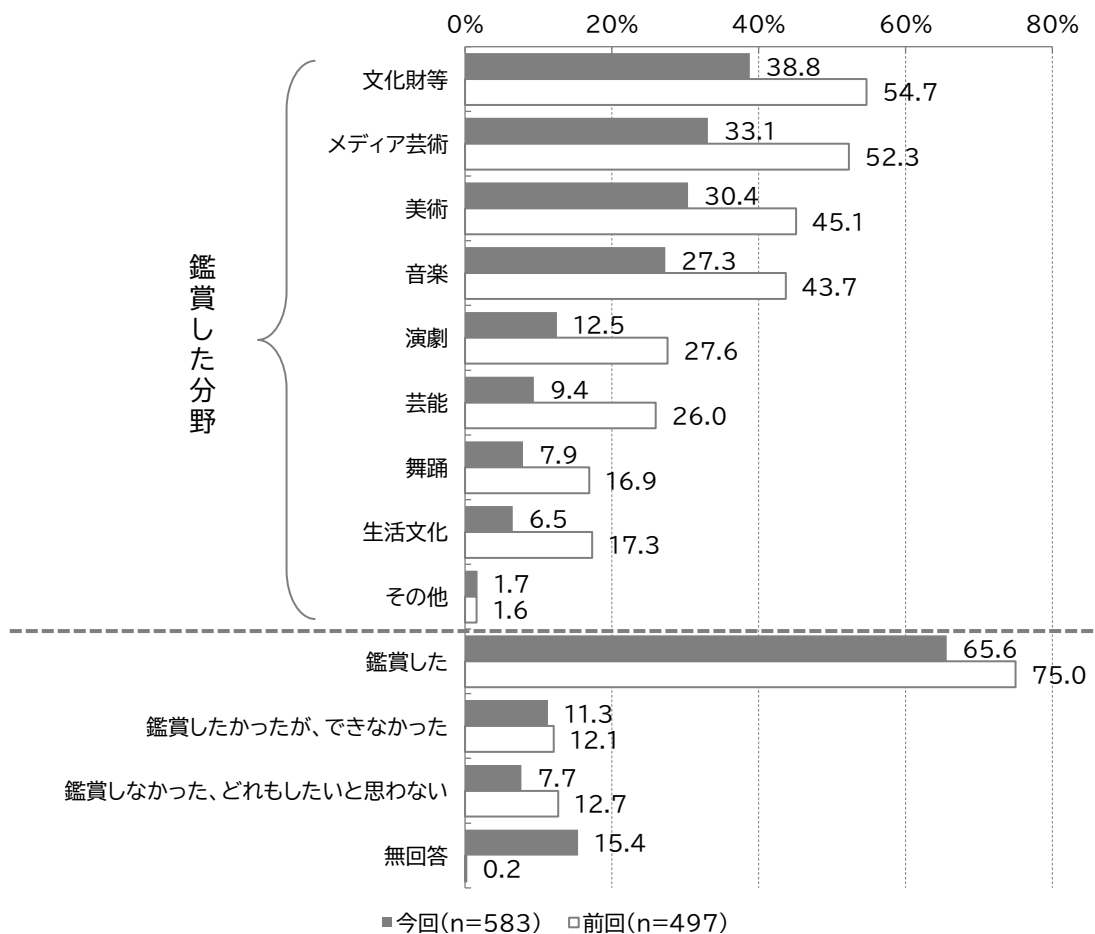
- 文化芸術を直接鑑賞したかどうかで健康状態を比較したところ、鑑賞した人の方が“健康である”（「とても健康である」「まあ健康である」の合計）の割合が92.9%（鑑賞したかったが、できなかったが78.8%、鑑賞しなかった、どれもしたいと思わないが86.6%）と多くなっている。（問6）

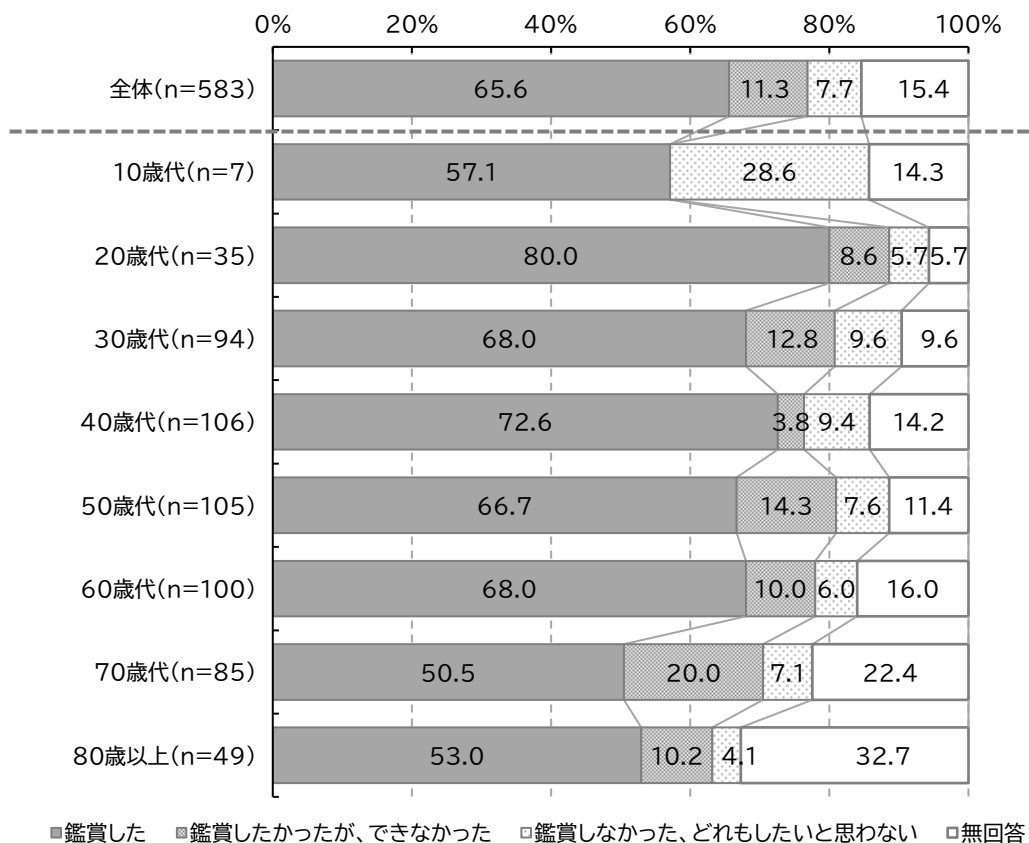


② 文化芸術の鑑賞・体験について

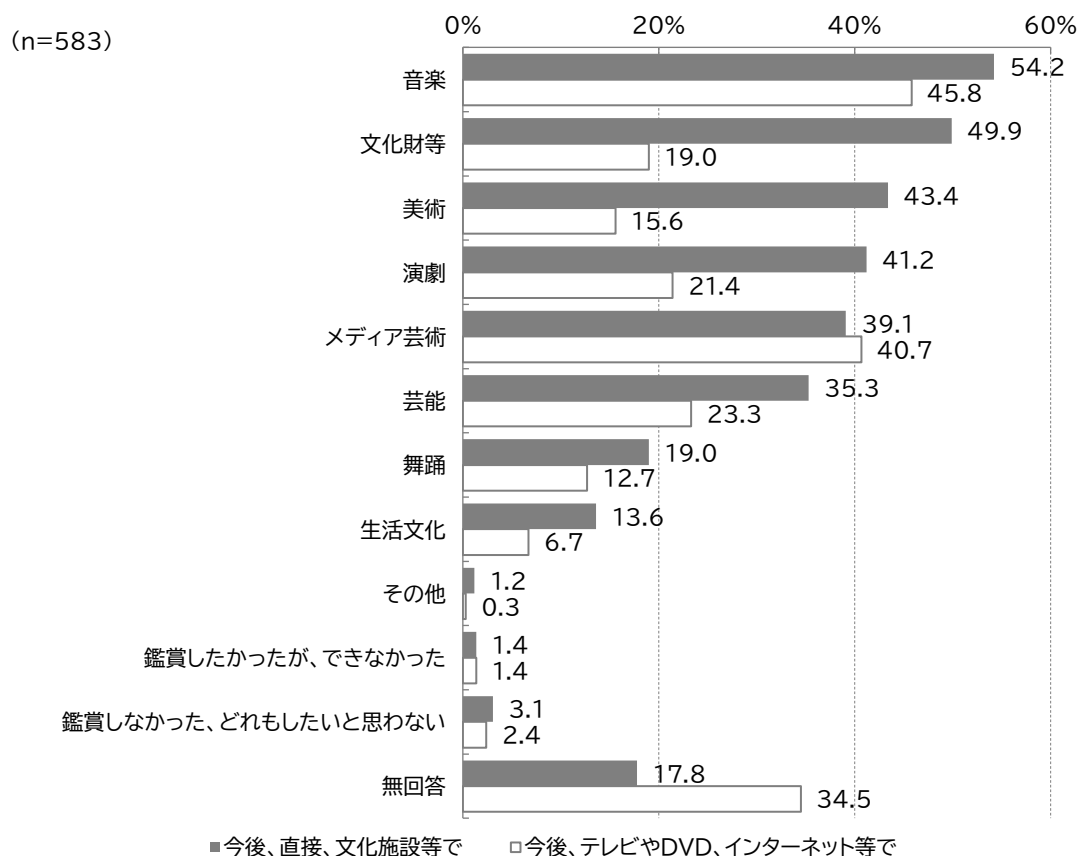
- 過去1年間で直接、文化施設等で鑑賞した人は約7割である。
- 今後、音楽や文化財等、美術を、直接、鑑賞・体験したいというニーズは根強い。
- 市内で行われる文化的イベントへの参加率は約5割である。
- 市内で行われる文化的イベントに参加しなかった理由は「知らなかった」が約4割である。
- 文化的な鑑賞・体験を促す情報発信手段としては、紙媒体が主流だが、年代によりデジタル媒体を重視する意見がある。

- 過去1年間で直接、文化施設等で鑑賞した人は65.6%（前回75.0%）となっており、鑑賞した人の割合よりも各分野の鑑賞率が低下していることから、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1人あたりの鑑賞機会が少なくなっていることがうかがえる。年代別にみると、70歳代で「鑑賞したかったが、できなかった」が20.0%と最も多くなっている。（問8（1）-1）



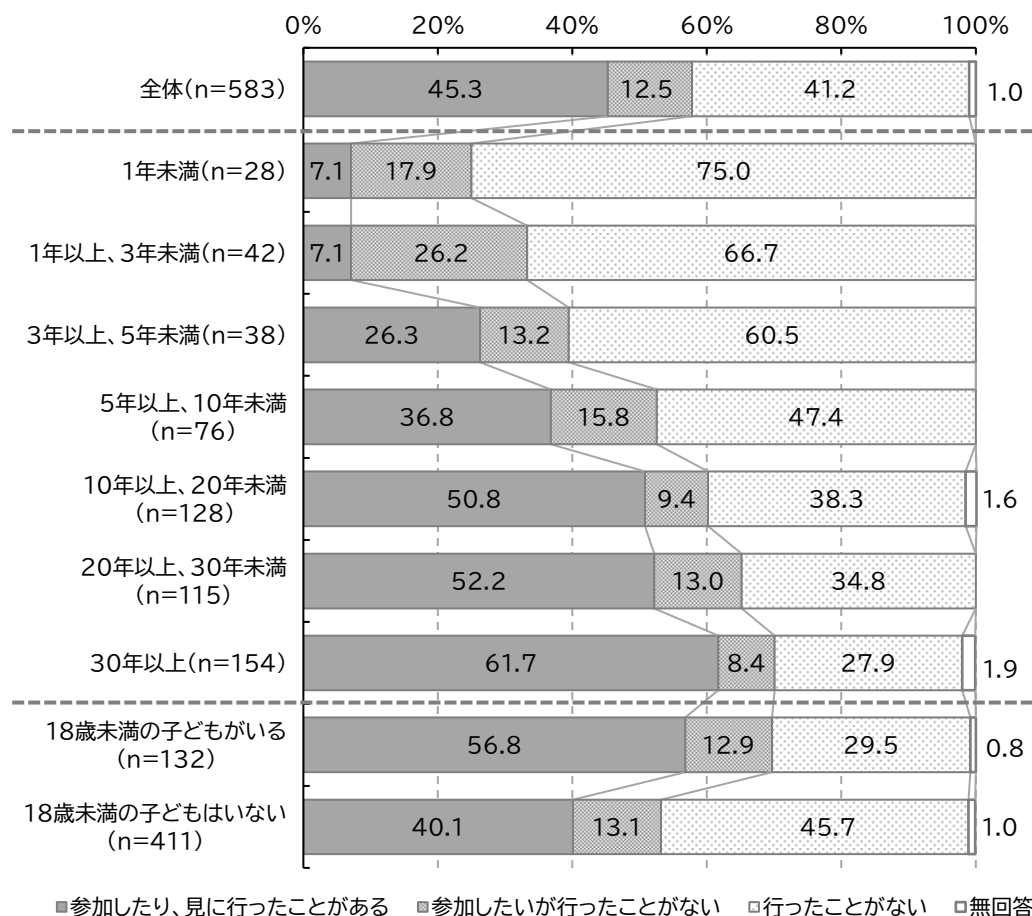


- 今後、鑑賞・体験したい分野は、“直接、文化施設等で”では、「音楽」(54.2%)が最も多く、「文化財等」(49.9%)、「美術」(43.4%)が続く。また、“テレビやDVD、インターネット等”では、「音楽」(45.8%)が最も多く、「メディア芸術」(40.7%)、「芸能」(23.3%)が続く。鑑賞・体験手法別に比較してみると、「メディア芸術」以外の分野では“直接、文化施設等で”が多く、特に「文化財等」「美術」では30ポイント程度の差があり、直接、鑑賞・体験するニーズは根強いことがうかがえる。(問8(2)-1、問8(2)-2)

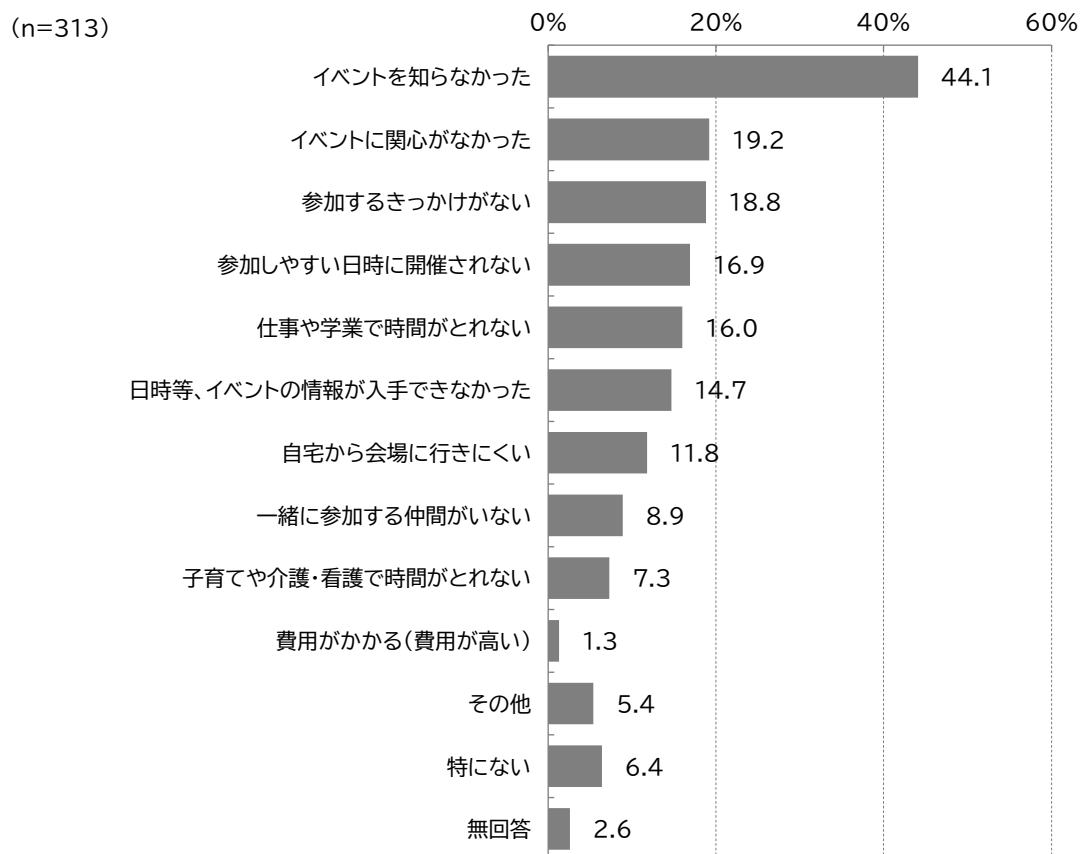


※ “直接、文化施設等で” の降順で並び替え。

- 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等のイベントに行ったり、参加したことがある人は45.3%（前回55.1%）となっており、市内イベントへの参加についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がでていることがうかがえる。居住年数別でみると、居住年数が長い人ほど参加率が多くなっている。また、18歳未満の子どもの有無別でみると、「いる」が56.8%、「いない」40.1%となっており、18歳未満の子どものいる方が、市内のイベントへの参加が多いことがうかがえる。（問9）



- 市内で行われる文化的イベントに参加しなかった理由は、「知らなかった」が 44.1%（前回 30.6%）、「関心がなかった」が 19.2%（前回 27.9%）、「きっかけがない」が 18.8%（前回 21.5%）となっている。年代別でみると、“20 歳代”、“30 歳代”では「知らなかった」が 64% となっている。（問 9-2）

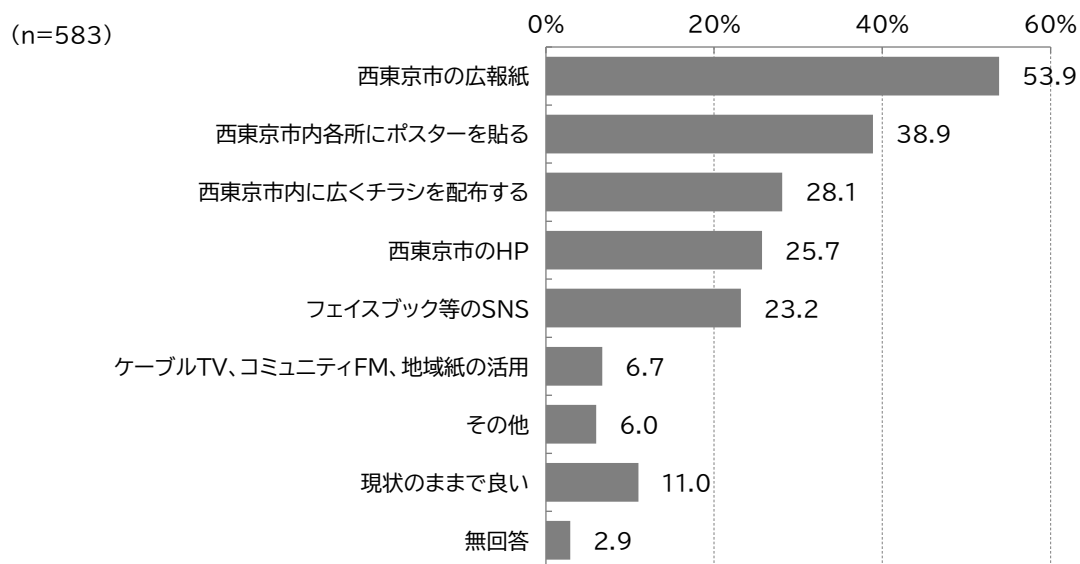


(単位：%)

	n	イベントを知らなかった	イベントに関心がなかった	参加するきっかけがない	参加しやすい日時に開催されない	仕事や学業で時間がとれない
10歳代	4	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
20歳代	25	64.0	4.0	28.0	12.0	20.0
30歳代	62	64.5	21.0	14.5	16.1	16.1
40歳代	50	46.0	14.0	12.0	20.0	20.0
50歳代	55	40.0	25.5	21.8	16.4	16.4
60歳代	60	40.0	18.3	13.3	21.7	18.3
70歳代	40	27.5	20.0	25.0	15.0	5.0
80歳以上	16	0.0	25.0	37.5	12.5	6.3

※表は、上位 5 項目。

- 今以上に市内で文化的な鑑賞・体験するようになるために市が行うべき情報発信については、「広報紙」が53.9%、「市内各所にポスター」が38.9%となっている。一方、年代別でみると、“20歳代”では「フェイスブック等のSNS」が54.3%、“30歳代”では41.5%となっている。
(問10)



(単位：%)

	n	西東京市の広 報紙	西東京市内各 所にポスター を貼る	西東京市内に 広くチラシを 配布する	西東京市のHP	フェイスブッ ク等のSNS
10歳代	7	28.6	42.9	28.6	28.6	57.1
20歳代	35	28.6	31.4	17.1	22.9	54.3
30歳代	94	52.1	46.8	28.7	26.6	41.5
40歳代	106	46.2	46.2	29.2	28.3	28.3
50歳代	105	49.5	39.0	27.6	35.2	23.8
60歳代	100	58.0	30.0	31.0	26.0	14.0
70歳代	85	68.2	35.3	24.7	18.8	1.2
80歳以上	49	73.5	36.7	34.7	12.2	4.1

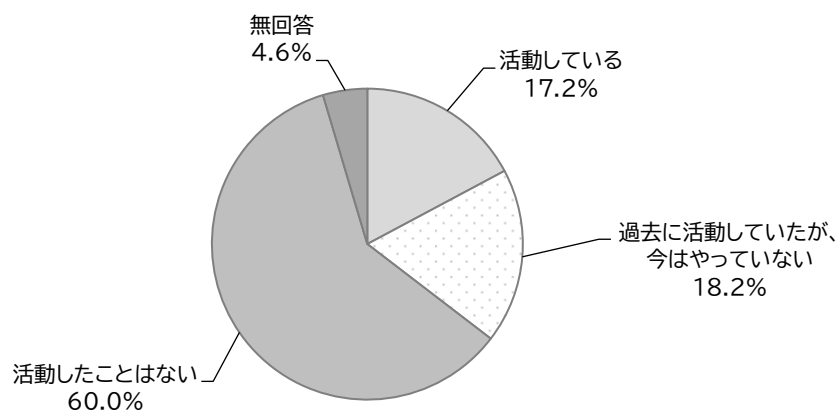
※表は、上位5項目。

③ 文化的な活動について

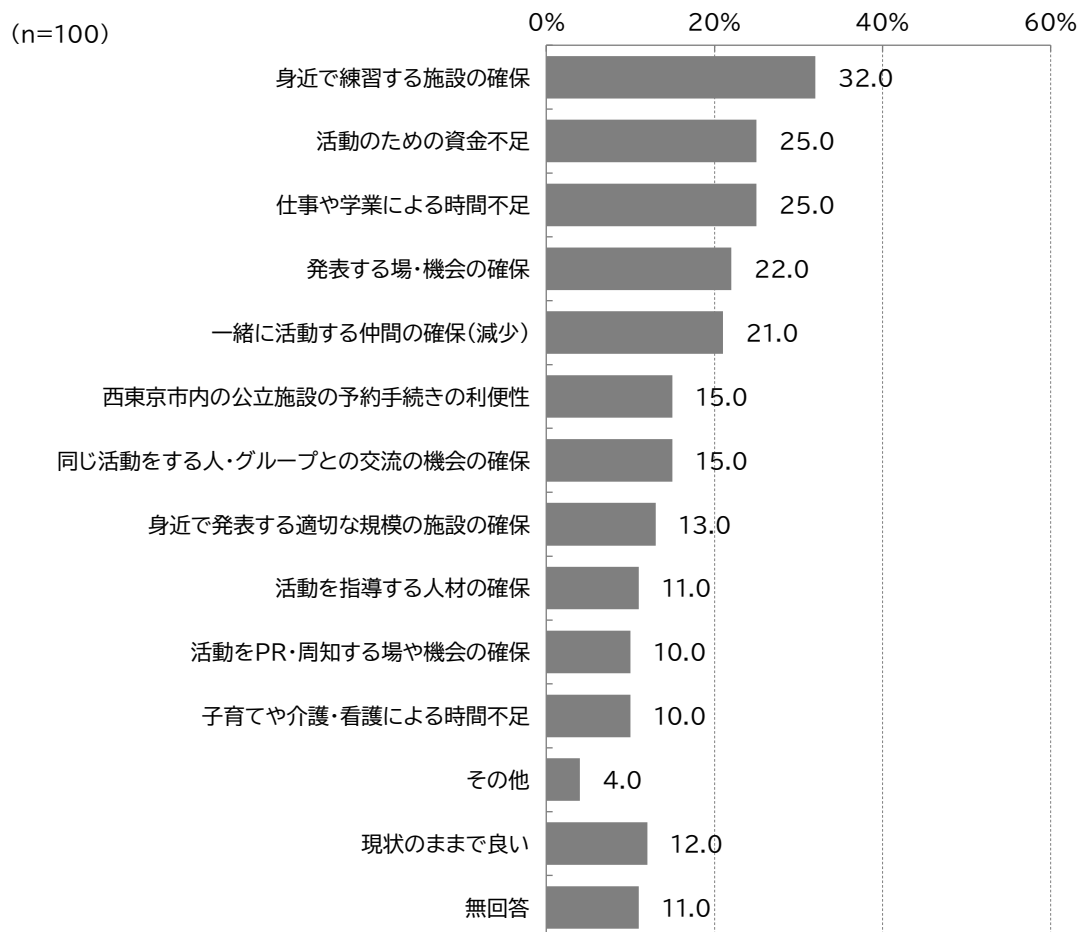
- 継続的な文化的活動をしている人は約2割である。
- より充実した文化活動への課題は、施設や場、資金、仲間である。

- 継続的な文化的活動をしている人は17.2%（前回17.5%）である。「過去に活動していたが、今はやっていない」が18.2%と同程度となっており、今後活動する可能性がある層も一定程度認められる。（問12）

(n=583)



- より充実した文化活動を実施するための課題については、「練習する施設の確保」(32.0%)、「資金不足」「時間不足」(25.0%)、「場・機会の確保」(22.0%)、「仲間の確保」(21.0%)が上位を占める。(問 12-2)



④ 回答者の子どもの文化芸術体験について

● 子どもの文化芸術体験は、映画・アニメ鑑賞、習い事が主である。

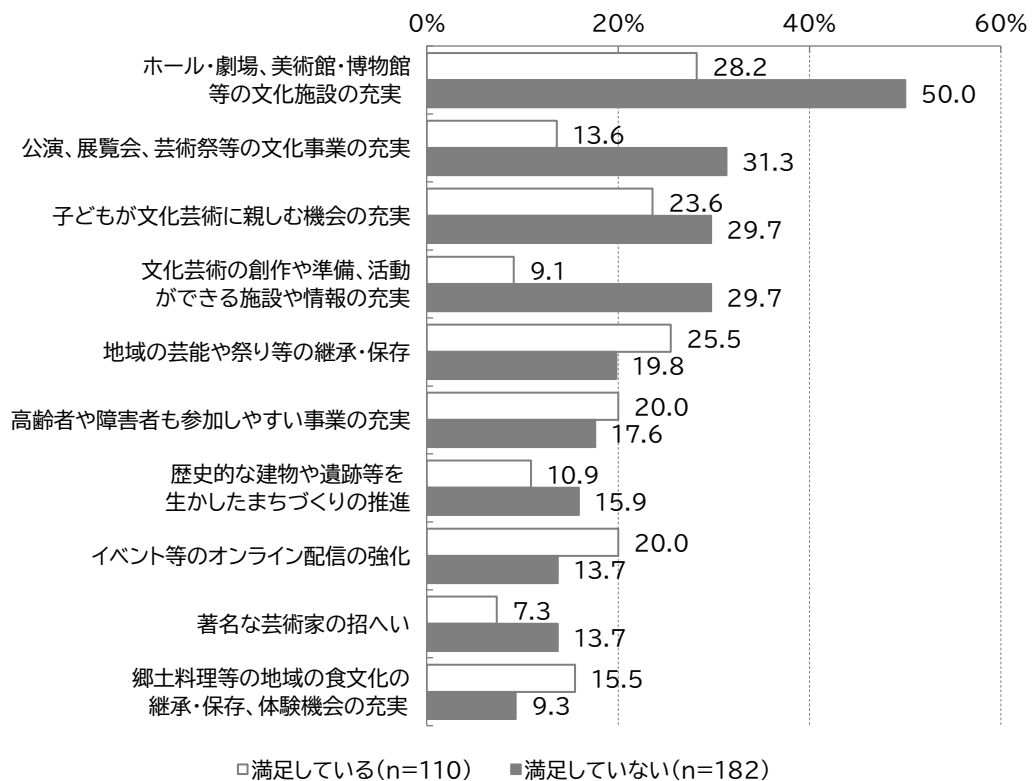
- 学校以外での過去1年間の文化的な活動は、「映画・アニメ鑑賞」(37.9%)、「音楽の習い事」「舞踊、ダンス、演劇等の習い事」(18.9%)であり、「していない」は21.2%(前回20.0%)である。(問15-1)



⑤ 西東京市の文化的な環境について

- 市の文化的な環境を今より充実するために、施設や事業の充実とともに、文化芸術に親しむ機会や情報の充実が重要視される。

- 市の文化的な環境を今より充実させるために重要なことについて、市の文化的な環境に満足している・いない別でみると、“満足していない”層では、「文化施設の充実」(50.0%)、「文化事業の充実」(31.3%)、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」「活動ができる施設や情報の充実」(29.7%)が上位に挙げられている。(問17)

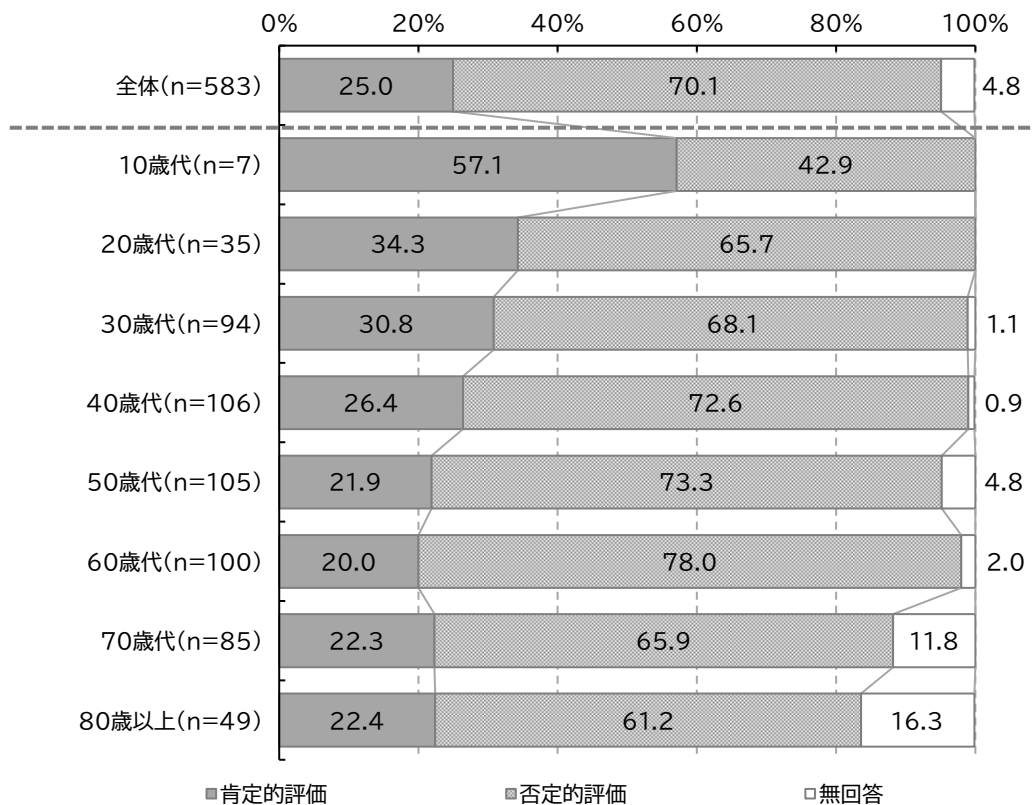


※表は、上位10項目。“満足していない”の降順で並び替え。

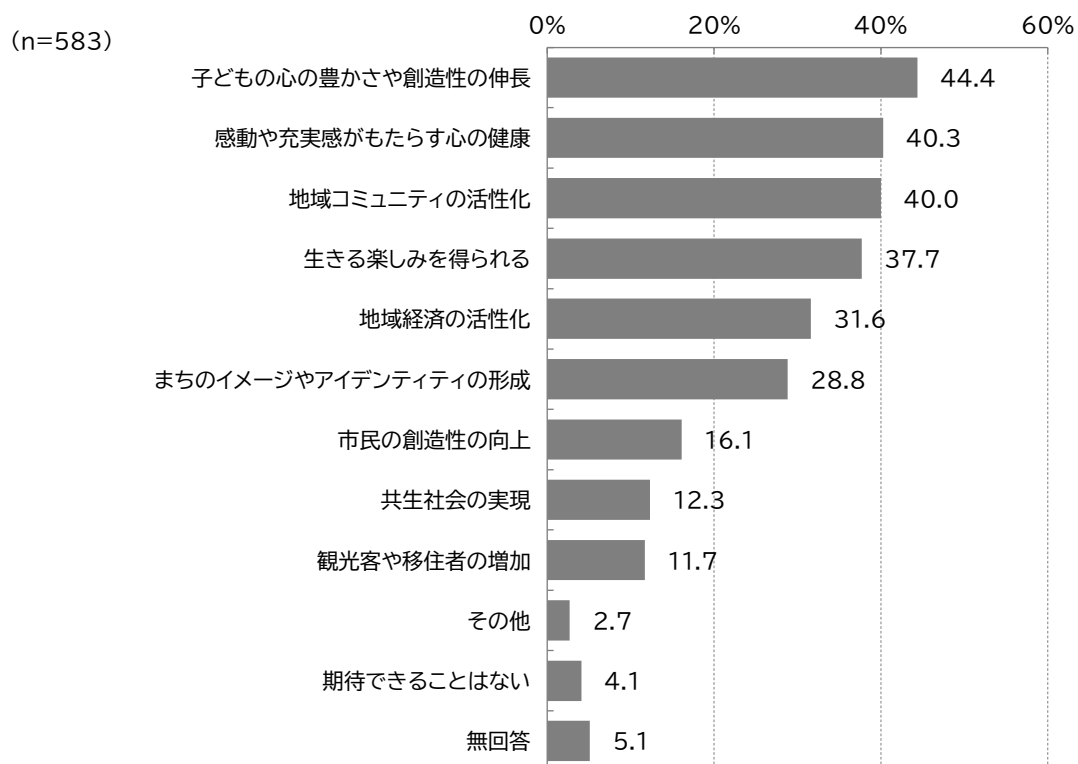
⑥ 西東京市のまちのイメージについて

- 西東京市が文化芸術に親しみやすいまちというイメージは、十分に浸透していない状況である。
- 文化芸術振興による効果として、心の豊かさや創造性の伸長、コミュニティの活性化、生きる楽しみの習得が挙げられている。
- 文化芸術に親しむことが市への愛着向上に有効と感じる層が約8割である。

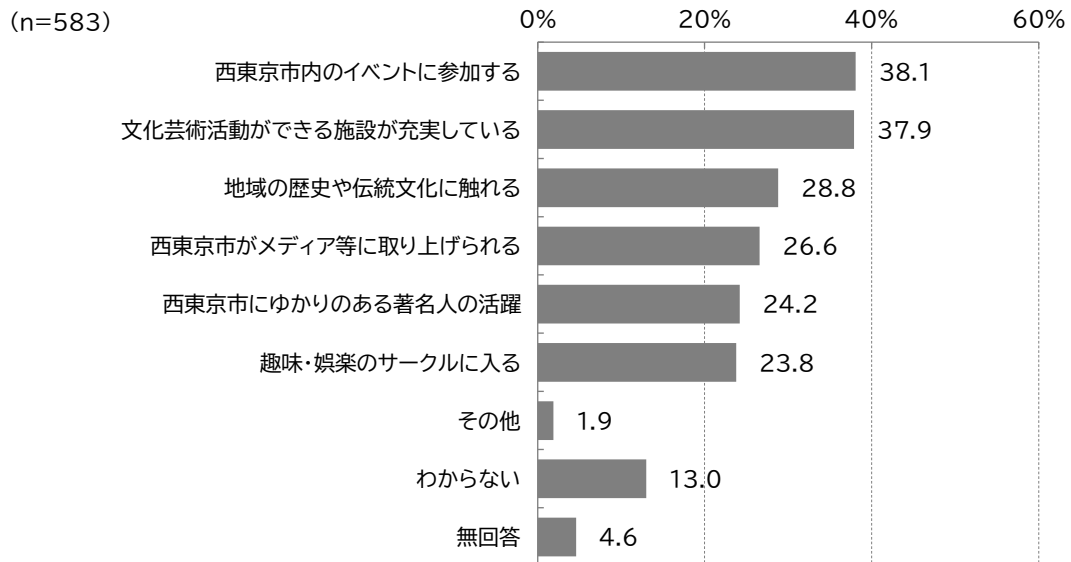
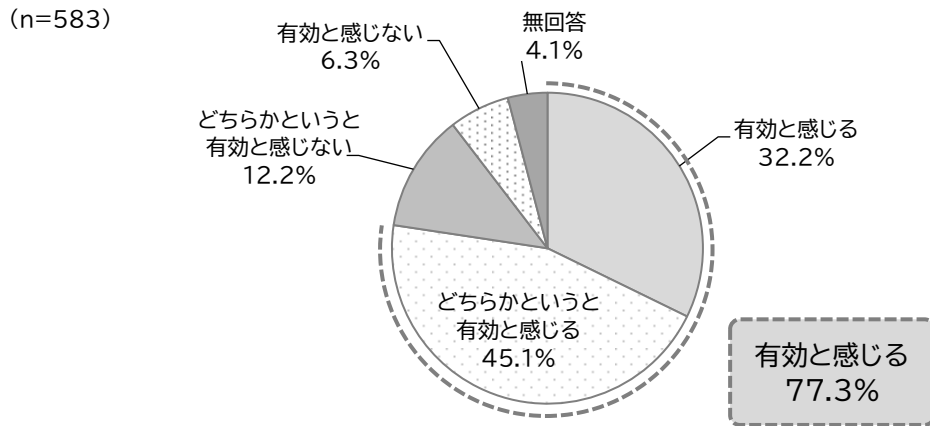
- 西東京市が文化芸術に親しみやすいまちかどうかについては、肯定的評価が 25.0%、否定的評価が 70.1%となっている。年代別でみると、“20 歳代” “30 歳代” では肯定的評価が 30.0% を超えており、若い世代の方が高い傾向にある。(問 19)



- 文化芸術振興による地域や市民への効果については、「子どもの心の豊かさや創造性の伸長」が44.4%（前回32.8%）、「感動や充実感がもたらす心の健康」が40.3%（前回37.0%）、「地域コミュニティの活性化」が40.0%（前回37.2%）、「生きる楽しみを得られる」が37.7%（前回31.2%）と上位に挙げられ前回よりも多くなっている。一方、「共生社会の実現」（12.3%）は、前回（22.7%）を下回っている。（問20）



- 文化芸術に親しむことが市への愛着を高めることに有効と感じる層が77.3%を占める。(問 21)
また、文化芸術活動を通して市への愛着を高めるために必要なことについて、「市内のイベントに参加」(38.1%)、「文化芸術活動ができる施設が充実」(37.9%)、「地域の歴史や伝統文化に触れる」(28.8%)が上位に挙げられている。(問 21-1)



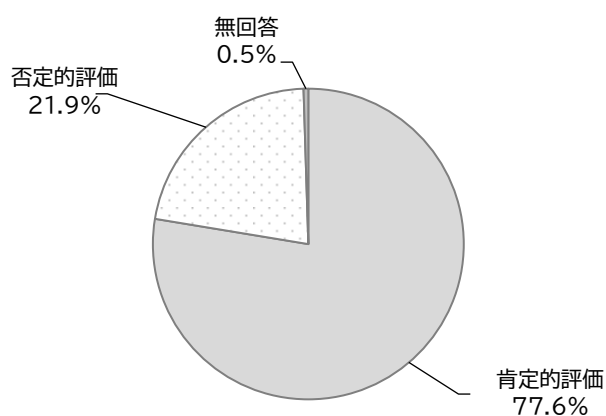
(2) 子どもを対象としたアンケート調査

① 回答者自身と文化芸術に対する考えについて

- 文化芸術の鑑賞・体験が好きな層が約8割を占める。
- 大人になってからも文化芸術を楽しみたいと思う層が約7割を占める。
- 人々にとって文化芸術は大切なものだと思う層が9割を超えている。
- 文化芸術の直接鑑賞経験や鑑賞意向のある層の方が、達成感を得た経験、チャレンジ志向、自己肯定感が高くなっている。

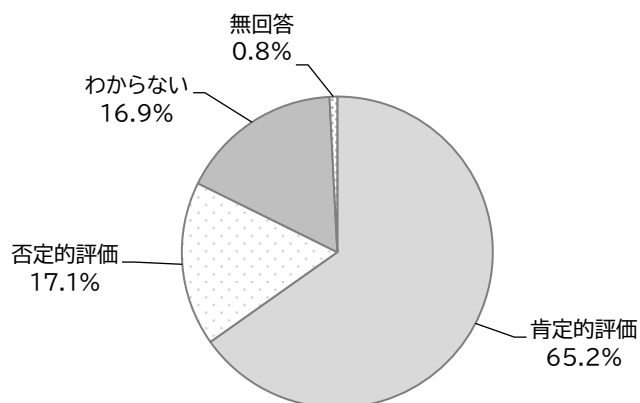
- 文化芸術を観たり、聴いたり、創作することは好きかについては、肯定層が77.6%、否定層が21.9%となっている。(問2)

(n=1,013)



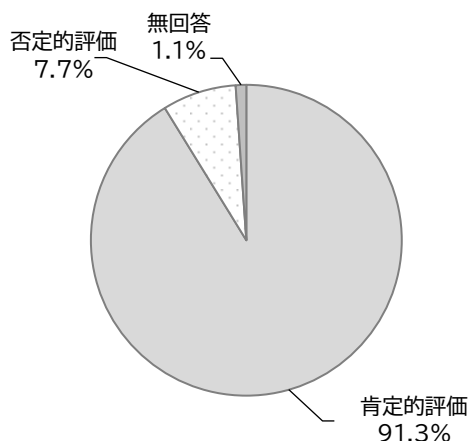
- 大人になってからも文化芸術を楽しみたいと思うかについては、肯定層が65.2%、否定層が17.1%、わからない層が16.9%となっている。(問3)

(n=1,013)

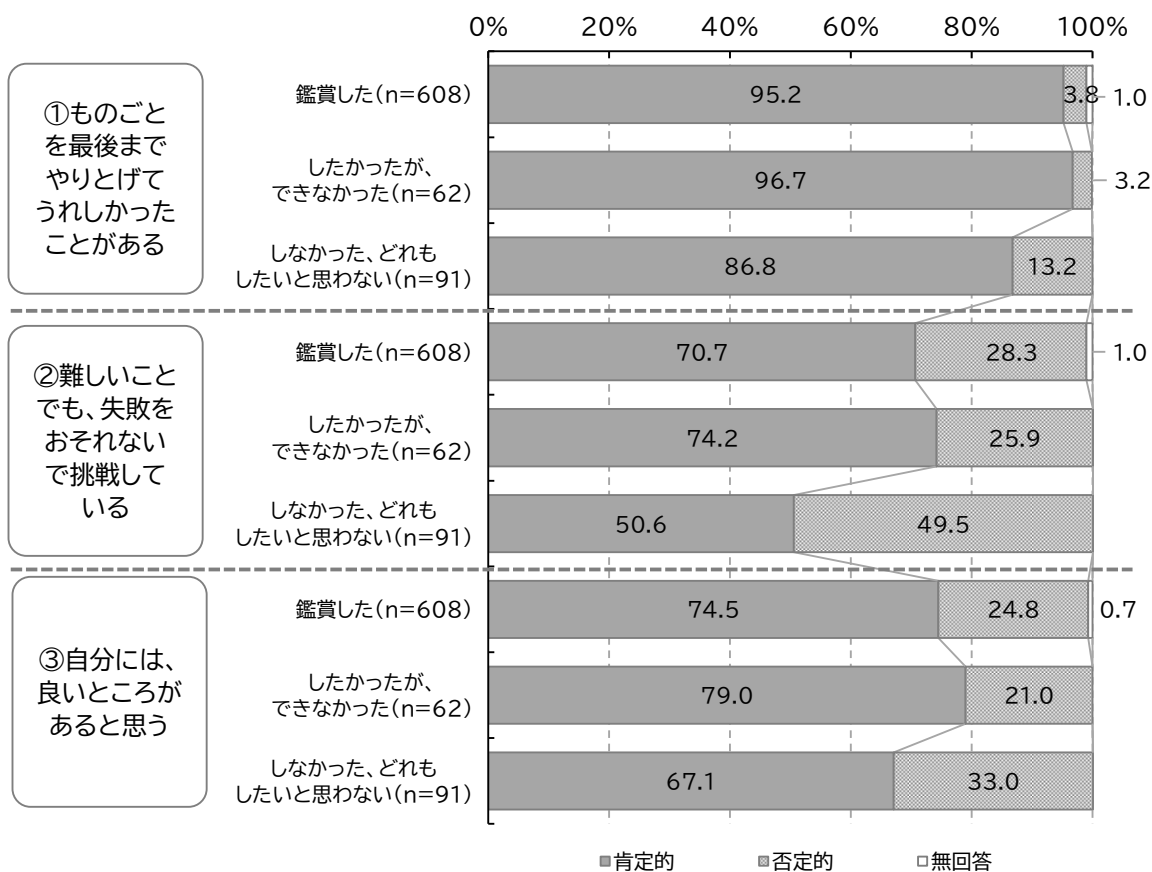


- 人々にとって文化芸術は大切なものだと思うかについては、肯定層が91.3%、否定層が7.7%となっている。(問4)

(n=1,013)



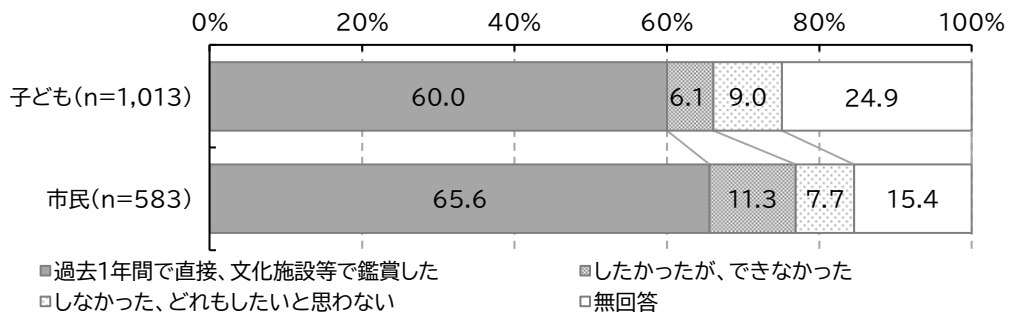
- 「①ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」「②難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」「③自分には、良いところがあると思う」について、文化芸術を直接鑑賞経験しているか否かで比較したところ、「(直接、文化施設等で)鑑賞した」(①95.2%、②70.7%、③74.5%)と「したかったが、できなかった」(①96.7%、②74.2%、③79.0%)の層の方が、「しなかった、どれもしたいと思わない」(①86.8%、②50.6%、③67.1%)層よりも、全ての項目について肯定的な回答割合が高くなっている。(問6)



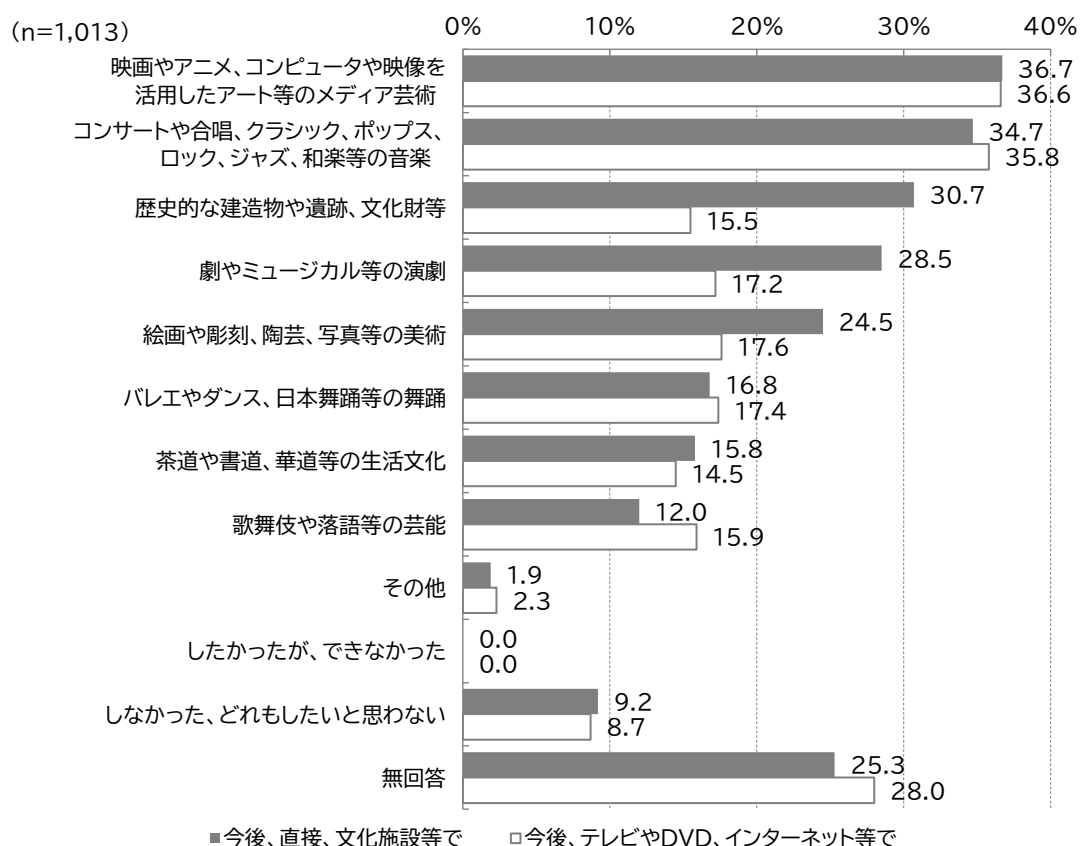
② 文化芸術の鑑賞・体験について

- 過去1年間で直接、文化施設等で鑑賞した人は6割である。
- 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は「メディア芸術」である。
- 分野により鑑賞・体験手法に差異があり、特に「文化財等」「演劇」「美術」では「直接、文化施設等で」の割合が高くなっている。
- 直接鑑賞している人の約7割が「親・祖父母」と鑑賞している。

- 過去1年間で直接、文化施設等で鑑賞した子どもは60.0%となっており、市民を対象としたアンケート調査での鑑賞した人(65.6%)と比較すると、5.6ポイント低くなっている。(問7(1)-1)

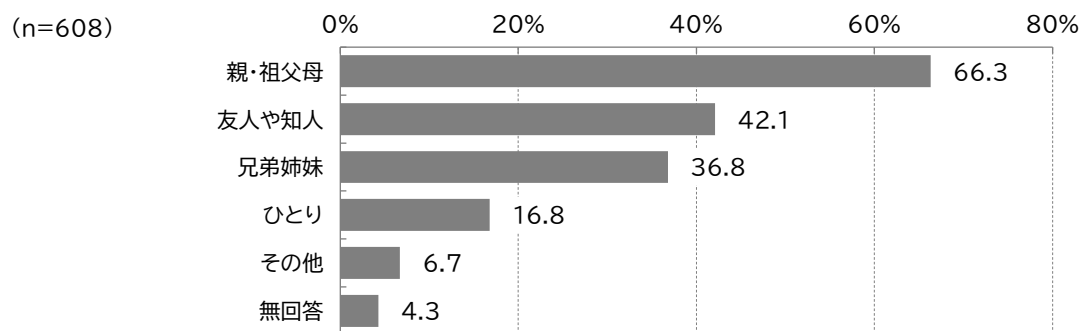


- 今後、鑑賞・体験したいと思う分野は、“直接、文化施設等で”“テレビやDVD、インターネット等”ともに、「メディア芸術」(36.7%、36.6%)が最も多くなっており、市民を対象としたアンケート調査(「音楽」が最多)とは異なる結果となっている。
- また、鑑賞・体験手法別で比較してみると、「メディア芸術」「音楽」では“直接、文化施設等で”(36.7%、34.7%)と“テレビやDVD、インターネット等”(36.6%、35.8%)による差が殆どない一方、「文化財等」「演劇」「美術」では“直接、文化施設等で”(30.7%、28.5%、24.5%)の方が“テレビやDVD、インターネット等”(15.5%、17.2%、17.6%)よりも意向率が高くなっている。(問7(2)-1、問7(2)-2)

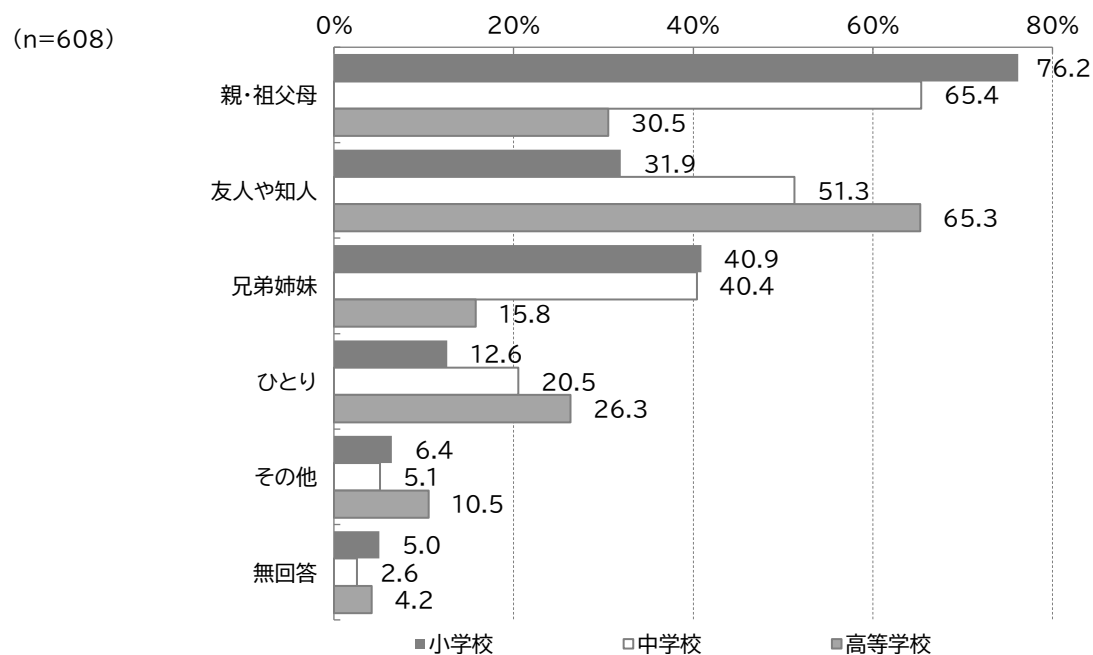


※ “直接、文化施設等で”の降順で並び替え。

- 過去1年間において「直接、文化施設等で」文化芸術の鑑賞・体験がある人を対象に、誰と観たり、聴いたりしたかについて「親・祖父母」が66.3%と最も多く、次いで「友人や知人」が42.1%、「兄弟姉妹」が36.8%となっている。



- また、学校区分別でみると、「親・祖父母」について「小学校」が76.2%、「中学校」が65.4%、「高校」が30.5%と年齢が高くなるにつれて低くなっている。(問7-2)

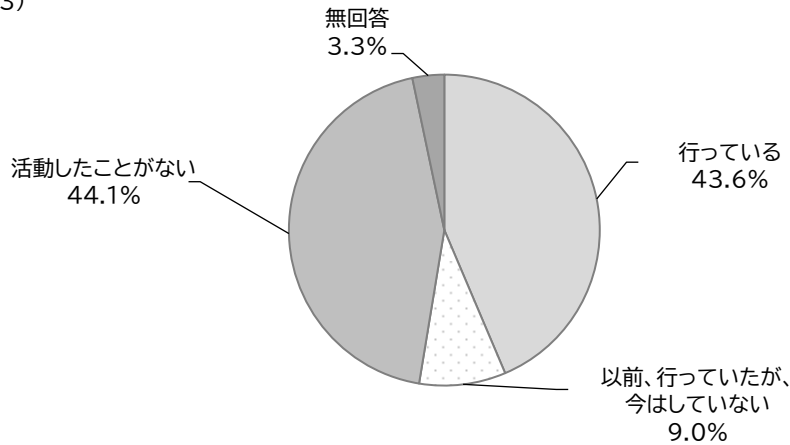


③ 文化芸術の活動について

- 文化芸術に関する活動を「行っている」は約4割である。
- 文化芸術に関する活動を始めるきっかけ、理由は「興味があった」とともに「家族にすすめられた」「友人にさそわれた」が上位に挙げられている。

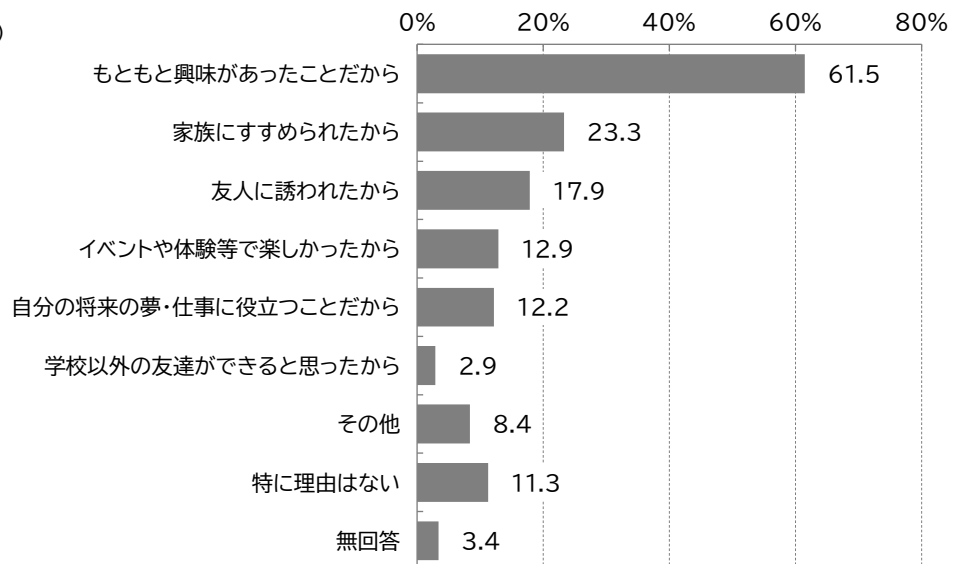
- 文化芸術に関する活動を行っているかについては、「行っている」が43.6%、「以前、行っていたが、今はしていない」が9.0%、「活動したことがない」が44.1%となっている。(問9)

(n=1,013)



- 文化芸術に関する活動を始めるきっかけ、理由については、「もともと興味があったことだから」が61.5%と最も多く、次いで「家族にすすめられたから」が23.3%、「友人に誘われたから」が17.9%となっている。(問9-1)

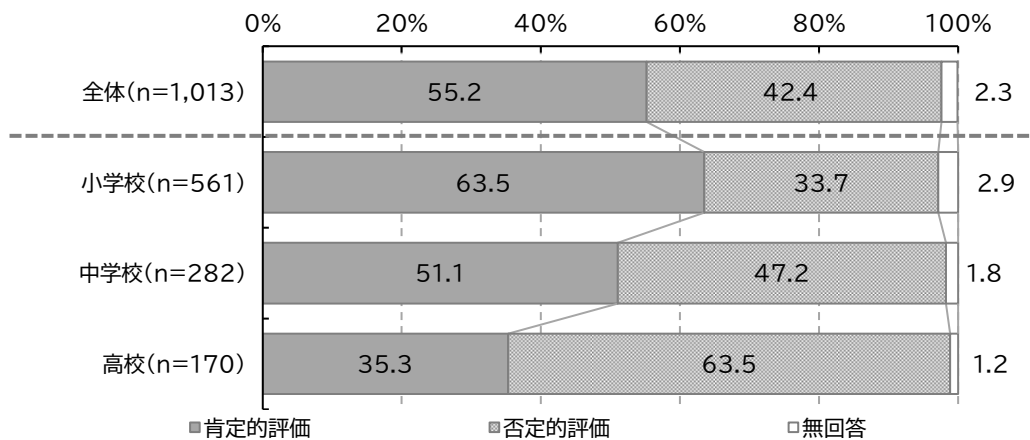
(n=442)



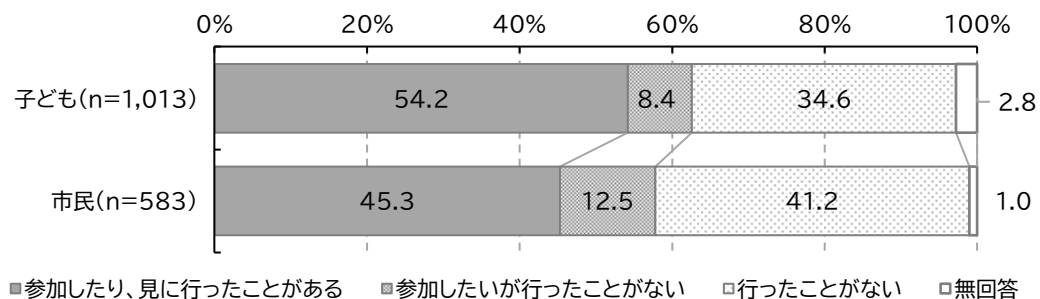
④ 西東京市の文化芸術について

- 西東京市は文化芸術を楽しむことができるまちだと思える層が約6割を占める。
- 市内で行われる文化的イベントへの参加率は約5割である。

- 西東京市は文化芸術を楽しむことができるまちだと思えるかについては、肯定層が 55.2%、否定層が 42.4%となっており、肯定層の割合は市民を対象としたアンケート調査での割合（25.0%）と比較すると、30.2ポイント高くなっている。
- 学校区分別でみると、「小学校」では肯定層が63.5%の一方、「中学校」では51.1%、「高校」では35.3%となっており、年齢が高くなるにつれて肯定層が低くなっている。（問11）



- 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等のイベントに行ったり、参加したことがある子どもは 54.2%となっており、市民を対象としたアンケート調査での参加率（45.3%）と比較すると、8.9ポイント高くなっている。（問12）



第2章 ヒアリング調査

1 調査概要

(1) 調査目的

無作為抽出により広く市民の意見を求めるアンケート調査では得られにくい特定の対象や、実際に事業を行う際に連携や協力を行う市内の文化芸術に関連する活動団体等の文化芸術に関する意見や状況を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

種類	対象
文化施設	①保谷こもればいホール指定管理者
外国人・障害者・高齢者の文化活動関連	②NPO 法人西東京市多文化共生センター ③社会福祉法人さくらの園 ④西東京市高齢者クラブ連合会
子どもの文化活動関連	⑤田無第四中学校及び保谷高等学校の図工、美術、音楽等に関わる専任教員や文化系部活動の顧問等 ⑥田無第四中学校及び保谷高等学校の文化系部活動に所属する生徒 ⑦子ども達の文化芸術に関わる活動とつながりのある団体 ・市民ボランティア(アートみーる)
市内の活動団体	⑧一般社団法人西東京市文化芸術振興会 ⑨西東京市民文化祭実行委員会 ⑩伝統文化等継承事業補助金交付団体 ・西東京けやきの会 ・田無ばやし保存会
まちづくり団体	⑪一般社団法人まちにわひばりが丘

(3) 調査方法・期間

- 1 調査方法 対面によるヒアリング又は書面調査
- 2 調査期間 令和4年10月19日(水)～11月22日(火)

2 調査結果

(1) 鑑賞・体験について

- 市内の文化芸術の拠点として幅広い世代に楽しんでもらう機会を提供したい。
- 体験から活動につながる例もあり、気軽に参加できる体験の機会を増やしたい。
- 西東京市民文化祭は市民の文化芸術活動団体が多い西東京市の特徴を捉えた機会となっている。
- 市民の文化芸術活動の成果発表の場となる新しい取組を実施しているほか、新たな企画も計画している。
- 地域の様々な場で、地域のアーティストの活動機会を提供したい。

- 全ての世代に対する文化に触れる機会提供を目指す中では、働き世代である中年層の参加が少ない。子ども向けの事業に保護者として来ていただくことはあるが、中年層の方自身がワークショップを行ったり、活動したりということではできていない。ロビーコンサートは、忙しい中でも気軽に子どもと参加し、自分も楽しむことができるため、そのような取組を増やしていくことも必要である。(保谷こもれびホール指定管理者)
- 市民文化祭で体験できる企画を増やしたいと考えている。現在も「日本の文化体験フェス」 in 市民文化祭として、事前申込制の体験会を実施し人気だが、当日参加で気軽に体験ができるような機会を増やせると良い。以前、琴の演奏体験に参加した子どもに声をかけ、舞台での演奏に参加してもらったことがある。琴の体験から舞台演奏につながった一例である。(西東京市民文化祭実行委員会)
- 大きな団体は単独で演奏会を開催することもできるが、少人数の団体にとっては、市民文化祭は貴重な発表の機会になっている。また、鑑賞者として楽しみにしてくれている方もいる。市民文化祭を市民に知っていただくため、市民まつりプログラムへの相互掲載等の連携について検討をしている。(西東京市民文化祭実行委員会)
- 当会は2009年に発足し、2018年に一般社団法人格を取得し活動を進めてきている。2019年には「西東京ペデライブ」「西東京百姿フォトコンテスト」「子ども文化芸術フェアあっとアート体験!!」の3つの企画を立ちあげた。「西東京ペデライブ」は、駅前のペDESTリアンデッキを利用した市民の文化活動の発表の場である。現在、田無に加えて、保谷の駅のペDESTリアンデッキでも実施し、毎回多数の市民が参加・鑑賞している。将来的には、ひばりヶ丘の駅前スペース等地域の様々な場で地域のアーティストに活動してもらいたいと思っている。「西東京百姿フォトコンテスト」は単に西東京市の代表的な風景を選定した“百景”ではなく市民の何気ない日常生活を切り取った写真を募集し、多数の応募作品の中から100点を選定している。市内4か所(ASTAセンターコート、フレスポひばりが丘、ひばりが丘PARCO、保谷こもれびホール)で巡回展示し、写真集も発行している。現在準備中の新企画は「みんなの絵・イラスト展」(みんな展)である。これは子どもから大人までの市民の方々が描いた絵画やイラストを展示し、美術をより身近に親しんでもらいたいとの目的を持ったものである。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)

(2) 子どもの文化芸術活動について

- 文化系部活動に所属している子ども達を中心に、文化芸術に関心を持ち積極的に活動しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は発表等の機会が少ない。
- 西東京市の自然の豊かさや周辺の資源、地域とのつながりを生かした活動や体験を実施していきたい。
- 次世代の育成や他の世代を巻き込んでいくためにも子どもを中心とした取組は効果的である。
- 市内を始め、近隣市で様々な交流や参加の機会がある。
- 多くの子ども達に文化芸術の楽しさに触れてもらうためにも力を入れていくべきである。

- ・ 文化芸術にとっても興味を持ち、展覧会や美術館に行く子どもが多い。(田無四中教員)
- ・ 美術部では、合唱コンクールの看板製作をしたり、絵の展示発表会等の取組をしている。(田無四中教員)
- ・ 芸術鑑賞教室等、学校全体で芸術に触れる機会がある。(保谷高校教員)
- ・ 昨年度は発表の機会を持てなかったため、人前で演奏する機会をとれるように力を入れている。(田無四中教員)
- ・ 発表会や地域の依頼演奏等、前向きに取り組んでいる印象だが、新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、日々の活動に対する取組については課題を感じる。(田無四中教員)
- ・ 発表(大会)の場が少なく、そのような機会が増えると良い。(保谷高校教員)
- ・ コロナ禍で制限はあるものの、地域貢献は積極的に参加している。(保谷高校教員)
- ・ 伝統文化を外部へ発信する機会が少ないことが課題である。(保谷高校教員)
- ・ 市民文化祭等に要請があれば、ボランティアとして参加していきたい。(田無四中教員)
- ・ アートプロジェクトや芸術祭等地域に根差したイベントができると良い。市は自然が多いところが魅力であり、自然とコラボレーションしたアートやスタンプラリーで巡る等。(田無四中教員)
- ・ 美術大学やアニメ制作会社も多いため、環境を生かしたイベント等。(田無四中教員)
- ・ 部活動の地域移行に向け、老人ホーム等で定期的に囲碁の対局ができると良い。(田無四中教員)
- ・ 幼稚園や老人ホーム等、他団体と交流し、ともに芸術に触れる機会があるとより豊かな生活をするきっかけになるのではないかと。(保谷高校教員)
- ・ 総合文化祭の実施。(保谷高校教員)
- ・ 今の子ども達に足りないのは生の文化芸術体験である。「子ども文化芸術体験フェアあっとアート体験!!」は、当会が子ども達に贈る文化体験のイベントである。コロナ禍で実施できない年もあったが、夏休みの一日、保谷こもれびホールで音楽やダンスミュージカル等、様々なジャンルの文化に触れ、ワークショップに参加し、文化芸術の楽しさを実感してもらうものであり、毎回好評を博している。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- ・ 近隣の他校と一緒に練習することがある。(田無四中生徒)
- ・ 学校の定期演奏会や近隣施設からの依頼演奏はあるが、市に関係したイベントはない。コロナ

禍で入部員数が減ったため、市内の合同発表会や市のお祭り等で演奏してPRしたい。(田無四中生徒)

- 保谷こもればホールは行きづらいため、田無の近くでも参加しやすいイベントを開催してほしい。(田無四中生徒)
- 市の学生展覧会に作品を出展しているため見に行っている。他の作品を通じて刺激を受けたり、今後に活かせることを学べるため、今後も参加したい。他分野のイベントにも参加してみたい。(田無四中生徒)
- 市民文化祭の器楽の部や西東京市障がい者福祉をすすめる会で演奏した。(保谷高校生徒)
- 学校の文化祭にて作品を展示、地域の方々に見てもらえる機会を作っている。(保谷高校生徒)
- 近隣の高校と合同で展示を実施している。(保谷高校教員)
- 市内の中学校、高等学校の美術部の合同展覧会等、中高生とも関わることができると良い。その他、常設で毎回テーマの違う子どもの作品を募集して展示していけるミニスペースが公共施設内にあれば、アートが好きな子どもの励みにもなり、市民も親しむことができると思う。(市民ボランティア(アートミー))
- 「対話による美術鑑賞」事業を通して、子ども達が文化芸術に触れ、親しむことができる環境に格差があることを実感している。美術館に行ったことがあるかどうかを聞くと、多くても半分以下である。どんな環境で育つ子どもでも享受できるように施策や事業を充実してほしい。(市民ボランティア(アートミー))
- 子ども達にお囃子を教える機会として、市内の小学校等に集まり、月に2回程で10人程に教えるのであれば可能であると思う。平日だと仕事があるため、土曜学級のような機会では話があると指導側も集まりやすい。(田無ばやし保存会)
- 子ども向け事業として、今年度から子ども食堂を開始した。食事をきっかけに足を運んでもらい、ワークショップや読み聞かせ等を楽しむことによって、将来的にも保谷こもればホールの利用や文化振興の活性化にもつながると考えている。子ども食堂の利用者だけでなく、近隣の方も参加可能であるため、親子連れや若い世代が増えてきていると感じている。子ども食堂自体は食育や孤食をなくすこと等が目的だが、文化施設での経験をきっかけに文化芸術に対する敷居を低くする効果も期待できる。(保谷こもればホール指定管理者)

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

- 高齢者等は感染のリスクから活動が難しい状況もあり、活動者だけでなく指導者も含めて、活動を継続・再開させていくことが課題である。
- 対面で実施することを大事にしているため、オンラインは必要最小限に活用する。
- オンラインと対面を組み合わせた取組は面白いと思う。
- 会場まで来ることが難しい方にも見ってもらう手段として、今後もオンライン配信を活用したい。

- 現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、グループ活動があまりできていない状況である。ここ数年活動を自粛していたことで、指導していただく先生も高齢のため、団体によっては継続が難しくなっていることも聞いている。(西東京市高齢者クラブ連合会)
- ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策の対応や課題が多かったため、これから市民文化祭の参加者の復活や新しい取組等を取り入れながらチャレンジしていきたい。(西東京市民文化祭実行委員会)
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響でお祭り自体がなくなったりもした。波もあったため、ある程度活動できているが、高齢者もいるため練習するにもリスクが高く、十分な活動が難しい状況にある。(田無ばやし保存会)
- オンライン配信に関して、今は落ち着いてきている状況である。今はリアルでの開催が増えてきており、対面と合わせた需要がある。オンラインを利用するための講座や説明会も実施しているが、利用するためのハードルを下げることも必要である。保谷こもれびホールとしては、文化芸術を生で鑑賞する機会を重視していきたい。(保谷こもれびホール指定管理者)
- コロナ禍では自主活動として、市民に対してオンラインによる事業も実施した。参加者の意見を拾い上げる等コミュニケーションが難しいため、今後はオンラインでしかできない状況にならないければ積極的な実施は検討しないと思う。また、東京都美術館で実施している「とびらプロジェクト」のように、オンラインとリアルとを組み合わせた取組であれば可能性としてはあると思う。(市民ボランティア(アートみーる))
- 保谷こもれびホールとコール田無にオンラインが整備されたことにより、事業のライブ配信等も実施している。今後も継続していきたい。オンライン配信を実施する際のオペレーター等の技術料の一部は公費で負担していただけるとありがたい。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- ライブ配信は今後も活用していきたい。昨年度は撮影したものを後で配信したが、今年度はライブ配信にしたことで合唱等で延べ1,700人程が視聴していた。会場にまで足を運ぶことが難しい方等、家族や知人も見る機会を提供できる。老人ホーム等で見ていただくこともできると良い。(西東京市民文化祭実行委員会)

(4) 情報発信や事業への参加を促す工夫等について

- 市内の文化芸術に関わるイベントや事業を集約し、総合的に発信できる情報媒体があると良い。
- 効果的な発信方法を活用していくことで、市民に広く文化芸術情報を知ってもらうとともに、関わる市民も増やしたい。
- 西東京市民文化祭等の活動に参加していない市民にも市の文化芸術を知ってもらうよう「見える化」を推進し、文化芸術を楽しんでもらうきっかけづくりが必要である。
- 子どもから働き世代、高齢者等の様々な世代に参加してもらうために、イベントを通して様々な仕掛けや工夫を取り入れている。
- イベントがあること自体を知らない子どもがいる。

- ・ 市内で実施している文化的なイベントがいつどこで実施しているのか総合的な情報媒体があると良い。保谷こもれびホールの公演はホームページで確認できるが、市の行事や他の文化団体の公演等を含め、コール田無、公民館等で実施している情報が一目で分かると良い。短期的には若い世代向けの情報発信の充実として、Instagram 等視覚に訴える SNS の活用も効果はあると思う。(保谷こもれびホール指定管理者)
- ・ 市内で実施しているイベントがどこで何をやっているのかを集約し、1～2か月に1回でも市報にまとめて折り込んでほしい。情報の編集等は当会でも協力できると思う。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- ・ 活動についての情報がもっと多くの方に発信できるようになると良い。障害者アートの展覧会の来場者から「もっと知らせた方がよいよ」という声をいただくこともある。(社会福祉法人さくらの園)
- ・ FM 西東京で毎月第一土曜日に「ArtRadio～西東京市文化芸術振興会より～」という番組をもって様々なアーティスト・文化芸術に関係のある方に出演していただいている。積極的に発信することによって協力してくれる方ともつながることができ、ユニークな取組も生まれると思う。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- ・ 市民文化祭の情報発信として、多くの人の目に留まりやすいアスタビルの ASTA VISION を活用できると良いのではないか。(西東京市民文化祭実行委員会)
- ・ 市は様々な取組を実施していると感じている。多摩六都科学館も市の子ども達が活用しており FM 西東京等も発信力がある。また、2つの市が合併していることもあり、人材としても場所としてもネタは多くあると思う。(一般社団法人まちにわひばりが丘)
- ・ 普段文化活動にあまり触れていない多数の市民に対し文化活動を“見える化”していくことは当会が大切にしている活動である。3つの活動(西東京ペデライブ、西東京百姿フォトコンテスト、子ども文化芸術フェアあっとアート体験!!)はすべて市民に開かれている。毎回たくさんの方が参加し、楽しんでいる。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- ・ 田無神社からは出演依頼を受けて演奏しているが、地域の様々な記念行事に呼ばれるよう、もっと地域の人に知ってもらえると良いと思う。(田無ぼやし保存会)
- ・ 当初は、高齢者世代は地域との縁もすでに持っている方が多かったため、マンションに引っ越

してきた 20～30 代の若い世代をターゲットに事業を実施した。最初はマルシェや子育て支援のイベント等を行い、若い世代が地元で馴染んできたところで、高齢者世代と自然に交流できるように、キッチンカーで食事と地元野菜の販売を行ったり、子ども向けのイベントを自治会施設や高齢者施設等を拠点にしたりと実施した。(一般社団法人まちにわひぼりが丘)

- 市内のイベントには参加したことはないが、機会があれば参加したい。(田無四中生徒)
- 芸術系のイベントがあることを知らなかったため、周知してほしい。(田無四中生徒)
- まちづくりフェスに参加し、地域の方と囲碁対局をした。(田無四中教員)
- 令和3年までは公開講座を実施し、広く市民が参加していた。(保谷高校教員)
- 以前は市民文化祭に参加したことがあるが、コロナ禍になり参加、交流はできていない。(保谷高校教員)

(5) 文化施設について

- 保谷こもれびホールは市民団体の発表の場としては適度な規模だが、20万人以上の自治体としてふさわしい規模のホールがあると地域の文化芸術の質が高まるのではないかと。
- 市内の活動団体が多くある中、練習場所が不足している。
- 美術作品等を展示するスペースがあると良い。

- 保谷こもれびホールの規模では、出演料と席数のバランスからオーケストラを呼ぶことが難しい。様々な文化の鑑賞機会は市民に重要な部分であると思う。20万以上の都市であれば、1,200席以上ほしいという声があると思う。文化施設の利用は高齢者世代が多いため、文化施設は他分野との連携や利用していない層に向けて発信していかなければ、将来的に施設として運営していくことが難しくなる。(保谷こもれびホール指定管理者)
- 1,500人規模のホールの新設は長年希望していることである。高齢者や子どもを抱えて他市の大ホールに行くことができない市民も多い。大ホールの必要性は今後ますます増大する。1,500人規模のホールが実現すれば、市の文化向上に資し市に対する愛着が増すことは確実である。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- 保谷こもれびホールは市民団体の発表の場としては適度な規模だが、文化拠点としては、やはり駅に近く、合唱とオーケストラと一緒に演奏できる程の規模のものと良い。(西東京市民文化祭実行委員会)
- 市のホールの収容人数が少なく、保護者を含め入れるホールがほしい。また、学校での使用は減額してほしい。(保谷高校教員)
- 合唱団や吹奏楽、子どもの文化活動団体も多く、太鼓や吹奏楽も練習場の確保にはいつも苦労している。3つ程の練習場を整備し、150人規模、80人規模、30人規模のものと良い。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- 活動団体が多いものの、場所が少なく、練習場所の確保は大きな課題である。各館で練習回数を減らし、団体同士で譲り合いながら活動している。有料施設を利用すると使用料が負担になり、活動への影響が大きい。(西東京市民文化祭実行委員会)
- ギャラリーをぜひ新設してほしい。そこでは著名な作家の展示ばかりではなく、地元の優れた作家の作品の常設展示や企画展等を展示し、市民が気軽に鑑賞できると良い。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- 市民会館跡地施設の4階にピクチャーレールが付くということを聞いている。そこに市所有の作品を展示したり、市民公募のアートスペースにしたりすることで、市民が文化芸術に触れる機会を増やせるのではないかと。また、「対話による美術鑑賞」事業での活用も期待している。(市民ボランティア(アートみーる))
- 美術ギャラリーや美術館が乏しく、文化的施設が充実すると良い。(保谷高校教員)

(6) 人材確保や育成について

- 活動団体の活動者数の減少や高齢化により、地域の文化芸術活動をどう次世代につないでいくのかが課題となっている。
- 地域の人的資源の確保・活用と文化芸術の取組を推進するため、活動機会を求めるアーティストと出演者のマッチングや関係構築に取り組んでいる。
- 文化芸術活動を行う個人や団体が交流や連携できる場を設け、交流や連携が活性化している。
- 人材育成や活動の継続のため、指導者を確保することも必要である。
- 次世代の人材育成としては、子どもの頃に活動し、仕事等で活動が難しい時期や離れる時期があっても、再度活動を再開できるようになると良い。
- 大人になっても文化芸術活動を続けたい。

- 市民文化祭の参加者は2つの市が合併し西東京市となった頃は 230 団体程の参加があったものの、コロナ禍前は 170 団体程に減った。参加団体の減少は、主に少子高齢化と市民生活の多様化が原因と思われるが、今後、全世代が参加しやすいような対策を検討したい。(西東京市民文化祭実行委員会)
- 団体の課題としては、他の団体と同じように高齢化と会員の減少である。辞める人はいても新しく入る人は少ない。トップの人がいなくなると団体自体の継続が難しくなってしまう。(西東京けやきの会)
- 活動しているメンバーが固定化していることに加え、中心メンバーの高齢化により後継者の確保と若い人材の育成が課題である。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- 昨年からアーティストバンクを実施しており、市内にゆかりがあるアーティストが登録している。活動の PR や機会を求めているアーティストと、演奏等をしてほしい市民をつなぐマッチングができればと考えている。(保谷こもればホール指定管理者)
- 普通の活動の中でいろいろな人とのつながりを作っているため、様々な事業を実施する際に人材確保しやすい。また、住民の中でも積極的に活動してくれる人と情報交換等を行っている。(一般社団法人まちにわひばりが丘)
- コロナ禍で市内の文化芸術団体が活動しにくい状況であったことから、活動をアピールする場の機会や参加された方の交流・連携につなげられる場として「こもればネットワーク」を設け、昨年度から 2021 年には音楽団体、2022 年にはダンスや演芸団体を集めて「こもればネットワークフェスティバル」を開催している。(保谷こもればホール指定管理者)
- 当会は様々なジャンルの人が集まっているため、お互いの活動について知らないことが多い。現在、文化交流会等で情報交換ができるようになり、企画等の協力も得やすくなった。(一般社団法人西東京市文化芸術振興会)
- 若い世代も地域に目を向ける機会があれば良いと考え、16 歳から 24 歳を対象にした Youth Club を今年度設立した。若い世代が主体となって活動しており、今年はボードゲーム大会を企画・実施した。日本人、外国人 10 名程がメンバーとなっている。(NPO 法人西東京市多文化共生センター)
- 理想としては、市内の小さい子どもが西東京市の事業や保谷こもればホールの事業に関わる中

で、音楽活動等を始めて、有名になり、凱旋して帰ってくるようなことにつながることである。そのために、様々な活動を長期的に見ていくことが重要であり、力を入れていきたいと考えている。そうした活動が個人だけでなく、市のため、市民のためになる。(保谷こもれびホール指定管理者)

- 子どもに対する取組も必要だと思うが指導者が不足している。同じ流派の団体が市外で10団体程あるがどこも人材不足で、合同で練習を行ったり、お祭り等で演奏する際に協力いただく等協働して行っている。(田無ばやし保存会)
- 2年ぶりに対面によるスピーチコンテストを実施した。スピーチコンテストの司会者がかつて日本語教室に通っていた生徒が行ったり、通常のボランティアも大学生が活躍してくれたり、様々なつながりの中でイベントを開催し、広がりや循環を感じることができた。(NPO 法人西東京市多文化共生センター)
- 市で募集している音楽サークル等に参加してみたい。(田無四中生徒)
- 将来の仕事にしたり、子ども達に伝えていきたい。(田無四中生徒)
- 芸術には表現の面白さがあり、生活の上で生まれた文化を知り、継承していくことで多くの人と関わるため続けたい。(田無四中生徒)
- 大人になったら行動範囲が広がるため、県外でもいろいろ活動したい。(田無四中生徒)
- 音楽と触れ合うことでいろいろな人の想いを受け取ることができるため続けたいと思う。(保谷高校生徒)
- 今年は地域の方々と触れ合うイベントが多く、周りとの関係性を持つことの重要性を知ったため、将来生かせるようにしたい。(保谷高校生徒)
- ボランティア活動は地域をよくしたり、交流することができるため続けていきたい。(保谷高校生徒)

(7) 文化資源の活用について

- 市内のパブリックアート、行政や個人が所有している作品や資料を収集・活用することで、鑑賞機会を増やすことができる。
- 市内の文化資源をホームページ上で公開したり、イベントで周知することで市民の認知度を高めていくことも必要である。

- 「対話による美術鑑賞」事業で、近隣の美術館情報を発信しながら作品や作家等を紹介すれば、題材も取り上げやすい。また、不要になった美術館の展示図録を募集し、その経緯も含めて共有することで、様々な人の思いと物語を感じながら作品を見たり、対話することができて面白いと思う。(市民ボランティア(アートミー))
- 公民館のロビー等で、文化活動のサークルが作品展示を行っている。サークルの展示だけでなく、市所有の倉庫に入ったままの作品も展示できると良いのではないか。旧保谷市が設置したパブリックアート「HOYAMONUMENTAL」等、市内に埋もれたアート作品の発掘隊を結成し、広く市民から情報を集めながらハンドブックを作成する。(市民ボランティア(アートミー))
- 西東京市になった頃に「大好きです、西東京」という市歌を踊りも含めて作られたものがあるが、活用されていなく、知っている市民も少ない。講習会等を設けて広めてほしい。(西東京けやきの会)
- 田無に伝わる「ぼうち唄」の映像資料等が図書館で借りることができるようになっているため、市民に知っていただく機会があると良い。(西東京けやきの会)

(8) 共生社会について

- 市民が障害者アートに触れることで、障害のある方の個性を多角的な視点で捉えることにつながる。
- 文化芸術を通して、障害のある方とそうでない方との接点を持ちやすくなる。
- 市内在住の外国人との交流は、多様な文化に触れる機会となっているが、さらに積極的に取り組めると良い。

- パラアートは障害のある方を一つの指標でみるのではなく、様々な視点で見ることができる。多摩六都事業で、障害のある中学生から高校生までの子ども達を対象に、ワークショップと障害者アート作品を募集した展覧会を行っている。展覧会には社会福祉学の大学のゼミを通じて授業の一環で来ていただく例もある。障害者施設に直接来るとなると敷居が高くなってしまう場合も、展覧会が接点を持ちやすい場になっている。(社会福祉法人さくらの園)
- 地域の方々に障害のことを理解してもらう取組は様々行っている。交流まではいかないが、障害者総合支援センターフレンドリー内にある「もぐもぐの森」というカフェレストランで窓にキットパス(窓ガラスに描いて消せる筆記具)で絵を描くワークショップを一緒の空間で楽しむという企画等も行っている。(社会福祉法人さくらの園)
- 会員やその家族等のつながりで文化芸術に関する取組を実施している。(中国民族楽器の二胡のオンライン演奏会、パリ在住の方とオンラインでつながりながら生活の様子や文化の違い等について紹介してもらった多文化サロン等)(NPO 法人西東京市多文化共生センター)
- 今年は保谷こもれびホールに協力いただき、環境問題や人権等をテーマに若い世代の方を対象にSDGsと多文化共生について考える企画を実施した。(NPO 法人西東京市多文化共生センター)
- 保谷和太鼓会とアフリカの地域の太鼓奏者による共演イベントを実施したこともある。異なる文化背景を持った音楽だが、即興で共演したりと面白い公演となった。(NPO 法人西東京市多文化共生センター)
- 市は外国人支援や相談窓口等の取組はしているが交流事業には踏み出せていない。市には現在約5,000人、約70か国の多様な人が住んでいるため、その特徴を生かせる祭り等イベントを実施できると良い。市民が外国人やその文化について、知ること触れることにより、多様な文化を持つ外国人住民と共に暮らす地域を楽しめれば良い。(NPO 法人西東京市多文化共生センター)

(9) 他分野連携について

- 教育やスポーツ等の他分野との連携や文化芸術の関係団体・施設とのより一層の交流によって、市民が文化芸術に親しむきっかけづくりの拡充につながっている。
- 子ども達は学校生活や部活動を通して、福祉施設等でのボランティア活動やポスター制作を通じて他分野と連携して社会に発信したい。

- アウトリーチとして、昨年度はコール田無とひばりが丘にある学習塾でコンサートを実施した。保谷こもれびホールと学習塾が連携することで、それぞれの活動や場所を知っていただき、学習塾の講師の方に子ども食堂での食育講座をやっていただくことにもつながった。(保谷こもれびホール指定管理者)
- ラグビーワールドカップ 2019 の際には、メインホールでパブリックビューイングを実施し、カフェで対戦相手の料理を提供する等の取組を実施した。保谷こもれびホールの主な活動はホールが中心となるが、市民が文化に触れるきっかけづくりをつくっていくためにも、多角的に他分野と連携した取組は必要だと考えている。(保谷こもれびホール指定管理者)
- 市内の原発避難者らでつくる「みちのく・まほろば会」とつながったことから、福島と東京の踊りの指導を協力し、市民文化祭で披露した。福島と東京でふるさとの郷土意識を確認できる機会になった。(西東京けやきの会)
- 子ども食堂へのボランティアとしての参加。(田無四中生徒)
- 選挙ポスター等子ども達が学んで制作したものを、他分野と連携し、社会に発信したい。(田無四中生徒)
- 機会があれば積極的に実施してみたい。(保谷高校生徒)
- 昨年は病院に応援メッセージを送った。(田無四中生徒)
- 老人ホームでの依頼演奏を予定している。(田無四中教員)

(10) 文化芸術に親しむことによる効果について

- 文化芸術と地域課題の解決とをどのようにつなげていくかが重要である。
- 日々の文化芸術活動やその成果を発表する機会があることにより、達成感の獲得や生きがいを持つこと、心身の健康等につながっており、楽しみややりがいを感じながら活動を継続させていくことが重要である。
- 活動の楽しさだけでなく、心の豊かさや仲間づくり、何かをやり遂げる達成感等の様々な成長につながっている。

- これからのアートは社会とどうつながるかが重要である。例えば、子どもも高齢者も自分の居場所を求めていることから、アートを介して両者が居心地の良い場所を作ることができる。(市民ボランティア(アートミー))
- 高齢者クラブの活動内容としては、社会奉仕活動、健康を進める活動、生きがいを高める活動があり、そのうちの生きがいを高める活動で文化芸術に関する活動を実施している。ただ活動するのではなく、発表する場等、本番があることが達成感にもつながり、生きがいにもつながっている。(西東京市高齢者クラブ連合会)
- 活動が難しい中でも、体操の活動や手芸等自宅でもできる作業等を工夫して実施している団体は活動が続いている。高齢者クラブの活動はフレイル予防等にもつながっているため、継続することの重要性を実感している。ただ活動を楽しむだけでなく、発表等の本番の機会があることで向上心や達成感が得られる。(西東京市高齢者クラブ連合会)
- 作品を鑑賞することで心が豊かになる。(田無四中生徒)
- 古くから守られている文化芸術の継承を意識、大切にしている。(田無四中生徒)
- 新しいことに興味を持てるようになり、コミュニケーションをとれるようになった。(田無四中生徒)
- ボランティアをしたことで、多くの人が喜んでくれたことが良かった。親切心を大切にしている。(田無四中生徒)
- 伝統文化を継承していけるところや、仲間ができる点が良い。(田無四中生徒)
- いろいろな国、ジャンルの曲を聴くことで想像力が広がり、ダンスに真剣に向き合うようになった。(保谷高校生徒)
- 一緒に作業をする中で、新たな発見を共有し、全体でスキルを上げることができるのは部活動ならではの場であり、交流の場を作ることも大切にしている。(保谷高校生徒)
- コロナ禍で中止になったいろいろなイベントが再開され、地域の方々とつながりを持てた。(保谷高校生徒)
- 地域との交流が増え、人のためになることへの嬉しさや達成感を感じることができた。ボランティア活動等の本来の目的を忘れず一生懸命に取り組むことを大切にしている。(保谷高校生徒)
- 観客に褒められたときや、みんなで一つの音楽を作り上げる達成感を得られることが良かった。(保谷高校生徒)

第3章 ワークショップの実施

1 実施概要

(1) 目的

西東京市では、「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」を推進している。市内小学校及び中学校の児童・生徒を対象としたアンケート調査では得られにくい、子どもの文化芸術に関する自由な発想や意見を把握することを目的とする。

(2) 対象

種類	対象
中学生	田無第四中学校 文化系部活動の部長等 15 人
高校生	保谷高等学校 文化系部活動の部長等 13 人

(3) 方法

各校 2 グループに分かれて以下のテーマと議題について話し合い、最後に市の文化芸術を活性化するためのまとめの意見を発表して共有した。

- 1 テーマ 「市の文化芸術を活性化するために考えてみよう」
- 2 議題
 - ①『文化の香りあふれるまち』のイメージ
 - ②西東京市の良さや魅力とそれを生かして文化芸術を活性化するアイデア
 - ③市内の文化芸術に関するイベント等で子どもや若い世代が参加したくなるためのアイデア

(4) 時期

種類	時期
中学生	令和4年11月7日(月)
高校生	令和4年11月17日(木)

2 実施結果

ワークショップで出た意見のポイント

- 自然が豊かで利便性もある西東京市の魅力を知ることができるように、西東京市の地域資源を生かした文化芸術に親しむ取組を充実する。
- 若い世代の目に留まるような視覚に訴える情報発信を行う。
- 文化芸術に対する様々な興味関心を持つ人をより多く集めることができるように、単一分野のイベントではなく、美術や音楽等複数の分野を組み合わせたイベントを実施する。

- 市内のいろいろな場所を周りながら、地域の魅力を知ることができるスタンプラリーを開催する。各地でつくる体験も合わせたり、ハンコも募集したり、考案したメニューを周りながら楽しめたり、いろいろな人が関わるができる。(田無四中生徒)
- 西東京市は都会に近いのに自然が豊かで、買い物もしやすくまとまりのあるまちである。市にゆかりのあるアニメや、CM・SNS等の手段を活用できると若い人にも文化芸術のイベントへ参加してもらえる。(田無四中生徒)
- 市の文化芸術でどのようなものを実施しているのかわからない人も多い。若い世代が参加しやすくなるためにも、発信力のある取組が重要である。気軽に行くことができる公園や駅の近くで、市出身の有名人等とコラボレーションしたイベントを行う。ホームページではなくTwitter、Instagram等で文字の説明よりも写真やイラストで注目できる発信ができると良い。(保谷高校生徒)
- 保谷こもれびホールがあることは市の良さと考える。そのホールで美術や刺しゅう等の展示とダンスや音楽等の発表がひとまとまりになったイベントを開催すれば、興味・関心が様々な人に来てもらえると思う。また、小中高問わず各学校から宣伝大使を選出するというのも一つの策だと思う。(保谷高校生徒)

第4章 アンケート調査票

1 市民を対象としたアンケート調査票

西東京市文化芸術に関するアンケート調査

～あなたの声をお聞かせください～

日頃より西東京市の文化芸術施策に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
西東京市では、現在、西東京市第2期文化芸術振興計画(令和5年度まで)に基づき、「市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる 文化の香りあふれるまち」を目指し、文化芸術に関する取組を推進しています。さらなる文化芸術の振興を図るため、次期計画(令和6年度～令和10年度)を策定するにあたり、市民の皆様の文化芸術に関わる活動の実態や西東京市に対するお考えをお聞かせいただくためのアンケート調査を実施します。

本調査は、無作為に抽出した西東京市にお住まいの18歳以上の方1,500名を対象としています。調査は無記名で行い、結果は統計的に処理いたしますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れることはありません。

ご多忙とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月

西東京市 生活文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係

【回答にあたってのお願い】

1. アンケートは、封筒の宛名のご本人が回答ください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方等がご本人のお考えを聞きながら記入ください。
2. 設問は、選択形式と自由記入形式があります。選択形式の設問は、1つ選ぶ場合と複数選ぶ場合とがありますので、あてはまる番号をご回答ください。選択形式で「その他」を選んだ場合や自由記入形式の場合は、具体的な内容をご回答ください。
3. 回答締め切り日は【11月4日(金)】です。

その他、調査の内容等について、分からないことがありましたら、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 西東京市 生活文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係
電話 042(420)2817

▼2つの方法から選んでご回答ください。▼

インターネット
による回答の場合



- ①URL または、二次元コードから回答フォームにアクセスください。
- ②ID、パスワードを入力し、回答を入力してください。



回答フォーム:

<https://forms.gle/N4W5sNBM9BthHDyVA>

ID:対象者ごとに設定 パスワード:2817

郵送による
回答の場合



- ①本調査票に回答を直接ご記入ください。
- ②同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。
※切手、差出人の記入は不要です。

1 回答者自身について

※令和4年10月1日現在の状況について、それぞれの項目ごとに、あてはまるものに○をつけてください。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたは働いていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 働いている(自営業、社員、パート・アルバイト等) | 2. 働いていない(家事専業等) |
|-----------------------------|------------------|

問4 あなたのお住まいの地区をお答えください。町名だけでなく、丁目までご記入ください。

町名： 丁目の番号： 丁目

問5 あなたは何年間、西東京市に住んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年以上、10年未満 | 7. 30年以上 |
| 2. 1年以上、3年未満 | 5. 10年以上、20年未満 | |
| 3. 3年以上、5年未満 | 6. 20年以上、30年未満 | |

問6 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても健康である | 3. あまり健康ではない |
| 2. まあ健康である | 4. 健康ではない |

2 文化芸術の鑑賞・体験について

本調査での文化芸術は、「文化芸術基本法」が対象とする音楽、美術、演劇、舞踊等の芸術やメディア芸術、芸能や生活文化、文化財等を基本とし、今後生まれてくる文化も含め幅広く捉えています。

また、「文化芸術の鑑賞・体験」とは、プロ・アマチュアを問わず、観客あるいは鑑賞する側として、できあがった演目・作品を見聞きする鑑賞・体験を指します。

問7 あなたは、文化芸術の鑑賞・体験や活動に関心を持っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 関心がある | 2. 関心がない |
|----------|----------|

問8 (1)あなたは、過去1年間で文化芸術を鑑賞・体験しましたか。

(2)今後、鑑賞・体験したいと思う分野は何ですか。

※文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で直接、鑑賞・体験したものと、テレビやDVD、スマートフォン等インターネット等で鑑賞するものを分けて教えてください。(〇はいくつでも)

	^^回答例VV	(1)過去1年間で		(2)今後	
		等で 直接、 文化施設	等で テレビやDVD、 インターネット	等で 直接、 文化施設	等で テレビやDVD、 インターネット
ア 音楽(クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等)	①	1	1	1	1
イ 演劇(演劇、ミュージカル、人形劇、オペラ等)	2	2	2	2	2
ウ 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊等)	③	3	3	3	3
エ 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真等)	4	4	4	4	4
オ 生活文化(華道、書道、茶道等)	5	5	5	5	5
カ 芸能(歌舞伎、能・狂言、雅楽、文楽、講談、落語、浪曲、漫才、漫談等)	⑥	6	6	6	6
キ メディア芸術(映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート等)	7	7	7	7	7
ク 文化財等(寺社・仏閣等の建造物、遺跡、庭園等の名勝、歴史的・文化的な街並み等)	⑧	8	8	8	8
ケ その他()	9	9	9	9	9
コ 鑑賞したかったが、できなかった	10	10	10	—	—
サ 鑑賞しなかった、どれもしたいと思わない	11	11	11	11	11

問 8-1、8-2は、問 8 の(1)で直接、文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験した方(「1」~「9」を選択した方)のみ回答してください。

問8-1 過去1年間において、あなたが鑑賞・体験した場所はどちらですか。利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。(〇はいくつでも)

1. 保谷こもれびホール
2. コール田無
3. その他西東京市内の施設・場所(施設名・場所等、具体的に:)
4. 多摩六都地域(小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市)の施設・場所
5. 周辺地域(武蔵野市・三鷹市・小金井市・練馬区・埼玉県新座市)の施設・場所
6. その他の施設・場所(施設名・場所等、具体的に:)

問8-2 あなたは文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)での鑑賞・体験について、日常的にどのように活動していますか。(○は1つ)

- 1. 定期的に文化施設に行き、鑑賞している
- 2. 気になる公演や作品のみ鑑賞している
- 3. 知人からの誘い等、きっかけがあれば鑑賞している
- 4. その他()

問 8-3 は、問 8 の(1)で直接、文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で鑑賞・体験しなかった方(「10」「11」を選んだ方)のみ回答してください。

問8-3 過去1年間において、鑑賞・体験しなかったのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)

- 1. テレビやDVD、スマートフォン等インターネット等による鑑賞で十分である
- 2. 魅力ある公演や展覧会等が少ない
- 3. 一緒に行く仲間がいない
- 4. 公演、イベント等の情報が入手できない
- 5. 公演、イベント等の時間帯に合わない
- 6. 何を鑑賞・体験して良いのか分からない
- 7. 健康上、鑑賞に出かけることが難しい
- 8. 経済的な余裕がない
- 9. 交通アクセスや施設のバリアフリー等が不十分である
- 10. 育児・介護等で時間がなかなか取れない
- 11. 仕事・学業等で時間がなかなか取れない
- 12. 小さな子どもを連れていける施設や行事が少ない
- 13. 新型コロナウイルス感染症の影響で外出等を控えていたため
- 14. 新型コロナウイルス感染症の影響で公演やイベントが中止になったため
- 15. 鑑賞・体験することに関心がない
- 16. その他()

問9 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等西東京市内で行われる文化的なイベントに行ったり、参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 参加したり、見に行ったことがある | 2. 参加したいが行ったことがない |
| | 3. 行ったことがない |

問 9-1 は、問 9 で「1」(行ったことがある方)を選んだ方のみ回答してください。

問 9-1 行ったり、参加したことがあるイベントについて、具体的にお書きください。

問 9-2は、問 9 で「2」「3」(行ったことがない方)を選んだ方のみ回答してください。

問 9-2 あなたが、これまで西東京市内のイベントに参加しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. イベントを知らなかった | 7. 仕事や学業で時間がとれない |
| 2. イベントに関心がなかった | 8. 子育てや介護・看護で時間がとれない |
| 3. 参加しやすい日時に開催されない | 9. 一緒に参加する仲間がいない |
| 4. 自宅から会場に行きにくい | 10. 参加するきっかけがない |
| 5. 日時等、イベントの情報が入手できなかった | 11. その他() |
| 6. 費用がかかる(費用が高い) | 12. 特になし |

問10 あなたが、西東京市内で文化的なイベントや作品等を、今以上に鑑賞・体験するようになるためには、西東京市がどのような情報発信をすると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 西東京市の広報紙 | 5. フェイスブック等のSNS |
| 2. 西東京市の HP | 6. ケーブルTV、コミュニティ FM、地域紙の活用 |
| 3. 西東京市内に広くチラシを配布する | 7. その他() |
| 4. 西東京市内各所にポスターを貼る | 8. 現状のままで良い |

問11 新型コロナウイルス感染症の影響前と比べて、あなたが過去1年間でホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で文化芸術を直接鑑賞したり、活動したりする頻度は増加しましたか、減少しましたか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 大幅に増加した | 4. やや減少した |
| 2. やや増加した | 5. 大幅に減少した |
| 3. 変わらない | |

問 11-1 新型コロナウイルス感染症の影響前後について、あなたの文化芸術の実施状況の変化を具体的に
にお書きください。

- 例)・毎年見に行っている公演が中止になる等、鑑賞機会が減った。
・オンライン配信で行っていた市民文化祭等を見たことで、市内の文化活動を知ることができた。
・在宅時間が増えたため、絵を描き始めた。 等

3 文化的な活動について

ここでの「文化的な活動」とは、習い事、部活、サークル、ボランティア等、定期的あるいは中長期的に文化芸術の「作り手・演者」となることを指します。生涯学習講座・ワークショップでの体験は含みません。

問12 あなたは、現在、創作や公演等に関係する文化的な活動を継続的に行っていますか。行っているものをすべて選択してください。(○はいくつでも) ※活動分野に関する分類の1～6は問8と同様。

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 1. 音楽 | 8. 文化財等(保存活動) |
| 2. 演劇 | 9. 文芸(詩・俳句の創作、文芸誌・ミニコミ誌の執筆・編集・発行も含む) |
| 3. 舞踊 | 10. アートイベント、音楽イベント等の企画・実施 |
| 4. 美術 | 11. その他() |
| 5. 生活文化 | 12. 過去に活動していたが、今はやっていない |
| 6. 芸能 | 13. 活動したことはない |
| 7. メディア芸術(動画投稿等) | |

問 12-1、12-2 は、問 12 で「1」～「11」(何らかの活動をしている方)を選んだ方のみ回答してください。

問 12-1 あなたは、どのような場所で、問 12 で選択した文化的な活動を行うことが多いですか。よく利用する場所をすべて選択してください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 保谷こもれびホール |
| 2. コール田無 |
| 3. その他西東京市内の施設・場所(施設名・場所等、具体的に:) |
| 4. 多摩六都地域(小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市)の施設・場所 |
| 5. 周辺地域(武蔵野市・三鷹市・小金井市・練馬区・埼玉県新座市)の施設・場所 |
| 6. その他の施設・場所(施設名・場所等、具体的に:) |

問 12-2 あなたがより充実した文化活動を実施するために、課題だと感じていることは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 活動のための資金不足 | 8. 活動をPR・周知する場や機会の確保 |
| 2. 身近で練習する施設の確保 | 9. 同じ活動をする人・グループとの交流の機会の確保 |
| 3. 西東京市内の公立施設の予約手続きの利便性 | 10. 仕事や学業による時間不足 |
| 4. 一緒に活動する仲間の確保(減少) | 11. 子育てや介護・看護による時間不足 |
| 5. 活動を指導する人材の確保 | 12. その他() |
| 6. 発表する場・機会の確保 | 13. 現状のままで良い |
| 7. 身近で発表する適切な規模の施設の確保 | |

問13 あなたは、次の文化芸術の支援に関する活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。(それぞれ○は1つ)

これまでの参加状況	今後の参加意向
1. 文化芸術分野のボランティア活動	1. 文化芸術分野のボランティア活動
2. 文化施設や文化芸術団体等への寄付	2. 文化施設や文化芸術団体等への寄付
3. その他()	3. その他()
4. 参加していない	4. 参加したくない

4 回答者の子どもの文化芸術体験について

問14 あなたは子どもの文化芸術体験をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 子どもが興味・関心を持つ文化芸術事業やイベントを鑑賞する機会をつくる
2. 子どもが文化芸術を体験し、創造的な活動をする機会をつくる
3. 子どもが地域の歴史や文化財について親しむ機会をつくる
4. 子どもが参加しやすいように、情報をわかりやすく提供する
5. 子どもが参加しやすいように、家から遠くない身近な施設や場所で開催する
6. 子どもが参加しやすいように、低料金で参加できる公演や補助を行う
7. 学校での文化芸術に関する教育を充実させる
8. 子どもが文化芸術を通して地域で活躍できる発表等の機会をつくる
9. その他()
10. 現状のままで良い

問15 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。あなたの一番下のお子さんは次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 未就学児(小学生未満)
2. 小学生
3. 中学生
4. 16歳以上、18歳未満
5. 18歳未満の子どもはいない

問15-1は、問15で「1」～「4」(18歳未満のお子さんがある方)を選んだ方のみ回答してください。

問15-1 あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間で文化的なイベントや作品等の鑑賞や体験、または文化的な活動をしましたか。(〇はいくつでも)

1. 美術の習い事
2. 音楽の習い事
3. 舞踊、ダンス、演劇等の習い事
4. 華道、茶道、書道等の習い事
5. 写真撮影・動画制作
6. 絵や彫刻等、美術作品の制作
7. ダンスや音楽等の活動
8. 文芸活動
9. 美術等の展覧会を鑑賞
10. コンサート鑑賞
11. 演劇や舞踊の鑑賞
12. 文化財・史跡の鑑賞
13. 映画館で映画・アニメ鑑賞
14. 音楽、ダンス、工作等のワークショップ
15. その他()
16. 鑑賞・体験・活動はしていない
17. わからない

5 西東京市の文化的な環境について

問16 あなたは、西東京市の文化的な環境に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. 満足していない |
| | 5. 分からない |

問17 あなたは、西東京市の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. ホール・劇場、美術館・博物館等の文化施設の充実 |
| 2. 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実 |
| 3. イベント等のオンライン配信の強化 |
| 4. 公演、展覧会、芸術祭等の文化事業の充実 |
| 5. 芸術家や文化団体の活動の支援 |
| 6. 著名な芸術家の招へい |
| 7. 地域の芸能や祭り等の継承・保存 |
| 8. 郷土料理等の地域の食文化の継承・保存、体験機会の充実 |
| 9. 歴史的な建物や遺跡等を生かしたまちづくりの推進 |
| 10. 文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用 |
| 11. ワークショップ等を通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実 |
| 12. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 |
| 13. 文化施設の活性化や文化芸術活動の支援を担う専門的人材の育成 |
| 14. 市民と一緒に企画・実施する事業の充実 |
| 15. 高齢者や障害者も参加しやすい事業の充実 |
| 16. 学校や公民館等に出張して行う地域連携事業 |
| 17. その他() |
| 18. 現状のままで良い |
| 19. 分からない |

問18 現在、西東京市内には保谷こもれびホール等の施設がありますが、将来的には保谷こもれびホールの耐用年数を見据えながら、西東京市における文化施設のあり方を検討していく必要があります。市内の施設に求めるものについてあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 身近で文化に触れることができる | 7. 地域コミュニティを形成・維持する |
| 2. 新しい文化に触れることができる | 8. 他の自治体にはないユニークさ |
| 3. 子どもが文化に触れることができる | 9. 西東京市の文化的なシンボルとなる |
| 4. 市民の文化活動の拠点となる | 10. 西東京市外から多くの人を訪れる |
| 5. 市民の憩いの場となる | 11. その他() |
| 6. 多くの市民が一堂に集会できる | 12. 分からない |

6 西東京市のまちのイメージについて

問19 あなたは西東京市が文化芸術に親しみやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 4. 思わない |

問19-1は、問19で「1」「2」(文化芸術に親しみやすいまちだと思う)を選んだ方のみ回答してください。

問19-1 あなたが問19でそのように思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 文化芸術に親しむ市民が多い | 4. 様々な文化芸術に触れられる施設がある |
| 2. 子どもが文化芸術に親しめる機会がある | 5. 地域文化や歴史が大事にされている |
| 3. 街中等身近な場所で触れられる | 6. その他() |

問20 あなたは、西東京市において文化芸術を活発にすることにより、地域や市民にもたらされる効果として期待することは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 地域コミュニティの活性化 | 7. 子どもの心の豊かさや創造性の伸長 |
| 2. 地域経済の活性化 | 8. 共生社会の実現 |
| 3. 観光客や移住者の増加 | 9. 感動や充実感がもたらす心の健康 |
| 4. まちのイメージやアイデンティティの形成 | 10. その他() |
| 5. 生きる楽しみを得られる | 11. 期待できることはない |
| 6. 市民の創造性の向上 | |

問21 あなたは、文化芸術に親しむことが西東京市に対して愛着を高めることに有効だと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 有効と感じる | 3. どちらかというとも有効と感じない |
| 2. どちらかというとも有効と感じる | 4. 有効と感じない |

問21-1 あなたは、文化芸術活動を通して西東京市への愛着を高めるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 西東京市内のイベントに参加する | 5. 西東京市にゆかりのある著名人の活躍 |
| 2. 趣味・娯楽のサークルに入る | 6. 地域の歴史や伝統文化に触れる |
| 3. 文化芸術活動ができる施設が充実している | 7. その他() |
| 4. 西東京市がメディア等に取り上げられる | 8. わからない |

問22 「地域に根ざした文化芸術活動」や「伝統文化の継承」あるいは「西東京市独自の文化の育成」のためには、どのような取組が必要だと思いますか。ご意見があれば自由に記入してください。

2 子どもを対象としたアンケート調査票

西東京市 文化芸術に関するアンケート調査

～あなたの声をお聞かせください～

文化芸術とは、みなさんがいつも楽しんでいる音楽や映画をはじめ、絵や演劇、生活文化、文化財等、幅広いものです。このアンケートでは、みなさんが文化芸術を観たり、聴いたりしているのか、あるいは自分で創作したり、演奏したりする活動を行っているか等についてお聞きします。

1 回答者自身と文化芸術の考えについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問2 あなたは、文化芸術を観たり、聴いたり、創作することは好きですか。(○は1つ)

1. あてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない
2. どちらかといえばあてはまる 4. あてはまらない

問3 あなたは、大人になってからも文化芸術を楽しみたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. わからない
2. ややそう思う 4. そう思わない

問4 あなたは、人々にとって文化芸術は大切なものだと思いますか。(○は1つ)

1. 大切だと思う 3. あまり大切ではないと思う
2. やや大切だと思う 4. 大切ではないと思う

問5 あなたは、休日や放課後等の学校以外の時間を主にどんなことをして過ごしていますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 音楽(音楽を聴く、楽器を弾く、歌う等) | 8. ゲーム |
| 2. 美術(絵を描く、作品を制作する等) | 9. スマートフォンやパソコン、テレビ等の動画を観る |
| 3. 書道・華道・茶道 | 10. SNS での交流・友達とのやりとり |
| 4. 演芸、演劇、ダンス | 11. スポーツや体を動かす遊び |
| 5. 料理・お菓子作り | 12. その他() |
| 6. 本を読む | |
| 7. 勉強 | |

問6 毎日の生活の中で、あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。(それぞれ1つに○)

	あてはまる	はま いど えち らば あて	ど ち ら か と は ま ら な い	い ど ち ら か と あ て は ま ら な い
<<回答例>>	1	②	3	4
ア ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある	1	2	3	4
イ 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している	1	2	3	4
ウ 自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4

2 文化芸術の鑑賞・体験について

問7 (1)あなたは、過去1年間で学校行事以外で文化芸術を観たり、聴いたりしましたか。

(2)今後、学校行事以外で観たり、聴いたりしたいと思う分野は何ですか。

※文化施設(ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等)で直接観たり、聴いたりしたものと、テレビやDVD、スマートフォン等インターネット等で観たり聴いたりするものを分けて答えてください。(〇はいくつでも)

	^^回答例VV	(1)過去1年間で		(2)今後	
		等で 直接、 文化施設	等で テレビやDVD、 インターネット	等で 直接、 文化施設	等で テレビやDVD、 インターネット
ア コンサートや合唱、クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、和楽等の音楽	①	1	1	1	1
イ 劇やミュージカル等の演劇	2	2	2	2	2
ウ バレエやダンス、日本舞踊等の舞踊	③	3	3	3	3
エ 絵画や彫刻、陶芸、写真等の美術	4	4	4	4	4
オ 茶道や書道、華道等の生活文化	5	5	5	5	5
カ 歌舞伎や落語等の芸能	⑥	6	6	6	6
キ 映画やアニメ、コンピュータや映像を活用したアート等のメディア芸術	7	7	7	7	7
ク 歴史的な建造物や遺跡、文化財等	⑧	8	8	8	8
ケ その他()	9	9	9	9	9
コ したかったが、できなかった	10	10	10	—	—
サ しなかった、どれもしたいと思わない	11	11	11	11	11

問7-1、問7-2は、問7の(1)の太線の口内に〇をつけた方のみ回答してください。

問7-1 過去1年間に於いて、観たり、聴いたりした場所はどこですか。具体的な場所も分かれば、お書きください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 西東京市内の施設・場所
(具体的に:) | 2. 西東京市外の施設・場所
(具体的に:) |
|----------------------------|----------------------------|

問7-2 誰と観たり、聴いたりをしましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. ひとり | 3. 兄弟姉妹 | 5. その他() |
| 2. 友人や知人 | 4. 親・祖父母 | |

問8 新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、過去1年間でホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で文化芸術を直接観たり、聴いたり、活動したりする回数は変わりましたか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. とても増えた | 3. 変わらない | 4. やや少なくなった |
| 2. やや増えた | 5. とても少なくなった | |

問8-1 新型コロナウイルス感染症が流行する前と後で、どのように変わったのか教えてください。

- 例)・部活動で吹奏楽部に入っているが、学校で活動できなかったため、自宅等で練習した。
 ・家にいる時間が増えたため、オンラインで映画をよく観るようになった。 等

3 文化芸術の活動について

文化芸術の活動とは、自分で文化芸術の作品を創作したり、楽器を演奏したりすることを言います。また、学校のクラブ活動や部活動等で文化芸術分野の活動をすることも含めます。

問9 あなたは、文化芸術に関する活動を行っていますか。また、何の活動をしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 個人的に創作等を行っている | 6. 個人指導・個人レッスンに通っている |
| 2. 友人や知人と一緒に行ってる | 7. その他() |
| 3. インターネット上の知り合いと行っている | 8. 以前、行っていたが、今はしていない |
| 4. 学校のクラブ活動・部活動に入っている | 9. 活動したことがない |
| 5. 地域の文化芸術活動団体に入っている | |

活動内容:

問9-1 は、問9で「1」～「7」(活動を行っている)を選んだ方のみ回答してください。

問9-1 それを始めるきっかけ、理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. もともと興味があったことだから | 5. 学校以外の友達ができると思ったから |
| 2. イベントや体験等で楽しかったから | 6. 自分の将来の夢・仕事に役立つことだから |
| 3. 友人に誘われたから | 7. その他() |
| 4. 家族にすすめられたから | 8. 特に理由はない |

問9-2 学校の文化系部活動や地域の文化活動団体、文化芸術に関する習い事等を通じて、あてはまるものをお答えください。(○は1つ)

	あてはまる	はいえどちらかあてはまる	どちらかあてはまらない	あてはまらない
<<回答例>>	1	②	3	4
ア 現在、活動が楽しい	1	2	3	4
イ 活動は自分の生活に必要なと思う	1	2	3	4
ウ 活動で自信が高まるような経験をしたことがある	1	2	3	4
エ 問9で「4」～「6」を選んだ方のみ 顧問・指導者の指導に満足している	1	2	3	4

4 西東京市の文化芸術について

問10 あなたは西東京市をどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 好き | 3. どちらかという好きではない |
| 2. どちらかという好き | 4. 好きではない |

問 10-1 あなたが西東京市を好きになるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 西東京市内に長く住む | 6. 西東京市がメディア等に取り上げられる |
| 2. 近所付き合いが密になる | 7. 西東京市にゆかりのある著名人の活躍 |
| 3. 西東京市内のイベントに参加する | 8. 地域の歴史や伝統文化を知る |
| 4. 趣味・娯楽のサークルに入る | 9. その他() |
| 5. 居心地の良い場所や施設がある | 10. わからない |

問11 西東京市は文化芸術を楽しむことができるまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 4. 思わない |

問 11-1 は、問 11 で「1」「2」(文化芸術を楽しむことができるまちだと思う)を選んだ方のみ回答してください。

問 11-1 あなたが問 11 でそのように思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 文化芸術を楽しむ市民が多い |
| 2. 子どもが文化芸術を楽しむことができる機会がある |
| 3. 街中等身近な場所で文化芸術を楽しむことができる |
| 4. 様々な文化芸術を楽しむことができる施設がある |
| 5. 地域文化や歴史が守られたり、それを生かしたイベント等が行われている |
| 6. その他() |

問12 西東京市民文化祭や西東京市民まつり等西東京市内で行われる文化的なイベントに行ったり、参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 参加したり、見に行ったことがある | 3. 行ったことがない |
| 2. 参加したいが行ったことがない | |

問13 西東京市で子ども達がより文化芸術を楽しめるように、どのような取組をすると良いと思いますか。思いつくことがあれば自由に書いてください。

--

西東京市文化芸術に関する
調査報告書

令和5年3月

発行 西東京市生活文化スポーツ部文化振興課
東京都西東京市南町五丁目6番13号
電話 042-420-2817（直通）

